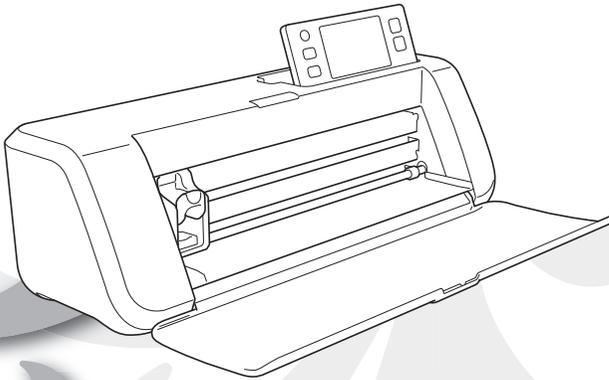


カッティングマシン

取扱説明書

CMZ04シリーズ



- ご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
- 取扱説明書はなくさないように大切に保管し、いつでも手にとって見られるようにしてください。

商標

IBM は International Business Machines Corporation の登録商標または商標です。
Microsoft、Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

本取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。ただし、本文中には ® および ™ などのマークは明記していません。

オープンソースライセンス公開

オープンソースライセンスに関する記述は、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://support.brother.co.jp/>）の製品マニュアルをご覧ください。

著作権およびライセンスについて

©2015 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

本製品には、下記のベンダーが開発したソフトが含まれています。

©1983-1998 PACIFIC SOFTWARES, INC.

©2008 Devicescape Software, Inc.

はじめに

この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
お使いになる前に「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、本取扱説明書で機能や使い方を十分にご理解のうえ、末永くご愛用ください。
また、お読みになった後はいつでもご覧になれるところに保証書とともに保管してください。
本取扱説明書に記載されていない方法で使用した場合、火災・感電・やけどや窒息などによるけが・故障の原因となります。

* 本書に記載されている製品の外観のイラストや画面は、実際のものとは異なることがあります。また、本書は無線 LAN 搭載モデルの画面を使用しています。

重要なお知らせ

- 本製品は日本国内向け、家庭用です。外国では使用できません。
This machine can not be used in a foreign country as designed for Japan.
- 仕様および外観は品質改良のため、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製することは禁じられておりますので、ご了承ください。
- 地震や雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- その他の製品情報については、ブラザーのホームページ (<http://www.brother.co.jp/>) を参照ください。

安全にお使いいただくために

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険の可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示します。
重要	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、物的損害が発生する可能性が想定される内容を示します。

	特定の条件において、発火の可能性があることを意味しています。
	特定の条件において、感電の可能性があることを意味しています。
	「してはいけないこと」禁止事項を意味しています。
	外部の火気によって、製品が発火する可能性があることを意味しています。
	製品の特定場所に触れることによって、傷害が起こる可能性があることを意味しています。
	製品を分解することによって、感電などの傷害が起こる可能性があることを意味しています。
	製品を濡れた手で扱うと、感電する可能性があることを意味しています。

	製品を水にぬらすと、感電する可能性があることを意味しています。
	「しなければならないこと」義務行為を意味しています。
	電源プラグをコンセントから抜くことを意味しています。

安全上のご注意

下記の注意文に従って、本製品を安全にご使用ください。

電源／ACアダプター

 警告	
 	AC アダプター、電源コードは踏みつけられることのない安全な場所に配置してください。次のような、電源コードを破損させる行為はしないでください：傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、引っばる、ねじる、たばねる、物をのせる、はさみ込む、金属部に接触させる、折り曲げをくりかえす、ぶらぶらさせる、壁に押しつけるなど。火災や感電、故障の原因となります。
 	本製品専用の AC アダプター、電源コードの組み合わせ以外は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。本製品専用の AC アダプターや電源コードを本製品以外には使用しないでください。
 	AC アダプターは家庭用コンセント（AC100V、50/60Hz）以外では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
 	DC 電源またはインバーター（DC-AC 変換装置）を接続してのご使用は絶対におやめください。火災、感電の原因となります。本製品を接続するコンセントが AC 電源または DC 電源のどちらかわからないときは、電気工事士資格を持つ専門家にご相談ください。
 	電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。火災や感電、故障の原因となります。
	本製品を電源コードの上のせしないでください。火災や故障の原因となります。
  	火気・熱機器に近づけないでください。AC アダプターの被覆が溶けて火災・感電の原因となります。
	長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず AC アダプターを本製品およびコンセントから抜いて保管してください。
 	清掃など本製品をお手入れするときは、AC アダプターをコンセントから抜いてください。感電のおそれがあります。
 	電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずにプラグの本体（金属でない部分）を持って引き抜いてください。火災や感電、故障の原因となります。
 	傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。電源コードが傷ついたときは、使用しないでください。
 	たこ足配線はしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
 	AC アダプターの端子に異物を入れないでください。火災、感電、やけどの原因となります。
 	濡れた手で AC アダプター、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 警告



電源プラグに液体、金属物、ほこりを付着させないでください。また、水がかかるような場所で本製品を使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。



ACアダプターを分解・改造・修理しないでください。火災・感電・けがの原因となります。点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはお客様相談室にご相談ください。



電源プラグがほこりなどで汚れているときは、コンセントから抜いて、乾いた布で拭き取ってください。汚れたままで使用すると、火災の原因となります。

⚠ 注意



本製品は電源コンセントの近くで使用してください。非常時に、電源コードを電源コンセントから抜いて電気を遮断する必要があります。

重要



電源コンセントの共用にはご注意ください。コピー機などの高電力機器や携帯電話の充電器と同じ電源コンセントの使用は避けてください。ノイズが発生したり、本製品の操作に不具合が生ずることがあります。



ACアダプターを取り外す前に、必ず本製品の電源を切ってください。本製品動作中に電源コードをぬくと、故障の原因となります。

設置場所

本製品は、平坦で傾きのない、安定した、振動や衝撃を受けない場所に設置してください。

本製品をお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。

温度：5～35℃

湿度：20～80%

⚠ 警告



直射日光のあたる場所、急激な温度変化や湿度変化がある場所、湿度の高い場所（台所や風呂場、加湿器の近くなど）、結露の発生する場所、ほこりの多い場所には設置しないでください。温度や湿度の高い場所でのご使用や保管は避けてください。漏電による感電や火災、故障の原因となります。



火気や熱器具、揮発性可燃物や極度な高温を発するものの近くに設置しないでください。火災や感電、故障の原因となります。可燃性のスプレー製品などを使用する部屋では使用しないでください。やけどなどのけがの原因となります。



医療用電気機器の近くでは使用しないでください。本製品からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。



野外でのご使用は避けてください。雨などが降り、本体が濡れて感電の原因となります。また濡れたときは、お買い上げの販売店またはお客様相談室にご連絡ください。



本製品に金属や液体が入らないように、本製品の上や上方に、下記のものを置かないでください。火災や感電、故障の原因となります。

- クリップやホチキス針などの金属
- ネックレスや指輪などの貴金属
- コップ、花瓶、植木鉢など、液体が入った容器

ペットを本製品に近づけないようにしてください。誤って本製品の中に何らかの異物が入った場合は、電源コードを抜いてから、お買い上げの販売店またはお客様相談室にご相談ください。

⚠ 注意



ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所に設置しないでください。また、本製品のいかなる部分も机から突き出さないように設置してください。落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。



本製品は段差のない平らな場所に設置してください。段差にマットがひっかかり、正しく動作できなくなります。

重要



振動の激しい場所や、電気的なノイズの多い場所、静電気の多い場所では使用しないでください。本製品が正常に動作しないことがあります。

安全な操作のために

⚠ 警告



本製品を落下させた場合、破損、故障した場合、水や異物が入った場合は、すぐに AC アダプターを本製品およびコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはお客様相談室にご連絡ください。そのままご使用になると、火災や感電の原因となります。



使用中に停電したとき、雷が鳴りはじめたときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電、故障の原因となります。



使用中や保管時に、異臭を感じたり、発熱・発煙・変色・変形、そのほか今までと異なることに気がついたときは、AC アダプターを本製品およびコンセントから抜き、使用を中止してください。そのままご使用になると、火災や感電の原因となります。また、お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



お客様ご自身での分解、修理および改造は行わないでください。火災・感電およびけがの原因となります。指定以外の内部の点検・調整・掃除・修理については、お買い上げの販売店またはお客様相談室にご連絡ください。



本製品が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、お子様の手の届かないところに保管するか廃棄してください。かぶって遊ぶと窒息のおそれがあります。



取扱説明書に記載されているお手入れを行う際は、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。火災や感電、故障の原因となります。

⚠ 注意



本製品を操作するときは、衣服の袖やネクタイ、髪の毛、装飾品などが巻き込まれないようにご注意ください。巻き込まれるとけがをすることがあります。巻き込まれた場合は、直ちに電源プラグを抜いて、本製品を停止してください。



刃を手で触らないでください。けがをすることがあります。



操作中は、キャリッジの動きに十分ご注意ください。また、ローラー、キャリッジ、ホルダーなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。ホルダーの下には、指を入れしないでください。また、トレイの下、フロントトレイカバーの間や操作パネルの下などの可動部に指を挟まないでください。けがをすることがあります。

⚠ 注意

	刃を出した状態で、ホルダーの先端を手や指で触ったりこすったりしないでください。けがをすることがあります。 ホルダーを使用していないときは、刃はホルダーの中に収めてください。
 	製品から取り外したホルダーは、必ず刃をホルダーの中に収め、保護キャップを装着してください。刃が出た状態でホルダーを放置しないでください、けがをすることがあります。本体にホルダーを取り付ける前に、保護キャップを取り外してください。 * 保護キャップは幼児が飲み込まないように注意してください。
	マットの端を手や指でなぞったりこすったりしないでください。けがをすることがあります。
 	お子様の玩具として使用しないでください。お子様が使用するときや、お子様の近くで使用するときには、お子様がけがをしないよう十分注意してください。
	本製品は、必ず取っ手部を持って持ち運びをしてください。他の部分を持つとこわれたりすべて落ちていたりして、けがの原因となります。
	本製品を持ち運びする際は急激または、不用意な動作をしないでください。腰や膝を痛める原因となります。
	本製品には取扱説明書に記載されている付属品を使用してください。他の部品を使用するとけが・故障の原因となります。

重要

	カットするときは、カットする素材に適した刃の出し量に調整してください。刃を出しすぎると、刃が欠けたりマットが切れたりする原因となります。
 	欠けた刃は使用しないでください。正しくカットできなくなります。刃が折れたときは、刃の破片をカットする素材から取り除いてください。刃の破片を取り除く際には、ピンセットなどを使用し、素手で直接刃に触らないようにしてください。
	マットが動く（排出される）範囲に AC アダプターや電源コードなど、動きを妨げる物を置かないでください。正しく動作できなくなります。
	マットの上に大きな物を置かないでください。
	マットを無理に引っばったり、折ったりしないでください。マットが破損すると、カットやドロ、スキャンなどの操作ができなくなります。
	破損したマットを使用しないでください。
	ご使用前にマットの端が汚れていないことを確認してください。マットの種類を読みとれず、本製品が正しく動作しなくなります。端が汚れていた場合は、乾いた布で拭き取ってください。
 	本製品専用のマットを使用してください。本製品に適さない、金属シートのような固い素材をカットしないでください。故障の原因となります。
	ラメや金属箔など、表面から剥離しやすい装飾が施された素材は、使用を避けてください。動作中に剥離した装飾がスキャナーやローラーに付着して、故障の原因となります。また、刃が破損する原因となります。
	本製品動作中に、マットを無理に引っ張ったり、押ししたりしないでください。刃やホルダーの破損の原因となります。
	長期間、カットする素材をマットに貼ったままにしないでください。マットの粘着剤が素材に移るおそれがあります。
	マットは、高温・多湿・直射日光を避け、室温で保管してください。

重要

	非常時にやむをえずキャリッジを手で動かす場合は、ゆっくりと動かしてください。速く動かすと故障の原因となります。
	ホルダーを取り外すときは、キャリッジが動いていないことを確認してください。
	操作中に電源コードをぬいたり、USB メモリーを取り外したりしないでください。USB メモリーやデータが壊れるおそれがあります。
	本製品の電源ジャックや USB ポートに異物を入れたり、ふさいだりしないでください。
	USB メモリー用のポートには、USB メモリー以外は接続しないでください。故障の原因となります。
	本製品でカットやドロウ、スキャンをしている間は、タッチパネルに触らないでください。
	本製品に注油はしないでください。故障の原因となります。
	本製品のお手入れには、シンナー・ベンジン・アルコールなどの有機溶剤は使用しないでください。塗装がはがれたり、傷の原因となります。本体の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。
	本製品に貼られているラベル類（製造番号が記載されたラベルなど）ははがさないでください。

スキャンに関するご注意

スキャンを行うときは、以下の点にご注意ください。

- 法律で禁止されているもの（絶対にスキャンしないでください）
 - 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
 - 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
 - 未使用の郵便切手やはがき
 - 政府発行の印紙、および酒税法や物品税法で規定されている証券
- 著作権のあるもの
 - 著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用する以外の目的でスキャンすることは、禁止されています
- その他注意を要するもの
 - 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
 - 政府発行のパスポート、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

スキャナー読み取り画像の原稿再現性について

本製品を使用してスキャン素材を読み取った後で、当該スキャンデータがお客様の必要とする精度・品質を満たしていることをご確認ください。

スキャンデータの一部に欠落や損失が起こることがありますので、以下の点にご注意ください。

- スキャン素材の状態によっては、読み取り時にかすれ、ゆがみ、よごれ、欠けなどが発生して、スキャンデータの一部または全部が欠落することがあります。
 - ▶ スキャン素材にシワ・折れなどが無いことをご確認ください。また、スキャン素材は正しくマットにセットしてください。
- 本体内部がよごれた状態でスキャン素材の読み取りを行うと、かすれ、ゆがみ、よごれ、欠けなどが発生して、スキャンデータの一部または全部が欠落することがあります。
 - ▶ 本体内部をこまめに清掃してください。
- 読み取り設定（スキャンサイズ・解像度）によっては、スキャン素材が以下のように読み取られることがあります。
 - 解像度不足で画像が不鮮明となる
 - 画像の一部が欠ける、またはサイズが縮小される
 - スキャン素材の途中以降のスキャンデータが欠落する
 - スキャンデータの縁に余白が付加される
- 次のような材質の素材は、スキャンしないでください。
 - クリップやホチキスの針がついている
 - インクが乾いていない
 - 金属製、OHPシート
 - 光沢シート、鏡面加工されている
 - エンボス加工が施されたプラスチックカード
 - 推奨された厚さを超えている
- 所定外のスキャン素材の場合、または所定内のスキャン素材であってもその状態（シワ、折れ、スキャン素材のセット不備など）や本製品内の送り機構・消耗品の状態によりスキャン素材が詰まることがあります。この場合、スキャンデータの一部または全部が欠落することがあります。（スキャン素材が詰まることによりスキャン素材を損傷する可能性があります。）
- 蛍光マーカーを使用したスキャン素材の場合、マーカー色や濃度により色を読み取れない、または色調が忠実に再現されないことがあります。

規格について

VCCI 規格

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 **VCCI-B**

無線 LAN ご使用時のご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用周波数を変更するため、速やかに無線 LAN の使用チャンネルか内線用の通信チャンネルを変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様相談窓口へお問い合わせください。
3. その他、製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りことが起きたときは、お客様相談窓口へお問い合わせください。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

- 無線 LAN では、ネットワークケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
- その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
 - メールの内容
- などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
 - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
 - 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
 - コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
- などの行為をされてしまう可能性があります。
- 本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っているので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
 - セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

電波の種類と干渉距離

2.4 DS4/OF4

「2.4」：2.4GHz 帯を使用する無線設備を表す。

「DS」：変調方式が DS-SS 方式であることを表す。（IEEE802.11b のとき）

「OF」：変調方式が OFDM 方式であることを表す。（IEEE802.11g/n のとき）

「4」：想定される与干渉距離が 40m 以下であることを表す。

「---」：全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

無線モジュール内蔵について

この製品は、日本の電波法に基づき認証された無線モジュールを搭載しております。

目次

はじめに.....	1
重要なお知らせ.....	1
安全にお使いいただくために.....	1
本書で使用されている記号.....	1
安全上のご注意.....	2
製品の特長.....	10
模様（模様モード）.....	10
スキャン（スキャンモード）.....	10
無線 LAN ネットワークを使ったデータ転送 「ScanNCut オンライン」とは.....	11

1 準備・設定.....12

各部の名称とはたらき.....	12
正面.....	12
背面.....	12
操作パネル.....	13
付属品.....	13
模様をカットする前に.....	14
緩衝材を取り外す.....	14
操作パネルの角度を調節する.....	14
タッチペン・スパチュラスタンドの使い方.....	14
本体の電源を入/切する.....	15
液晶画面の操作.....	15
素材とマットの組み合わせ.....	16
素材をマットに貼る.....	18
刃の出し量を調整する.....	24
ホルダーの取り付け/取り外し.....	26
試し切りをする.....	27
本体設定.....	30
設定画面.....	30
オートシャットダウン.....	32

2 基本操作.....33

模様をカットする.....	33
チュートリアル 1 模様をカットする.....	33
チュートリアル 2 多色の模様をカットする.....	35
模様を選択する.....	39
1つの模様を選択する.....	39
複数の模様を選択する.....	39

3 応用操作.....41

カット/編集機能.....	41
模様を編集する.....	41
模様を編集する—多色の模様.....	42
模様レイアウト画面.....	43
レイアウトした模様を編集する.....	43
操作を元に戻す.....	44
模様を結合する（複数の模様のアウトラインを合体させる）.....	45
模様を自動でレイアウトする.....	46
背景画像をスキャンする.....	47

文字入力機能.....	48
メモリー機能.....	50
データを保存する.....	50
模様をパソコンに保存する.....	51
ScanNCutCanvas から模様を呼び出す.....	52
データを呼び出す.....	52
パソコンから模様を呼び出す.....	53
デザインファイルをインポートする.....	54
アプリケピースをカットする.....	55
.phc または .pes を準備する.....	55
本製品に模様を呼び出して、カットする.....	55
ドロー機能.....	56
ドローする.....	56
ドロー線の周囲をカットする.....	57

4 スキャン機能.....61

スキャンした素材をカットする（ダイレクト カット）.....	61
チュートリアル 3 スキャンした素材をカットする	61
「ダイレクトカット」の応用機能.....	64
カットデータを作成する.....	66
チュートリアル 4 カットデータを作成する.....	66
画像検出レベルを調整する.....	72
画像をスキャンする（USB に保存）.....	73
スキャンする際の注意.....	73
チュートリアル 5 USB メモリーにスキャンデー タを保存する.....	73
範囲を選択して保存する.....	75

5 付録.....76

消耗品.....	76
交換の目安.....	76
刃を交換する.....	76
お手入れ.....	78
掃除する.....	78
スキャナーガラスを掃除する.....	79
画面を調整する.....	80
スキャンとカットの位置を調整する.....	81
困ったとき.....	83
エラーメッセージ.....	86
ソフトウェアのアップデートについて.....	89
USB メモリーを使用してアップデートする.....	89
パソコンを使用してアップデートする.....	90
別売品.....	91
仕様表.....	91
索引.....	92

製品の特長

模様 (模様モード)

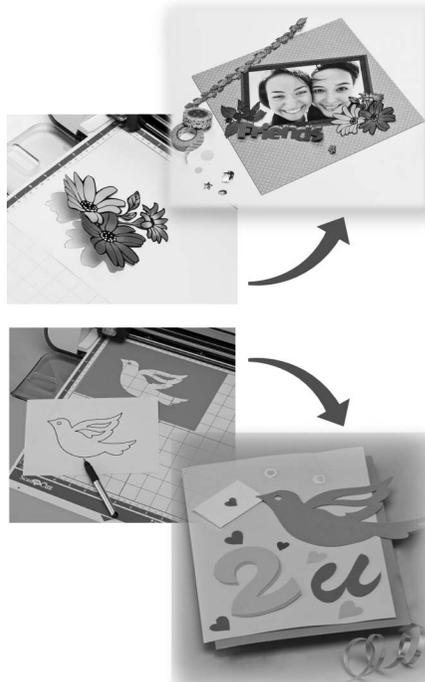
模様を選んで、お好みのレイアウトに編集できます。紙や布をセットするだけで、きれいなパーツが手軽に作れます。



豊富な種類の内蔵模様を使って、簡単にパーツ作りができます。

スキャン (スキャンモード)

画像や写真、自分で描いたイメージ画などをスキャンして、オリジナルカットデザインを作成できます。そのデザインをカットしたり、データとして保存したりすることもできます。



充実した編集機能を使って、取り込んだデザインを簡単に編集できます。編集したデザインはいつでも保存・呼び出しができます。

ホーム画面

模様を選択します。

チュートリアル 1 (→ P.33 参照)
チュートリアル 2 (→ P.35 参照)



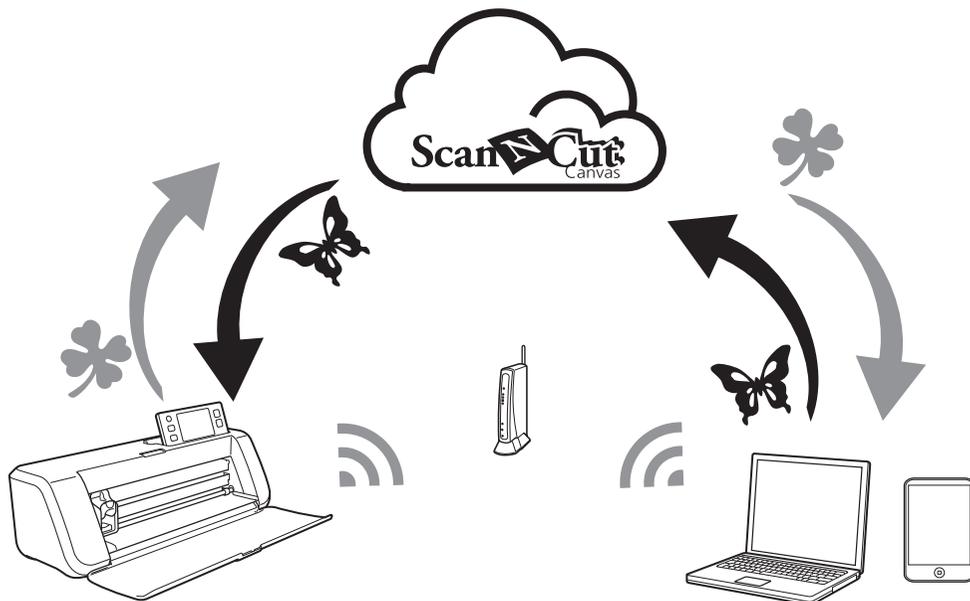
スキャンします。

チュートリアル 3 (→ P.61 参照)
チュートリアル 4 (→ P.66 参照)
チュートリアル 5 (→ P.73 参照)



無線 LAN ネットワークを使ったデータ転送「ScanNCut オンライン」とは

本製品は、無線 LAN 接続機能を搭載しています。無線 LAN へ接続すると、オンラインサービスの「ScanNCutCanvas」から本体に模様を直接ダウンロードしたり、作成した模様をアップロードしたりできます。無線 LAN 接続機能をご利用いただくには、以下をご覧ください。



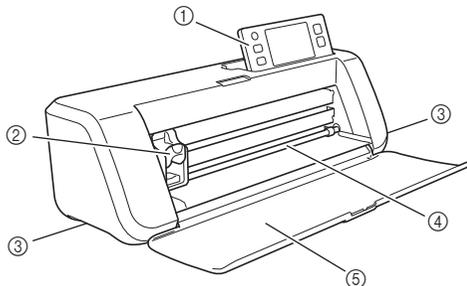
1. 無線 LAN に接続する：本体の設定画面から無線 LAN に接続してください。接続方法は『無線 LAN 接続ガイド』をご覧ください。
2. カuttingマシンを ScanNCutCanvas に登録：模様の保存または呼び出しを行うには、あらかじめ ScanNCutCanvas への登録が必要です。詳しくは『無線 LAN 接続ガイド』をご覧ください。
3. 模様の呼び出し／保存：USB メモリーや USB ケーブルを使わずに、ワンタッチで模様をダウンロードまたはアップロードができます。詳しくは P.50 「データを保存する」、P.52 「データを呼び出す」をご覧ください。

ScanNCutCanvas web サイト：<http://ScanNCutCanvas.Brother.com/>

第1章 準備・設定

各部の名称とはたらき

正面

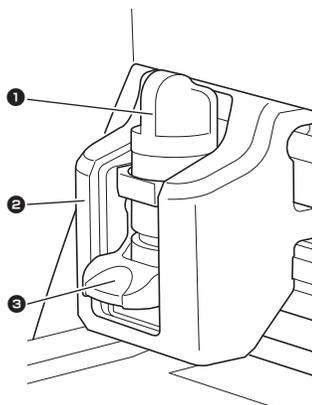


① 操作パネル

液晶タッチパネルと操作ボタンを使って、本製品の操作と設定ができます。操作パネルの角度は3段階に調節することができます。詳しくは、P.14「操作パネルの角度を調節する」を参照してください。

② キャリッジ

カットやドロウのとき、ホルダーを移動させます。



① ホルダー

キャリッジにセットして、紙や布をカットまたはドロウするときに使用します。用途に合わせて、専用のホルダーを使用してください。

② ホルダーガイド

ホルダーを固定します。

③ ホルダー固定レバー

ホルダーを固定するときにレバーを下げます。
ホルダーを取り外すときにレバーを上げます。

③ 取っ手

本体を移動させるときは、取っ手に手をかけてください。

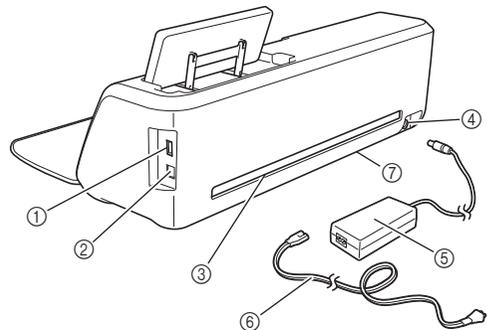
④ マット送り

マットがここから送られます。マットは、両端に設置されたローラーによって送られます。

⑤ フロントトレイカバー

送りローラー、キャリッジ、ホルダーなどを保護します。本製品を使用するときは、カバーを開いてください。

背面



① USBポート (USBメモリー用)

データの保存や呼び出しをするときに、USBメモリーを接続します。

② USBポート (パソコン用)

データの保存や呼び出しをするときに、USBケーブルを接続します。対応するパソコンとOSについてはP.51「本製品に接続可能なパソコン」を参照してください。

③ スロット

動作中、マットが出たり入ったりします。排出されるマットの障害にならないよう、スロットのまわりに物を置かないでください。

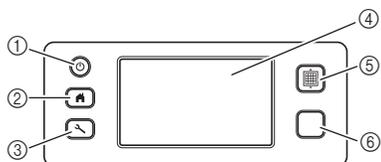
④ 電源ジャック

⑤ ACアダプター

⑥ 電源コード

⑦ スキャナーガラス (本体底面)

操作パネル



- ① **電源ボタン**
電源を入/切します。
- ② **ホームボタン**
ホーム画面（本製品を操作するためのスタート画面）を表示します。
- ③ **設定ボタン**
各種設定を行う設定画面を表示します。詳しくは、P.30「設定画面」を参照してください。
- ④ **液晶画面**
操作画面や模様のパレビュー、エラーメッセージを表示します。
- ⑤ **送りボタン**
本体にセットされたマットを挿入、または排出します。マットを挿入/排出するときは、必ず送りボタンを押してください。
- ⑥ **スタート/ストップボタン**
カットやドロ、スキャン操作を開始・停止します。ボタンが緑色に点灯しているときは操作が可能です。

付属品

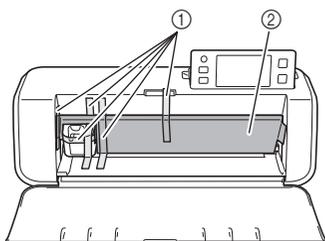
付属品については、別紙「付属品について」を参照してください。

模様をカットする前に

素材を準備してから試し切りまでの操作を説明します。

緩衝材を取り外す

本製品の電源を入れる前に、固定テープと緩衝材を取り外してください。



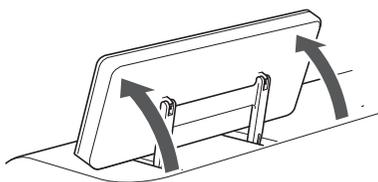
- ① テープ
- ② 緩衝材

お願い

- 緩衝材を取り外す前に電源を入れた場合は、いったん電源を切って、再度入れてください。電源を入れなおさずに本製品を使用すると、正しく動作しないおそれがあります。

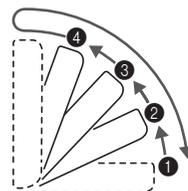
操作パネルの角度を調節する

操作パネルの角度は3段階に調節することができます。



操作パネルを収納するときは、パネルをいったん垂直になるまで持ち上げてから、背面に倒して収納してください。

パネルの角度を低くしたいときは、パネルをいったん垂直になるまで持ち上げてから、再度角度を調節してください。

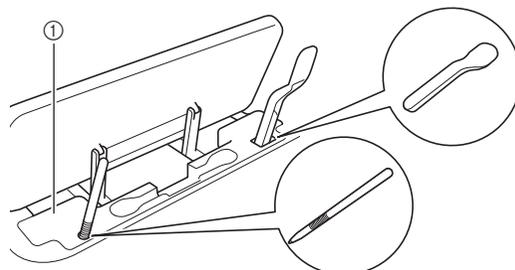


お願い

- 操作パネルを低くしたいときは、必ず上記の手順で低くしてください。無理に操作パネルを倒すと、破損のおそれがあります。

タッチペン・スパチュラスタンドの使い方

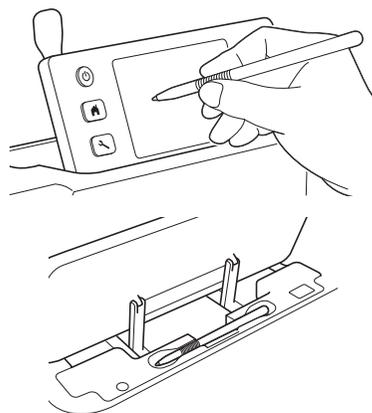
液晶画面の背面に、タッチペン・スパチュラスタンドがセットされています。



① タッチペン・スパチュラスタンド

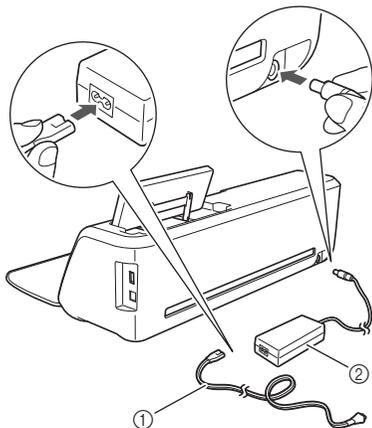
スタンドにタッチペンとスパチュラを立てておくことができるため、カット中の操作などがスムーズに行えます。また、スタンドを取り外してお好みの場所に置いて使うこともできます。

タッチペンを使わないときは、スタンドに収納できます。



本体の電源を入/切する

- ① AC アダプターに電源コードを接続し、AC アダプターを本体に接続します。



- ① 電源コード
② AC アダプター

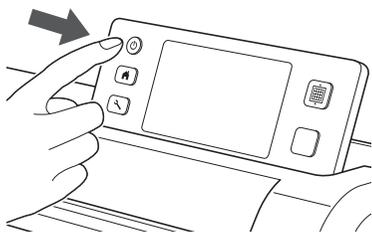
お願い

- AC アダプターを使用するときは、束ねられた電源コードをほどいてください。

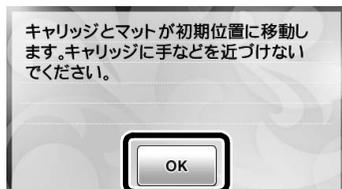
- ② 電源プラグを家庭用電源コンセントに差し込みます。

- ③ 操作パネルの $\text{\textcircled{P}}$ を押します。

オープニング画面が表示されたら、画面上のどこかを押してください。



- ▶ 以下のメッセージが表示されたら、「OK」を押します。



- ▶ ホーム画面が表示されます。



お知らせ

- 液晶画面は、液晶の特性上、輝点（常時点灯している点）と黒点（点灯しない点）が存在することがあります。輝点・黒点の発生は、製品の不良または故障ではありません。

- ④ 電源を切る場合は、操作パネルの $\text{\textcircled{P}}$ を押し、電源を切ります。

- ⑤ 電源プラグを家庭用電源コンセントから抜きます。

- ⑥ AC アダプターを本体から取り外し、電源コードをACアダプターから取り外します。

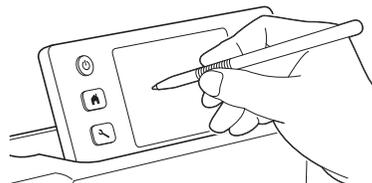
お願い

- AC アダプターのコードをACアダプターのまわりに巻きつけたり、コードを曲げたりしないでください。コードの破損の原因となります。



液晶画面の操作

操作画面はタッチパネルです。操作する際は、付属のタッチペンを使用してください。



お願い

- シャープペンシルやドライバーなど、先のとがったものや硬いもので画面を押さないでください。故障の原因となります。

素材とマットの組み合わせ

推奨する材料の厚さは、紙の場合は0.1～0.3mm、布の場合は0.2～1.5mmです。カット/ドローに使用する素材に適したマットや布用シートについては、以下の表を参照してください。素材のカットに必要なアクセサリーが製品に付属していない場合は、別売品を購入してください。

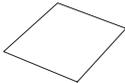
素材 / 厚さ (g / m ² (mm))		マット		布カット用シート		
		強粘着カッティングマット	弱粘着カッティングマット	アイロン接着シート (白色剥離紙)	布用粘着サポートシート	
紙	コピー用紙	80 g/m ² (0.1 mm)	⊘	✓		
	スクラップブック用紙 (薄い)	120 g/m ² (0.15 mm)		✓		
	スクラップブック用紙 (普通)	200 g/m ² (0.25 mm)	✓	✓*		
	カードストック (薄い)	200 g/m ² (0.25 mm)	✓	✓*		
	カードストック (普通)	280 g/m ² (0.35 mm)	✓	✓*		
	ベラム、トレーシングペーパー	0.07 mm		✓		
	ボール紙 (薄い)	280 g/m ² (0.35 mm)	✓	✓		
	ボール紙 (厚い)	400 g/m ² (0.5 mm)	✓	✓		
布	薄いコットン生地 (キルトピース用)	0.25 mm	✓			✓
	薄いコットン生地 (キルトピース以外)	0.25 mm	✓		✓	
	フランネル (キルトピース用)	0.6 mm	✓			✓
	フランネル (キルトピース以外)	0.6 mm	✓		✓	
	フェルト	1 mm	✓		✓	
	デニム 14 oz	0.75 mm	✓		✓	
その他	プラスチックシート (PP)	0.2 mm	✓			
	ビニール	0.2 mm	✓			
	ゴムマグネットシート	0.3 mm	✓			
	ステッカー、シール	0.2 mm	✓	✓		

✓*表面が滑らかな紙を切るとき



お願い

- この表を目安に、作品を作る前には素材とマットの粘着力をテストしてください。

 <p>マット</p>		 <p>布カット用シート 生地を裁断するときは、以下のシートのいずれかを使用してください。</p>
<p>強粘着 カッティング マット</p>	<p>粘着力が強いマットです。布をカットするときは、このマットを使用します。</p> <p>* コピー用紙や表面が滑らかな紙には、弱粘着カッティングマットを使用してください。強粘着カッティングマットを使用すると、マットの粘着力が強いため、素材がマットに貼りついて、マットが使用できなくなることがあります。</p>	<p>アイロン接着シート (白色剥離紙) (→ P.19 参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 布を補強することで、さまざまな模様がカットできます。 • 布の裏面に接着シートが残るため、布の風合いが変化することがあります。 * 強粘着カッティングマットを使用してください。 * 裏面にアイロン接着シートを貼った布を、布用粘着サポートシートを貼ったマットに貼らないでください。
<p>弱粘着 カッティング マット</p>	<p>粘着力が弱いマットです。コピー用紙や表面が滑らかな紙に適しています。</p>	<p>布用粘着 サポートシート (→ P.21 参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 布をきれいにカットするため、強粘着カッティングマットに布用粘着サポートシートを貼って、マットの粘着力を強くします。 • 模様の方によっては、きれいにカットできないことがあります。

 **お願い**

- ラメや金属箔など、表面から剥離しやすい装飾が施された素材は、使用を避けてください。動作中に剥離した装飾がスキャナーやローラーに付着して、故障および刃が破損する原因となります。そのような素材を使用した場合は、使用後に本体底面にあるスキャナーガラスを掃除してください。(→ P.79 参照)

 **お知らせ**

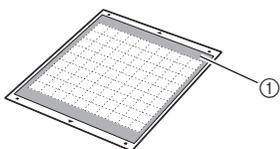
- 12" × 12" (305 mm × 305 mm) マットを使用してカット/ドローする場合の最大動作範囲は、296 mm × 298 mm です。
- 別売の 12" × 24" (305 mm × 610 mm) マットを使用して、カット/ドローする場合の最大動作範囲は、296 mm × 603 mm です。
- 表面がでこぼこしているような布をカットする場合は、裏面を上にして布をマットに貼るとカットしやすくなります。

素材をマットに貼る

素材に適したマットとシート（布をカットする場合）を準備してから、マットに素材を貼りつけます。素材に適したマットとシートについては、P.16「素材とマットの組み合わせ」を参照してください。

素材	ページ
紙	P.18
布（キルトピース以外）	P.19
布（キルトピース用）	P.21

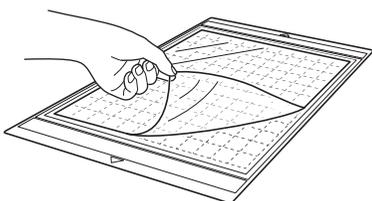
■ 紙



① 素材に適したマット

□ 素材をマットに貼る（紙の場合）

① マットの接着面から保護シートをはがします。



🔔 お願い

- 保護シートは、マットからはがした後も捨てずに保管してください。
- 粘着力を保つために、使用後は保護シートをマットに貼って、マットの粘着面を保護してください。
- マットを使用しないときは、接着面のお手入れをした後に保護シートを貼って保管してください。接着面のお手入れについては、P.78「マットの掃除」を参照してください。

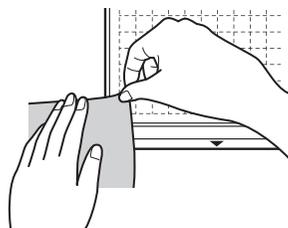
② 素材を試し貼りします。

素材をマットに貼る前に、マットの接着面の端を使って試し貼りをしてください。

試し貼りでは、以下の点をご確認ください：

- はがしたときに、素材の色落ちがないか
- はがしたときに、素材が破れていないか、変形していないか

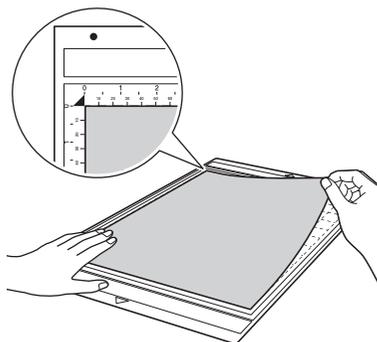
試し貼りで不具合が生じた場合は、素材を変更してください。



🔔 お願い

- コピー用紙や表面が滑らかな紙には、弱粘着カッティングマットを使用してください。強粘着カッティングマットを使用すると、マットの粘着力が強いため、素材がマットに貼りついて、マットが使用できなくなることがあります。

③ マットの接着面に素材を貼ります。



🔔 お願い

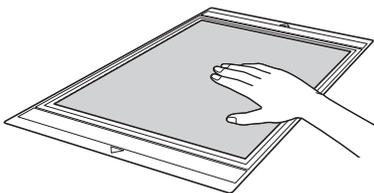
- 素材はマットの接着面の貼り付けエリア（方眼野の範囲）内に配置してください。素材が貼り付けエリアからはみ出すと、マットを送るローラーに引っかかり、破損するおそれがあります。

📄 お知らせ

- マットに上下の違いはないので、どちらからでも本体に挿入できます。

④ 素材にしわが寄ったり、端がめくれたりしないように、しっかりとマットに貼りつけます。

- 素材のしわやめくれは、マットを挿入したときに引っかかる原因となります。

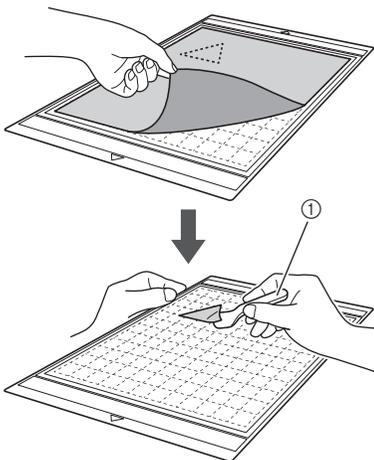


🔍 お願い

- マットが汚れているときは、P.78 「マットの掃除」を参照して、お手入れをしてください。

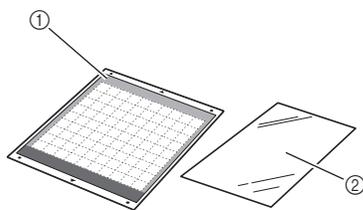
□ 素材をはがす（紙の場合）

素材をカットした後は、付属のスパチュラを使ってゆっくと素材をはがしてください。



① スパチュラ

■ 布（キルトピース以外）



- ① 強粘着カッティングマット
- ② アイロン接着シート（白色剥離紙）

□ 素材をマットに貼る（キルトピース以外の用途に使用する布の場合）

キルトピース以外の用途に使用する布の裏に、アイロン接着シートをアイロンで貼りつけた後、マットに貼りつけます。

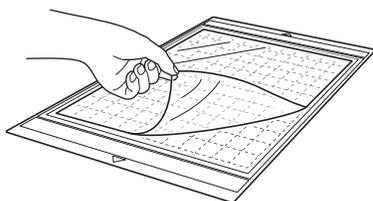
アイロン接着シートは両面が接着面になっているため、アップリケ用の模様のカットに適しています。

いったん接着シートを布の裏に貼り付けると、はがせません。キルトピース用の布には、アイロン接着シートは使用せずに、布用粘着サポートシートを使用してください。

📖 お知らせ

- 接着シートはアイロンのかけられない素材や凹凸のある布などには使用できません。

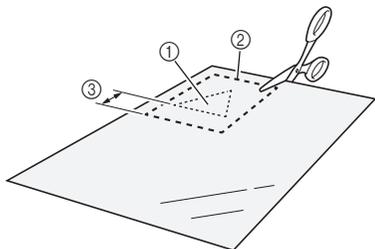
① マットの接着面から保護シートをはがします。



🔍 お願い

- 保護シートは、マットからはがした後も捨てずに保管してください。
- 粘着力を保つために、使用後は保護シートをマットに貼って、マットの粘着面を保護してください。
- マットを使用しないときは、接着面のお手入れをした後に保護シートを貼って保管してください。接着面のお手入れについては、P.78 「マットの掃除」を参照してください。

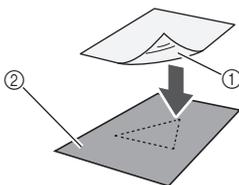
- ② アイロン接着シートを、カットする模様よりも約2cm 以上大きいサイズに切ります。**



- ① カットする模様
② 接着シートの切り取り位置
③ 約2cm 以上の余白

- ③ 接着シートの光沢のある面を下に向けて、布の裏面に置きます。**

最初に布にアイロンをかけてしわを伸ばしておいてください。布の熱を冷ましてから、接着シートを置いてください。



- ① 接着シートの光沢のある面
② 布の裏面

- ④ 接着シートの上から、均等にアイロンをかけて、布の裏面に貼りつけます。**

140～160℃に設定したアイロンで、接着シートの上から均等に約20秒ずつ押し当てます。押し当てる時間は、布の種類によって異なります。接着シートと布の間の空気を押し出すようにアイロンをかけてください。



- ① アイロン接着シート

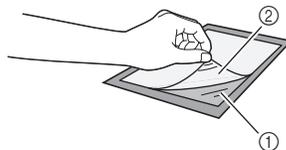


お願い

- 接着シートを布に貼り付ける前に、作品と同じ素材の布で試し貼りしてください。試し貼りで不具合が生じた場合は、素材を変更してください。
- アイロンを同じ場所に押し当て続けしないでください。素材が焦げたり溶けたりすることがあります。

- ⑤ 接着シートから剥離紙をはがします。**

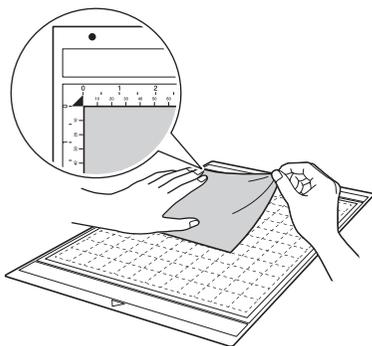
剥離紙をはがす前に、布や接着シートの熱が冷めていることを確認してください。



- ① 接着シート
② 剥離紙

- ⑥ 接着シートを貼った面を下にして、布をマットに端から貼り付けます。**

マットと素材の間に空気が入らないように、端からゆっくりと貼り付けてください。



お願い

- 素材はマットの接着面の貼り付けエリア（方眼野の範囲）内に配置してください。素材が貼り付けエリアからはみ出すと、マットを送るローラーに引っかかり、破損するおそれがあります。



お知らせ

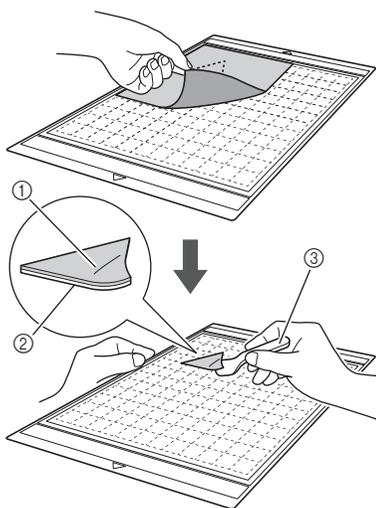
- マットに上下の違いはないので、どちらからでも本体に挿入できます。
- 貼りつけた布の布目が、上下まっすぐになるように配置してください。内蔵の模様は布目に合わせて、自動レイアウトされます。

- ⑦ 素材にしわが寄ったり、端がめくれたりしないように、しっかりとマットに貼りつけます。**

- 素材のしわやめくれは、マットを挿入したときに引っかかる原因となります。

□ 素材をマットからはがす（キルトピース以外の用途に使用する布の場合）

素材をカットした後は、付属のスパチュラを使ってゆっくりと素材をはがしてください。



- ① カットした模様
- ② 接着シート
- ③ スパチュラ

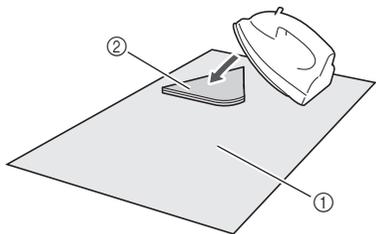
🌞 お願い

- 接着シートを貼った布の上に、熱をもったものを置かないでください。周囲のものに粘着剤が移ります。

□ 両面接着して、土台布にカットした模様を貼りつける

土台布の上にカットした模様を置いて、アイロンを押し当てます（布によっては接着が弱いことがあります）。

アイロンで接着した後に、手ぬいまたはミシンぬいをすると、カットした模様がしっかりと固定されます。



- ① 土台布
- ② 接着シートを貼ったカット模様

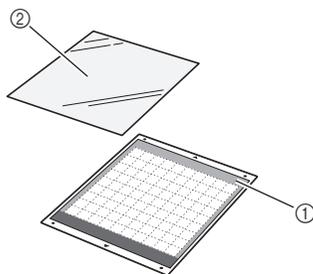
🌞 お願い

- 両面接着した布は、洗濯しないでください。
- 両面接着するときは、溶着の様子を確認しながら、丁寧にアイロンをかけてください。
- 厚みの異なる布を両面接着するときは、薄手の布側からアイロンをかけてください。より接着しやすくなります。

□ アイロン接着シートの使用上の注意

- 接着シートは室温で保管し、高温・多湿・直射日光を避けてください。

■ 布（キルトピース用）

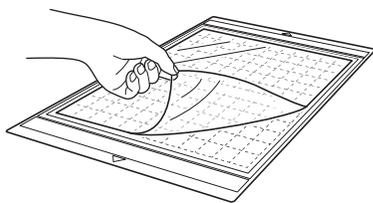


- ① 強粘着カッティングマット
- ② 布用粘着サポートシート

□ 素材をマットに貼る（キルトピース用の場合）

強粘着カッティングマットにキルトピース用の布を貼りつける際は、布用粘着サポートシートを使用してください。ぬいしろが付加されていない模様には使用できません。布用粘着サポートシートは、粘着力が弱くなるまで、繰り返し使用できます（一度マットからはがしたシートは使用できません）。

① マットの接着面から保護シートをはがします。

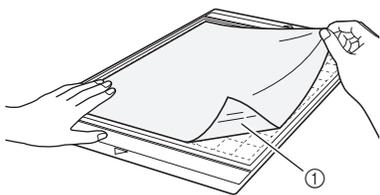


🌟 お願い

- 保護シートは、マットからはがした後も捨てずに保管してください。
- 粘着力を保つために、使用後は保護シートをマットに貼って、マットの粘着面を保護してください。
- マットを使用しないときは、接着面のお手入れをした後に保護シートを貼って保管してください。接着面のお手入れについては、P.78「マットの掃除」を参照してください。

② 布用粘着サポートシートの光沢のある面を下に向けて、マットの接着面に貼ります。

マットとシートの間には空気が入らないように、端からゆっくと貼り付けてください。

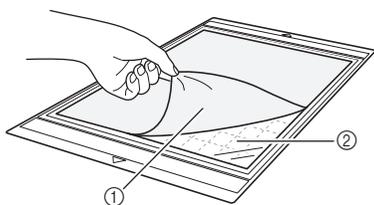


① 布用粘着サポートシートの光沢のある面

🌟 お願い

- 布用粘着サポートシートは、マットの接着面の貼り付けエリア（方視野の範囲）内に配置してください。シートが貼り付けエリアからはみ出ると、マットを送るローラーに引っかかり、破損するおそれがあります。

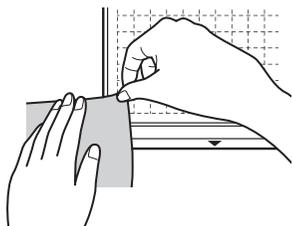
③ 布用粘着サポートシートの剥離紙をはがします。



① 剥離紙
② 接着面

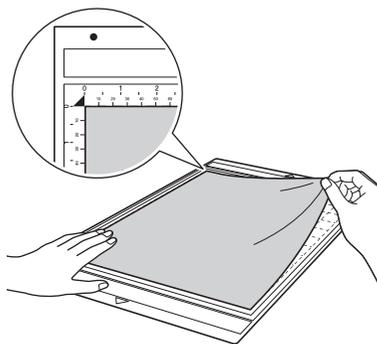
④ 素材を試し貼りします。

素材をマットに貼る前に、接着面の端を使って試し貼りをしてください。試し貼りで不具合が生じた場合は、素材を変更してください。



⑤ 素材にしわが寄らないように、端から、マットの接着面に貼りつけます。

最初に布にアイロンをかけてしわを伸ばしておいてください。



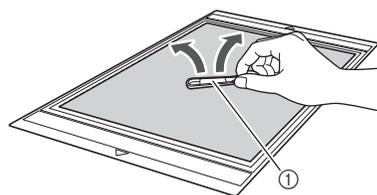
🌟 お願い

- 素材はマットの接着面の貼り付けエリア（方視野の範囲）内に配置してください。素材が貼り付けエリアからはみ出ると、マットを送るローラーに引っかかり、破損するおそれがあります。

📖 お知らせ

- マットに上下の違いはないので、どちらからでも本体に挿入できます。
- 布をマットに貼るときは、布目方向が縦になるように貼ってください。内蔵模様は布目が縦方向になるように自動配置されます。
- ぬいしろをドロースるときは、布の裏面を上にして貼りつけてください。

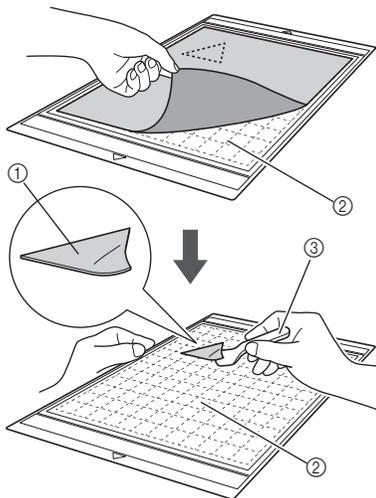
⑥ 付属のスパチュラを布の表面に強く滑らせて、しわを伸ばしながら、布をマットにしっかりと貼りつけます。



① スパチュラ

□ 素材をマットからはがす（キルトピース用の場合）

素材をカットした後は、付属のスパチュラを使ってゆっくりと素材をはがしてください。その際、布用粘着サポートシートを一緒にはがさないように注意してください。



- ① カットした模様
- ② 布用粘着サポートシートはマットに残ります。
- ③ スパチュラ



お願い

- 下記のような条件で布をはがすと、布用粘着サポートシートがはがれることがあります。
 - 連続して使用したため、マットと布用粘着サポートシートの粘着力が弱くなっているとき
 - 布用粘着サポートシートが強く貼りつく布を使用したとき
- 上記の場合、スパチュラで布用粘着サポートシートをおさえて、カットした布を手ではがしてください。
- カット後は、布用粘着サポートシートに残った繊維を取り除いてください。
- アイロン接着シートを接着した布や紙をマットに貼るときは、マットから布用粘着サポートシートをきれいにはがすか、サポートシートを貼っていない、別のマットに素材を貼ってください。
- 布用粘着サポートシートを貼ったマットに、素材を長期間貼りつけたままにしないでください。素材に粘着剤が浸み込みます。

□ 布用粘着サポートシートの使用上の注意

- サポートシートの粘着力が弱くなったり、カット中に布がよじれたりする場合、新しいサポートシートに交換してください。
- マットからサポートシートをはがしたり、サポートシートを交換するときは、スパチュラを使用して丁寧に古いサポートシートをはがしてください。
- マットを使用しないときは、サポートシートに保護シートを貼って保管してください。
- サポートシートを貼りつけたマットを、一定期間使用しなくなる場合、サポートシートをはがしてから接着面に保護シートを貼った状態でマットを保管してください。
- 一度マットに貼りつけたサポートシートは、はがして再利用することはできません。
- サポートシートは室温で保管し、高温・多湿・直射日光を避けてください。
- サポートシートを保管する際は、折り曲げないでください。

刃の出し量を調整する

素材の種類や厚みによって、最適な刃の出し量が異なります。ホルダーをキャリッジにセットする前に、刃量調整ヘッドを回して刃の出し量を調整した後、試し切りをしてください。試し切りについては、P.27「試し切りをする」を参照してください。

■ カット設定

下の表を参考に、カットする素材ごとの適正な設定を選んでください。

素材 / 厚さ (g / m ² (mm))		刃の出し量 (ホルダーの目盛) * ハーフカット	カット圧力の 設定値	ホルダー (刃)		
				ホルダー (青緑色)	厚物用ホルダー (紫色)	
紙	コピー用紙	80 g/m ² (0.1 mm)	3	-1	✓	
	スクラップブック用紙 (薄い)	120 g/m ² (0.15 mm)	3.5	0	✓	
	スクラップブック用紙 (普通)	200 g/m ² (0.25 mm)	4	0	✓	
	カードストック (薄い)	200 g/m ² (0.25 mm)	4	0	✓	
	カードストック (普通)	280 g/m ² (0.35 mm)	5	0	✓	
	ベラム、トレーシングペーパー	0.07 mm	3	0	✓	
	ボール紙 (薄い)	280 g/m ² (0.35 mm)	5.5	0	✓	
	ボール紙 (厚い)	400 g/m ² (0.5 mm)	7.5	4	✓	
布	薄いコットン生地 (キルトピース用)	0.25 mm	4	4	✓	
	薄いコットン生地 (キルトピース以外)	0.25 mm	4	4	✓	
	フランネル (キルトピース用)	0.6 mm	6.5	4	✓	
	フランネル (キルトピース以外)	0.6 mm	6.5	4	✓	
	フェルト	1 mm	5	5		✓
	デニム 14 oz	0.75 mm	5.5	6		✓
その他	プラスチックシート (PP)	0.2 mm	4	0	✓	
	ビニール	0.2 mm	4	0	✓	
	カッティングシート (剥離紙: 0.1 mm)	0.07 mm	1.5*	-1	✓	
	ゴムマグネットシート	0.3 mm	5.5	0	✓	
	ステッカー、シール	0.2 mm	4	0	✓	
	ステッカーシート (剥離紙: 0.15 mm)	0.15 mm	2*	-1	✓	

- カット圧力は設定画面で調節してください。(→ P.30 参照)
- 布をカットするときは、布用粘着サポートシートまたはアイロン接着シートを使用してください。詳しくは、P.16「素材とマットの組み合わせ」を参照してください。

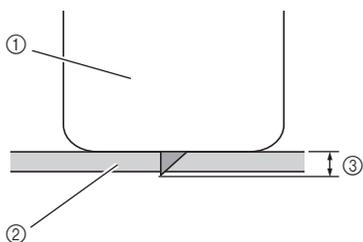


お願い

- 上記の表で示された数値は目安です。カットする素材の種類や厚みによって設定の適正は異なります。はじめに必ず試し切りをしてください。

適切な刃の出し量

カット素材の厚みを少し超えて刃先が出る程度が適正です。ホルダーの目盛を目安にして、調整してください。



- ① ホルダーキャップ（刃量調整ヘッド）の先端
- ② カットする素材
- ③ 刃先の長さ



お願い

- 刃は出しすぎないように注意してください。刃がホルダーからわずかに出る程度でもカットできます。刃の出しすぎは、刃が折れる原因になります。

■ 刃の出し量の調整

① 保護キャップを取り外します。

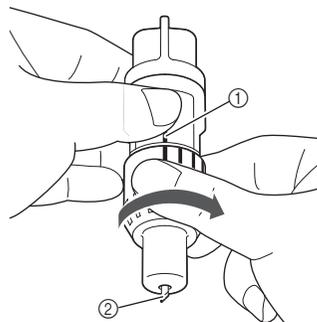
- 使い終わったら必ず刃をホルダーの中に収め、保護キャップを装着してください。



⚠ 注意

- 保護キャップは幼児が飲み込まないように注意してください。

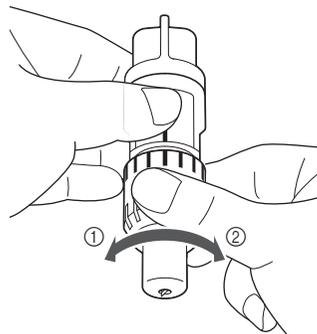
② ホルダーの印が正面になるように持ち、キャップを右側にいっぱいまで回して、刃を最大量まで出します。



- ① 印
- ② 刃を最大量まで出します。

③ 素材の厚みを確認し、刃の出し量を調整します。P.24 「カット設定」を参照ください。

刃量調整ヘッドの数値が大きいほど、刃は長くなっています。



- ① 刃を短くしたいとき、左へ回します。
- ② 刃を長くしたいとき、右へ回します。

ホルダーの取り付け／取り外し

刃の出し量を調整した後、本体にホルダーを取り付けます。素材に適した刃の出し量については、P.24「刃の出し量を調整する」を参照してください。

① 本体の電源を入れます。

詳しくは、P.15「本体の電源を入／切する」を参照してください。

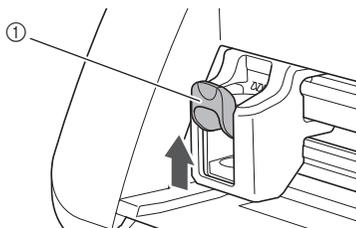


お願い

- 電源を入れてから本体にホルダーを取り付けてください。
- 電源を切った状態で本体にホルダーを取り付けると、刃を傷め素材をきれいにカットできなくなるおそれがあります。

② ホルダー固定レバーが上がっていない場合は、レバーを上げます。

レバーが下がっていると、ホルダーを取り付けることができません。

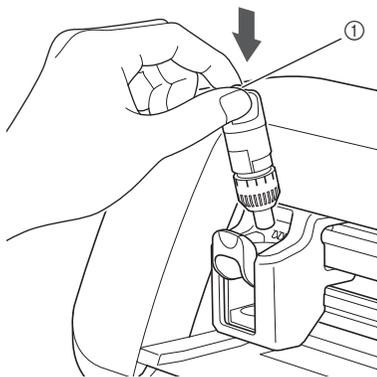


① ホルダー固定レバー

⚠ 注意

- 本体にホルダーを取り付ける前に、保護キャップを取り外してください。
- 保護キャップは幼児が飲み込まないように注意してください。

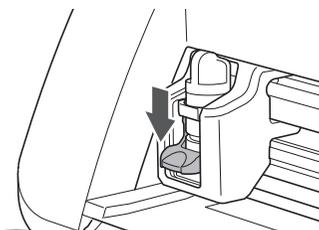
③ つまみ部分をつかんで、ホルダーをキャリッジに差し込みます。



① つまみ

④ ホルダー固定レバーを押し下げます。

ホルダーが固定されるまで、しっかりと押し下げます。



⑤ ホルダーを取り外す場合は、取り付けと逆の手順を行います。

⚠ 注意

- 本体から取り外したホルダーは、必ず刃をホルダーの中に収め、保護キャップを装着してください。
- 刃が出た状態でホルダーを放置しないでください、けがをするおそれがあります。
- 保護キャップは幼児が飲み込まないように注意してください。

試し切りをする

素材に合わせて刃の出し量を調整したら、作品に使用する素材を使って、試し切りをします。

■ 本体の電源を入れる

操作パネルの  を押して本体の電源を入れます。

- 詳しくは、P.15 「本体の電源を入/切する」を参照してください。

■ ホルダーを取り付ける

本体のキャリッジにホルダーを取り付けます。

- 詳しくは、P.26 「ホルダーの取り付け/取り外し」を参照してください。

■ 試し切り用の模様を選択する

紙を使って試し切り用の模様をカットします。

お知らせ

- 設定画面で、表示言語を選択できます。(P.30 「言語」参照)。

① ホーム画面で「模様」を選択します。

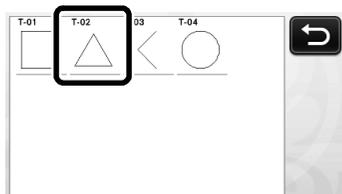


② 模様カテゴリ選択画面で、「試し切り」キーを押します。

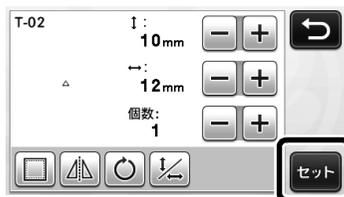


③ 模様選択画面で模様を選択します。

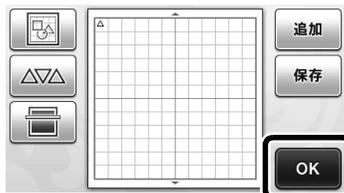
- 紙をカットするときは「T-02」、布をカットするときは「T-03」を選択することをお勧めします。



④ 「セット」キーを押します。



⑤ 模様の配置を確認して、「OK」キーを押します。



- 模様の配置変更について詳しくは、P.43 「模様レイアウト画面」を参照してください。
- 模様を選択しなおしたいときは、 を押して選択を解除してから、もう一度模様を選んでください。

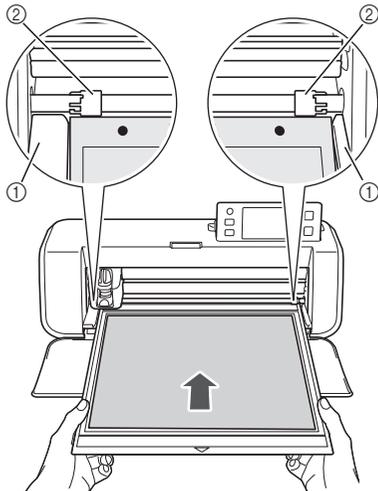
■ マットを挿入する

① カットする素材をマットに貼りつけます。

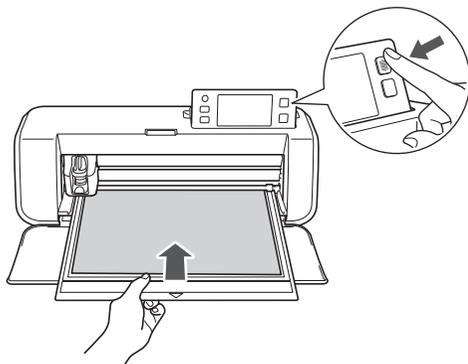
- マットに貼りつける素材の詳細は、P.18 「素材をマットに貼る」を参照してください。

② マットを水平に持ちながら、マット送りに軽く差し込み、操作パネルの を押します。

マット送りの左右にあるガイドに合わせて軽くマットを差し込み、マットを送るローラーの下に挟み込みます。



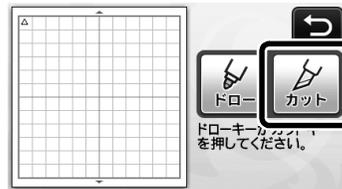
- ① ガイド
- ② ローラー



- ▶ マットが所定の位置まで送り込まれると、カットの準備は完了します。

■ カットする

① ドロー/カット選択画面で「カット」を選択します。



- ▶ 操作パネルのスタート/ストップボタンが点灯します。

🔦 お願い

- 操作を続ける前に、カットする模様が素材のサイズに合わせてカット範囲にレイアウトされていることを確認してください。

② カット速さとカット圧力を調節します。

実際に模様をカットする前に、設定画面でカット速さとカット圧力を調節してください。操作パネルで

 を押し、 を押して設定画面の2ページ目を表示させてください。

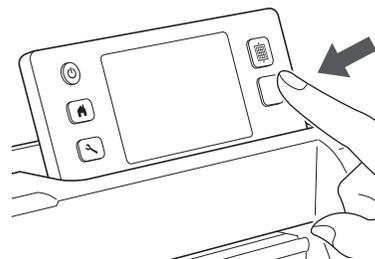
- ▶  または  を押して設定を調節し、「OK」キーを押してください。



🔦 お願い

- 使用する素材によっては、カット圧力が正しく調節されていない場合、きれいにカットできない場合があります。適切なカット圧力については、P.24 「カット設定」を参照してください。

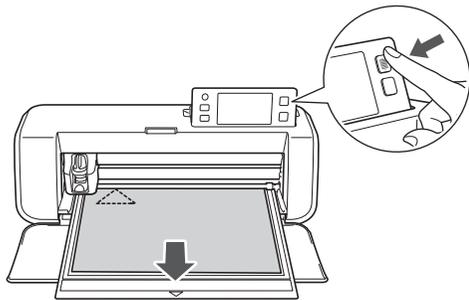
③ スタート/ストップボタンを押して、カットを開始します。



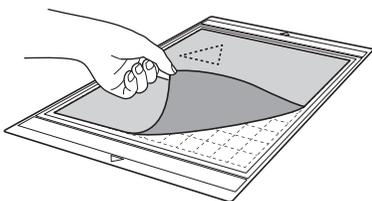
- ▶ カットが完了すると「カットが終了しました。」とメッセージが表示されます。「OK」キーを押すと、ドロー/カット選択画面に戻ります。

■ マットを排出する

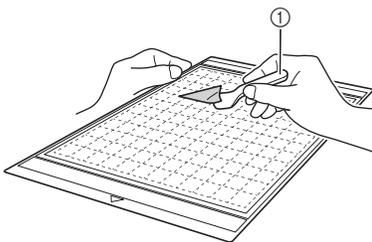
- ① 操作パネルの  を押して、マットを排出します。



- ② 四隅など、はがしやすい場所から素材をはがし始め、同じ強さを保ちながらゆっくりとはがし続けます。



- ③ 片手でマットを固定しながら、付属のスパチュラを使用してカット模様を丁寧にはがします。



① スパチュラ



お願い

- 素材のはがし方については、P.16「素材とマットの組み合わせ」を参照してください。

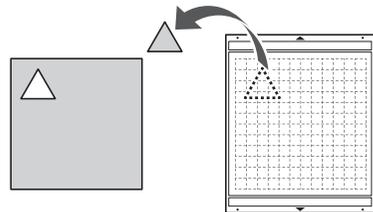
■ 試し切りの結果を確認する

試し切りの結果を確認して、刃の出し量を調整します。

素材がきれいにカットできるまで、試し切りを繰り返して刃の出し量を調整してください。

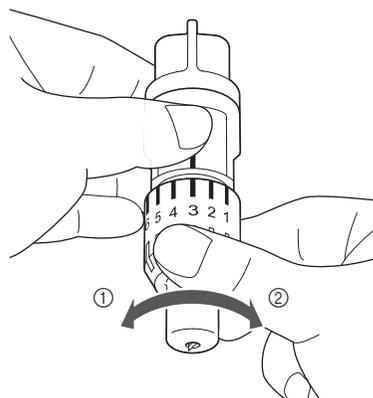
□ 適切な刃の出し量

素材をはがした後に、マットの表面にカットした跡が薄く残ります。



□ 刃の出し量の調整が必要な場合

試し切りの結果	調整方法
素材をはがした後でカットした素材の一部が残る。	刃の出し量が少なすぎる：刃量調整ヘッドを半目盛右へ回してください。(②)
素材がカットされていない。	刃の出し量が少なすぎる：刃量調整ヘッドを1目盛右へまわしてください。(②)
マットの裏面までカット線が入っている。	刃の出し量が多すぎる：刃量調整ヘッドを1目盛左へまわしてください。(①)



お願い

- 刃を出しすぎないように注意してください。刃が折れるおそれがあります。刃を出しすぎると、素材がきれいにカットできません。また、マットの劣化を早める原因となります。

本体設定

設定画面

各種機能の設定を、液晶画面上で選択・調整することができます。操作パネルの  を押し、設定画面を表示させてください。

■ 1 ページ



- ① 設定画面ページ数
- ② 前ページ/次ページを表示
- ③ 設定が完了したときに押します。

言語

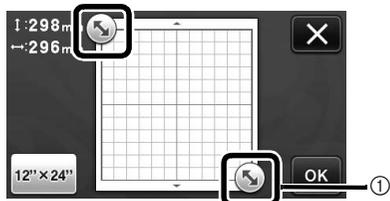
表示言語を選択します。 を押して、表示したい言語を選択し、「OK」キーを押します。

単位

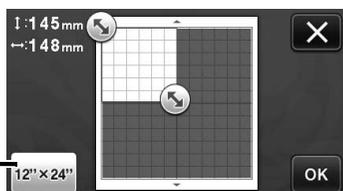
寸法単位の表示をミリかインチから選択します。

カット範囲

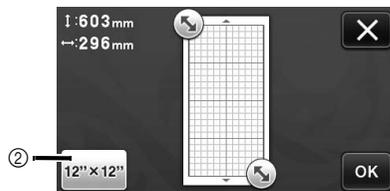
使用する素材の大きさに合わせて、カット・ドロワー範囲を設定します。 を押し、範囲変更キーをドラッグして設定します。12" × 24" (305 mm × 610 mm) のマットを使うときは、マットサイズキーを押して大きめのマットサイズを選択し、カット範囲を設定します。12" × 12" (305 mm × 305 mm) のマットを使うときは、再び「カット範囲」で設定してください。



- ① 範囲変更キー (タッチペンを使ってキーを押してからドラッグして、範囲を設定してください。)



- ② マットサイズキー (キーを押すたびにマットサイズ設定が、12" × 12" (305 mm × 305 mm) と 12" × 24" (305 mm × 610 mm) で切り替わります。)



- ・ 「OK」キーを押すと、設定が適用されます。設定が適用される前に  を押すと元の画面に戻ります。

背景濃淡

背景スキャン機能でスキャンした背景画像の濃淡を調整します。詳しくは、P.47 「背景画像をスキャンする」を参照してください。

■ 2 ページ



カット速度

カットの速度を調節します。

カット圧力

カット圧力を調節します。適正なカット圧力の調整については、P.24 「カット設定」を参考にしてください。

ドロワー速度

ドロワーの速度を調節します。

ドロワー圧力

ドロワーの圧力を調節します。ドロワー圧力を適切に調節すると仕上がりがきれいになります。最初に、作品に使用する素材を使用して試し書きをしてください。圧力が強すぎると、ペン先が変形するおそれがあります。

■ 3 ページ



オートシャットダウン

オートシャットダウンまでの時間を設定します。1時間間隔で設定することができます。詳しくは、P.32 「オートシャットダウン」を参照してください。

ブザー音

キーを押したときなどの操作音の有無を設定します。

ぬいしろ幅

ぬいしろ幅を設定します。キルトピースを作るときなど、ぬいしろをつけてカットするとき（布に模様をドロローして周囲をカットするとき）に、この設定は適用されます。詳しくは、P.57 「ドロロー線の周囲をカットする」を参照してください。

お知らせ

- 同時に複数の模様を配置した場合、設定した値は全ての模様に応用されます。
- ぬいしろが付加された模様が含まれるデータを呼び出したとき、データを保存したときのぬいしろ幅の設定と現在設定されているぬいしろ幅の設定が異なる場合は、現在設定されている値が優先されます。

模様間隔

模様レイアウト画面で、模様のレイアウトを自動調整する場合、模様と模様の間隔や、マット上のカット範囲の内側に残す余白を設定します。数値が大きくなると、間隔は広くなります。

お願い

- 布用粘着サポートシートを貼ったマットに布を貼り付けて模様をカットするときは、「3」以上に設定してください。

■ 4 ページ



オープニング画面

起動時のオープニング画面の表示を設定します。オープニング画面を表示する設定にすると、起動後にスライドショーが始まり、画面を押すとホーム画面が表示されます。

スキャンとカットの位置調整

スキャンとカットの位置を調整します。調整するときは、 を押して、設定画面を表示します。詳しくは、P.81 「スキャンとカットの位置を調整する」を参照してください。

■ 5 ページ



No.

本体のシリアルナンバーを表示します。

Ver.

本体のソフトウェアのバージョンを表示します。

マシンインフォメーション

 を押すと、本体の情報が表示されます。

■ 6 ページ



ネットワーク

 を押して、無線 LAN を設定します。詳しくは、『無線 LAN 接続ガイド』を参照してください。

■ 7 ページ

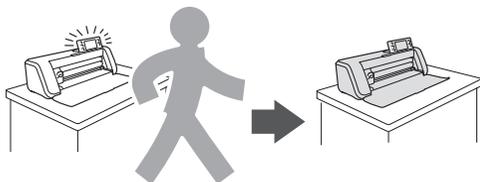


ScanNCut オンライン

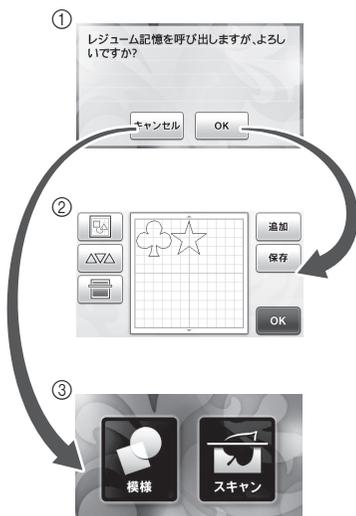
「登録」キーを押して、ScanNCut オンラインを設定します。詳しくは、『無線 LAN 接続ガイド』を参照してください。

オートシャットダウン

本体が一定時間使用されなかった場合、自動で電源が切れます。自動で電源が切れるまでの時間は、設定画面で設定することができます。



模様レイアウト画面で操作中にオートシャットダウンした場合、もう一度電源を入れると、操作の続きからスタートできます。電源を入れた後に画面に表示される手順に従って「OK」キーを押して、模様レイアウト画面に戻るか、「キャンセル」キーを押してホーム画面に戻ってください。



- ① メッセージ画面
- ② 模様レイアウト画面
- ③ ホーム画面

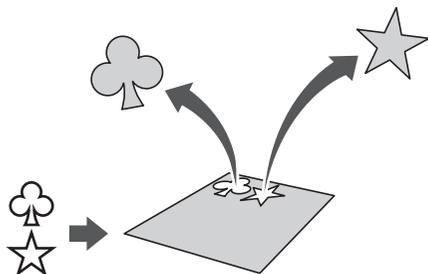
模様レイアウト画面が表示される前にオートシャットダウンした場合、もう一度電源を入れるとホーム画面が表示されます。

第2章 基本操作

模様をカットする

ここでは、内蔵模様を選択してから編集してカットを開始するまでの操作を説明します。

チュートリアル1 模様をカットする



このチュートリアルでは、2種類の内蔵模様をカットします。

■ 本体の電源を入れる

操作パネルの(⏻)を押して本体の電源を入れます。

- 詳しくは、P.15 「本体の電源を入/切する」を参照してください。

■ ホルダーを取り付ける

本体のキャリッジにホルダーを取り付けます。

- 詳しくは、P.26 「ホルダーの取り付け/取り外し」を参照してください。

■ 1つめの模様を選択/編集する

① ホーム画面で「模様」を選択します。



② 模様カテゴリー選択画面でカットしたい模様のカテゴリーを選択します。

ここでは、 を選択します。

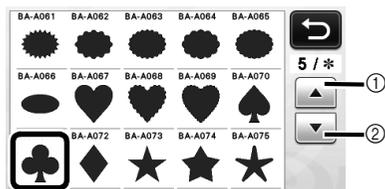


- ① 押すと前の画面に戻ります。
- ② 模様カテゴリー

📖 お知らせ

- お買い上げのモデルによって、画面に表示される模様カテゴリーと内蔵模様は異なります。内蔵模様について詳しくは、同梱の『模様一覧』を参照してください。

③ 模様選択画面で1つめの模様を選択します。

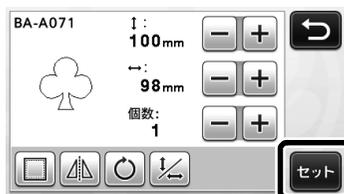


- ① 上にスクロールします。
- ② 下にスクロールします。

④ 模様編集画面で模様を編集します。

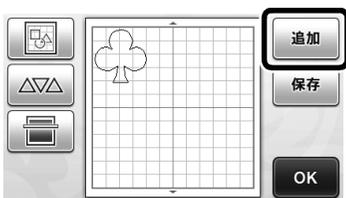
編集が完了したら、「セット」キーを押します。

- 編集機能について詳しくは、P.41 「模様を編集する」を参照してください。



■ 2つめの模様を選択／編集する

① 模様レイアウト画面で「追加」キーを押します。



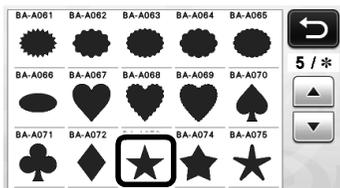
- ▶ 模様カテゴリ選択画面が表示されます。
- 模様を選択しなおしたいときは、を押して選択を解除してから、もう一度模様を選んでください。

② カットしたい模様のカテゴリを選択します。



- ① 押すと前の画面に戻ります。

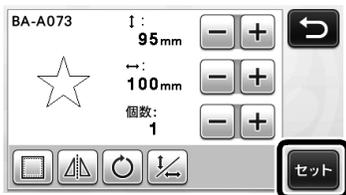
③ 2つめの模様を選択します。



④ 模様を編集します。

編集が完了したら、「セット」を押します。

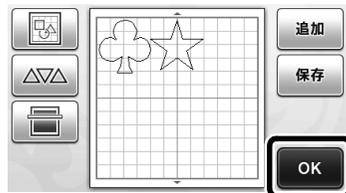
- 編集機能について詳しくは、P.41 「模様を編集する」を参照してください。



⑤ 模様の配置を確認します。

カットする2つの模様が模様レイアウト画面に表示されます。配置を確認して、「OK」キーを押します。

- この画面上で、それぞれの模様を編集したり移動、削除することもできます。模様レイアウト画面の詳細は、P.43 「レイアウトした模様を編集する」を参照してください。
- 自動レイアウト機能をつかって、模様の配置を簡単に調整できます。詳しくは、P.46 「模様を自動でレイアウトする」を参照してください。
- 使用するマットに適した「カット範囲」を設定してください。(→ P.30 参照)



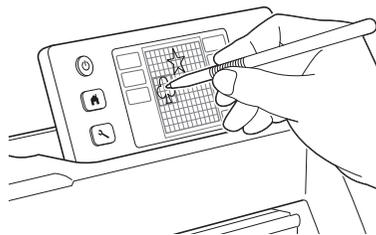
- ▶ ドロー／カット選択画面が表示されます。

💡 お願い

- 模様の間隔が狭すぎると、選択した模様やカットする素材によってはきれいにカットできないことがあります。その場合は、模様の間隔を少し広げてください。

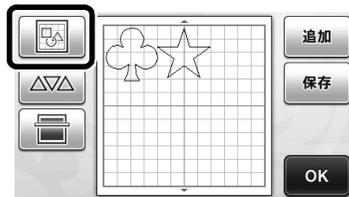
📝 お知らせ

- カット／ドロー範囲内であれば、画面上で模様をドラッグして移動することができます。

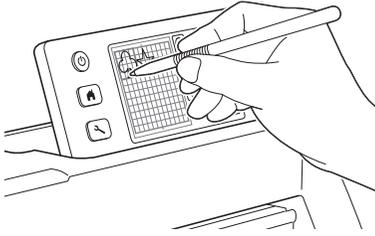


- レイアウトした模様を削除したいときは、レイアウト編集画面で模様を選択してから、以下の手順で削除してください。

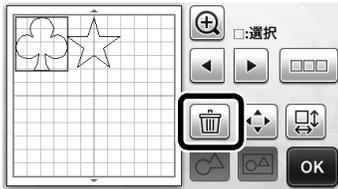
- ▶ 模様レイアウト画面で を押します。



- ▶ 削除したい模様を選択します。複数の模様を一度に削除したい場合、複数選択機能を使用してください。詳しくは、P.39「複数の模様を選択する」を参照してください。



- ▶ 模様レイアウト画面で を押して選択した模様を削除します。



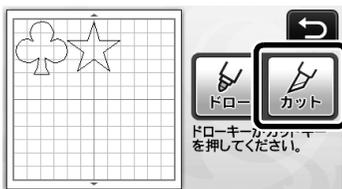
■ マットを挿入する

マットを水平に持ちながら、マット送りに軽く差し込み、操作パネルの を押します。

- 詳しくは、P.28「マットを挿入する」を参照してください。

■ カットする

- ① ドロー／カット選択画面で「カット」を選択します。



- ▶ 操作パネルのスタート／ストップボタンが点灯します。
- カットの前に刃の出し量を適正な長さに調整してください。詳しくは、P.24「刃の出し量を調整する」を参照してください。

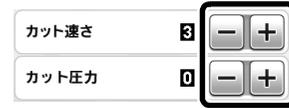
💡 お願い

- 操作を続ける前に、カットする模様が生材のサイズに合わせてカット範囲にレイアウトされていることを確認してください。

② カット速さとカット圧力を調節します。

カットの前に、カット速さとカット圧力を調節します。設定変更は、設定画面から調節することができます。操作パネルの を押してください。

- ▶ または を押して設定を変更します。



💡 お願い

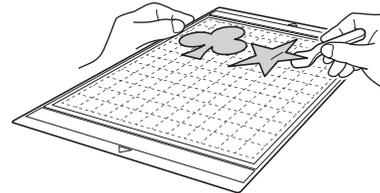
- 使用する素材によっては、カット圧力が正しく調節されていない場合、きれいにカットできない場合があります。適切なカット圧力については、P.24「カット設定」を参照してください。

③ スタート／ストップボタンを押して、カットを開始します。

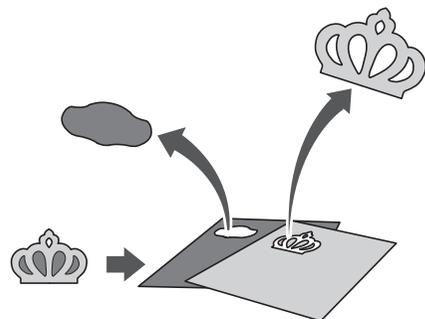
- ▶ カットが完了すると、ドロー／カット選択画面が表示されます。

■ マットを排出する

マットを排出し、付属のスパチュラを使って模様をはがしてください。詳しくは、P.29「マットを排出する」を参照してください。



チュートリアル2 多色の模様をカットする



このチュートリアルでは、 カテゴリの内蔵模様をカットします。

■ 1 つめの模様パーツを選択／編集する

① ホーム画面で「模様」を選択します。



② 模様カテゴリー選択画面で模様のカテゴリーを選択します。

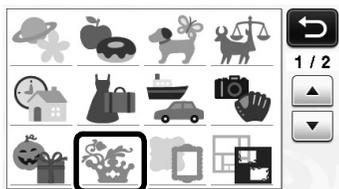


- ① 押すと前の画面に戻ります。
- ② 模様カテゴリー

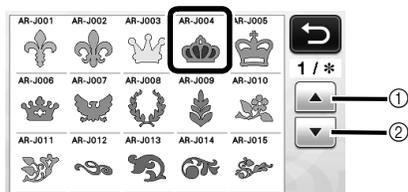
お知らせ

- お買い上げのモデルによって、画面に表示される模様カテゴリーと内蔵模様は異なります。内蔵模様について詳しくは、同梱の『模様一覧』を参照してください。

③ 模様サブカテゴリー選択画面で模様のサブカテゴリーを選択します。



④ 模様選択画面でカットする模様を選択します。

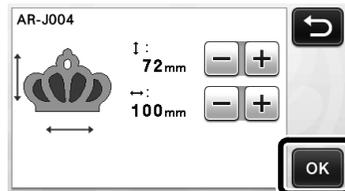


- ① 上にスクロールします。
- ② 下にスクロールします。

⑤ 模様サイズ画面で模様全体の大きさを調整します。

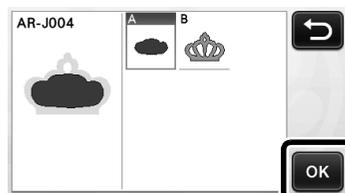
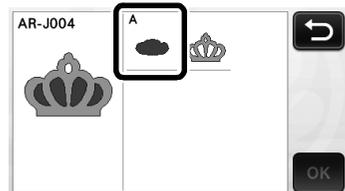
サイズ調整が終わったら、「OK」キーを押します。

- 模様サイズ画面について詳しくは、P.42 「サイズ変更」を参照してください。



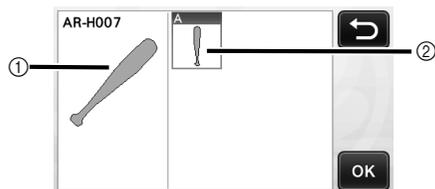
⑥ 模様パーツリスト画面で、最初に編集する模様パーツを選択して、「OK」キーを押します。

模様パーツリスト画面では、個々に編集したい模様パーツを選択できます。



お知らせ

- 模様パーツは、布をカット素材として使用したときに、布目が縦方向になるように配置されます。表示されている模様の角度 (①) と配置される模様の角度 (②) は異なることがあります。

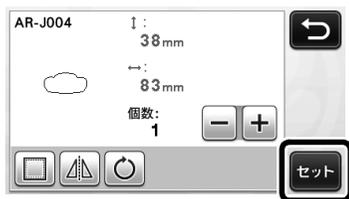


- ① 模様パーツリスト画面での表示
- ② カットされる模様パーツの実際の配置
- 模様パーツの角度は、回転機能を使用してお好みで変更してください。詳しくは、P.42 「模様パーツを編集する」を参照してください。

7 模様パーツ編集画面で、模様パーツを編集します。

編集が完了したら、「セット」キーを押します。

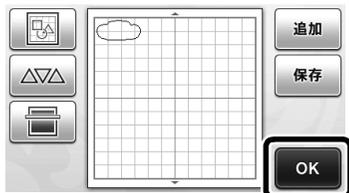
- 編集機能について詳しくは、P.42 「模様パーツを編集する」を参照してください。



8 模様レイアウト画面で模様パーツの配置を確認します。

画面にカットされる模様パーツが表示されます。配置を確認し、「OK」キーを押します。

- 画面上で模様パーツをそれぞれ編集、移動、削除、保存することができます。模様レイアウト画面での編集機能について詳しくは、P.43 「模様レイアウト画面」を参照してください。
- 使用するマットに適した「カット範囲」を設定してください。(→ P.30 参照)



- ▶ ドロー/カット選択画面が表示されます。

■ マットを挿入する

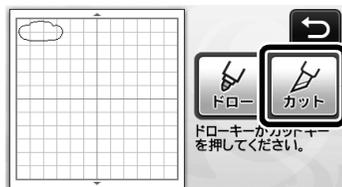
1 つめの模様パーツをカットする素材をマットに貼りつけて、マット送りに差し込みます。

色の異なる複数の模様パーツで構成される模様をカットする場合は、模様パーツをカットするたびに素材を貼り変えてください。

- 素材の準備とマットの差し込み方について詳しくは、P.28 「マットを挿入する」を参照してください。

■ 1 つめの模様パーツをカットする

1 ドロー/カット選択画面で「カット」を選択します。



- ▶ 操作パネルのスタート/ストップボタンが点灯します。

お願い

- 操作を続ける前に、カットする模様素材のサイズに合わせてカット範囲にレイアウトされていることを確認してください。

2 スタート/ストップボタンを押して、カットを開始します。

- ▶ 1 つめのパーツがカットされた後、次のメッセージが表示されます。「次のパーツを選択する」キーを押して、2 つめのパーツをカットします。

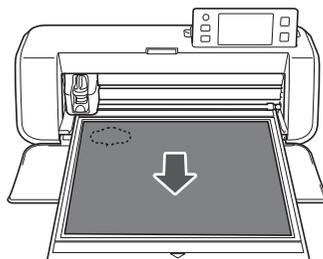


- ▶ 「次のパーツを選択する」キーを押すと、マットに配置した1 つめのパーツがクリアされて、模様パーツリスト画面に戻ります。

■ マットを排出する

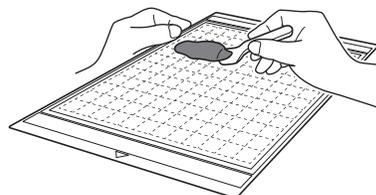
1 操作パネルの [] を押して、マットを排出します。

異なる色の素材をマットに貼り替えたい場合は、1 つめの模様パーツに使用していた素材を排出します。



2 カットした模様パーツをマットからはがします。

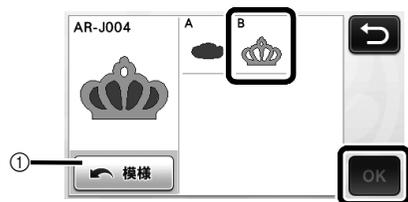
素材のはがし方について詳しくは、P.29 「マットを排出する」を参照してください。



■ 2つめの模様パーツを選択／編集する

- ① 2つめの模様パーツを選択して編集し、「OK」キーを押します。

模様の編集について詳しくは、P.36 「1つめの模様パーツを選択／編集する」の手順⑤～⑥を参照してください。

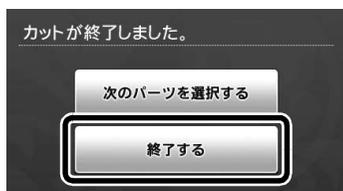


- ① このキーを押すと、模様カテゴリー選択画面に戻り、ほかの模様を選択できます。

- ② P.28 「マットを挿入する」とP.28 「カットする」の手順に従って、2つめの模様パーツに使用する素材を準備してカットします。

▶ カットが完了したら、メッセージが表示されます。

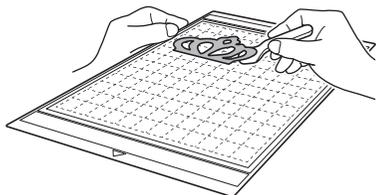
- ③ すべての模様パーツがカットされたら、「終了する」キーを押します。



▶ ドロー／カット選択画面に戻ります。

■ マットを排出する

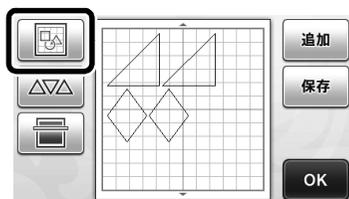
カットした模様パーツをマットからはがします。素材のはがし方について詳しくは、P.29 「マットを排出する」を参照してください。



模様を選択する

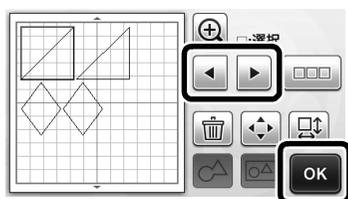
レイアウト編集画面では、用途に応じて4つの模様選択機能を活用できます。

- ▶ 模様レイアウト画面で  を押して、模様を選択します。



1つの模様を選択する

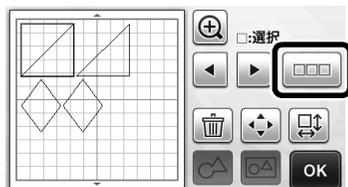
レイアウト編集画面で模様を押すか、 または  を押して、模様を1つ選択し「OK」キーを押します。
選択した模様が赤い枠で囲われます。



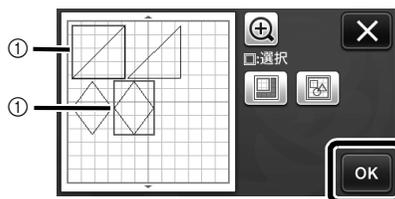
複数の模様を選択する

■ お好みの模様を選択する

- ① 複数の模様を選択するため、レイアウト編集画面で  を押します。



- ② 選択したい模様をすべて画面上で選択し、「OK」キーを押します。



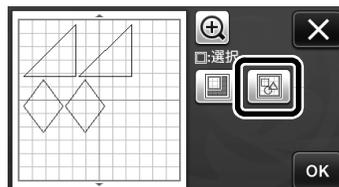
- ① 選択された模様

📖 お知らせ

- 赤い枠で囲われた選択済みの模様をもう一度押すと、模様を選択が解除されます。
- 画面上の空白の部分を押すと、すべての模様が選択解除されます。

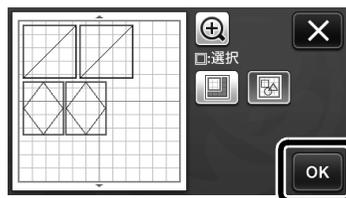
■ すべての模様を選択する

- ① 複数の模様を選択するため、レイアウト編集画面で  を押します。
- ②  を押して、画面上のすべての模様を選択します。



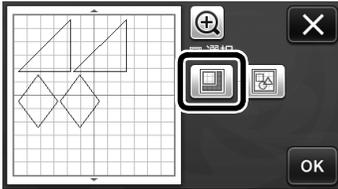
- ③ 画面を確認して、「OK」キーを押します。

- ▶ 選択したすべての模様が赤い枠で囲われます。

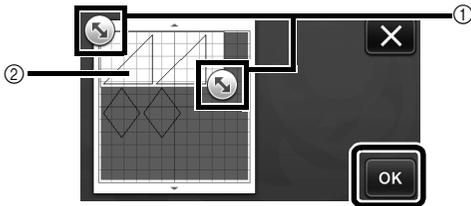


■ 選択範囲内の模様を選択する

- ① 複数の模様を選択するため、レイアウト編集画面で  を押します。
- ②  を押して、模様を選択範囲を設定します。



- ③ 選択範囲の変更キーをドラッグして選択範囲を設定し、「OK」キーを押します。



- ① 選択範囲の変更キー
- ② 選択したい模様

お知らせ

- 選択範囲内の模様を選択する方法は、模様の結合や統合、スキャン後に不要な画像を削除するときに便利です。(→ P.71 参照)

第3章 応用操作

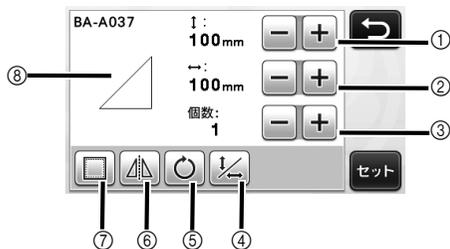
カット／編集機能

模様を編集する

選択した模様によって、模様編集機能が異なります。詳しくは、以下の説明または、P.42「模様を編集するー多色の模様」を参照してください。

以下の画面を表示します

模様編集画面	→チュートリアル1：P.33「1つめの模様を選択／編集する」手順④
--------	-----------------------------------



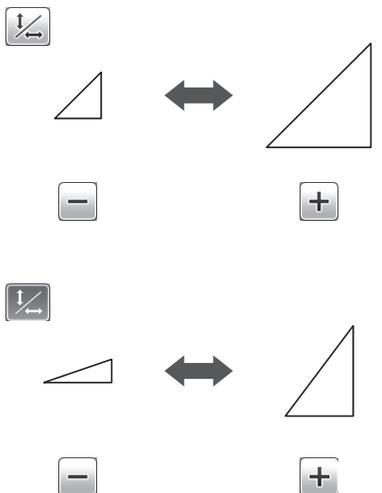
お願い

- カットする模様によって、縮小するときれいにカットできない場合があります。カットを始める前に、作品に使用する素材を使って試し切りをしてください。

① サイズ変更 (高さ)

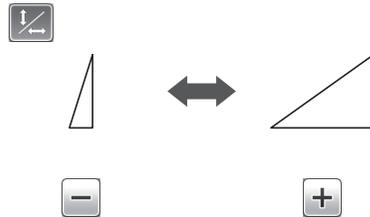
縦横比を保ちながら、模様の高さを変更します。

+または**-**を押して設定を変更します。**↕**を押すと、高さだけを変更できます。



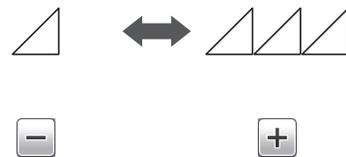
② サイズ変更 (幅)

縦横比を保ちながら、模様の高さを変更します。**+**または**-**を押して設定を変更します。**↔**を押すと、幅だけを変更できます。



③ コピー

模様のコピーを作ります。**+**または**-**を押して、コピーする模様の数を設定します。

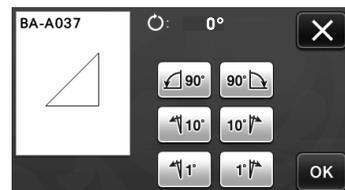


④ 縦横比の保持を解除する

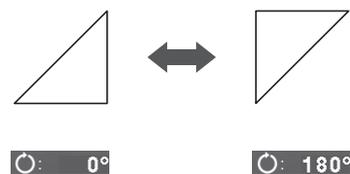
↕↔を押すと、縦横比を保持せずに模様の変更ができます。選択した模様によっては、この機能を使用できません。キーが無効で押せないときは、その模様は縦横比を保持した状態でのみ、サイズ変更をすることができます。

⑤ 回転

模様を回転します。

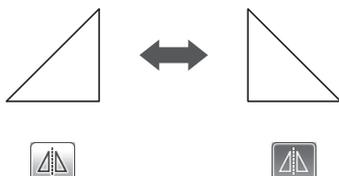


お好みの角度のキーを押します。



⑥ 反転

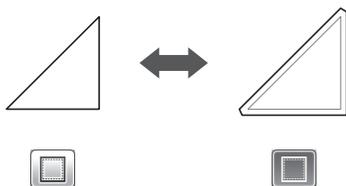
縦方向を軸にして、模様を反転します。



⑦ ぬいしろ

模様にぬいしろを付加します。アップリケピースやキルトピースを作るときなど、ドロした模様の周囲をカットする際に設定します。設定するとドロ線（青色）とカット線（黒色）が表示されます。

- ぬいしろ機能について詳しくは、P.57 「ドロ線の周囲をカットする」を参照してください。



お知らせ

- 模様によっては、ぬいしろがあらかじめ付加されています。設定を確認してください。

⑧ プレビュー

編集する模様のプレビューを表示します。

模様を編集する－多色の模様

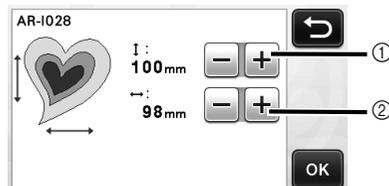
選択した模様によって、模様編集機能が異なります。詳しくは、以下の説明または、P.41 「模様を編集する」を参照してください。

■ サイズ変更

以下の画面を表示します

サイズ変更画面

→チュートリアル2：P.36 「1つめの模様パーツを選択／編集する」手順⑤



- ① 模様の高さを変更します（縦横比保持）
- ② 模様の幅を変更します（縦横比保持）

お知らせ

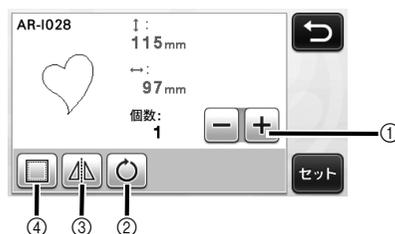
- サイズ変更画面に表示される模様パーツは、サイズ変更のとき縦横比を保持します。

■ 模様パーツを編集する

以下の画面を表示します

模様パーツ編集画面

→チュートリアル2：P.36 「1つめの模様パーツを選択／編集する」手順⑦



- ① コピー
- ② 回転
- ③ 反転
- ④ ぬいしろ

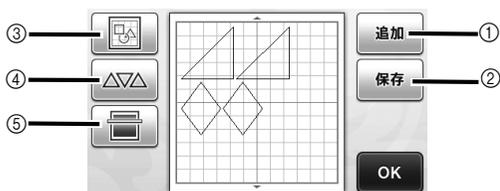
- それぞれのキーの使い方について詳しくは、P.41 「模様を編集する」を参照してください。

模様レイアウト画面

模様の配置を変更できます。プレビュー画面には、P.30 「カット範囲」の手順で設定画面から設定されたカット／ドロー範囲が表示されます。模様レイアウトを、設定した範囲内に収まるように編集します。

以下の画面を表示します

模様レイアウト画面	→チュートリアル1：P.34 「2つめの模様を選択／編集する」手順⑤
-----------	------------------------------------



① 模様の追加

模様を追加します。

- ▶ このキーを押すと、模様カテゴリ選択画面が表示されます。そこから、追加したい模様を選択します。

② 保存

模様レイアウトデータを保存します。詳しくは、P.50 「データを保存する」を参照してください。

③ 編集

配置された模様の移動、削除などの編集操作ができます。詳しくは、P.43 「レイアウトした模様を編集する」を参照してください。

④ 自動レイアウト

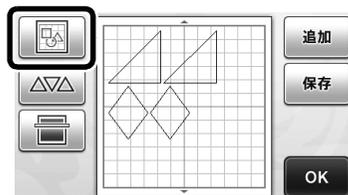
模様の間隔を自動で調整します。詳しくは、P.46 「模様を自動でレイアウトする」を参照してください。

⑤ 背景スキャン

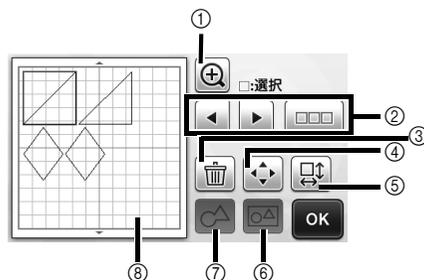
カット／ドロウする素材をスキャンして、模様レイアウト画面の背景として表示できます。素材の特定の場所を使ってカット／ドロウしたいときや、すでにカットに使用した素材を再利用するときなどに便利です。詳しくは、P.47 「背景画像をスキャンする」を参照してください。

レイアウトした模様を編集する

模様レイアウト画面で、を押すと配置した模様を編集できます。

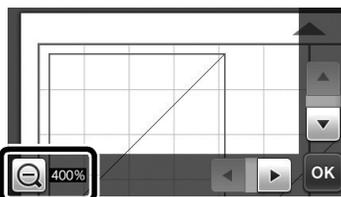
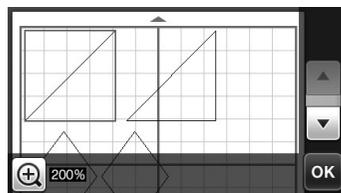


▶ レイアウト編集画面が表示されます。



① 拡大

模様を200%に拡大します。さらに、キーを押すと模様を400%に拡大します。画面をスクロールするには、矢印キーを押します。



② 模様選択

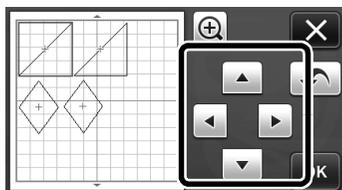
模様を1つずつ選択したり、複数の模様を一度に選択して、編集することができます。詳しくは、P.39 「模様を選択する」を参照してください。

③ 削除

選択した模様を削除します。

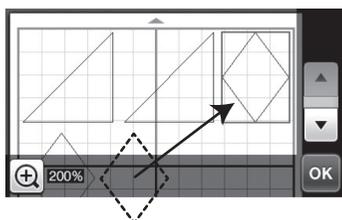
④ 移動

選択した模様を移動します。矢印キーを押して、模様
の位置を調整します。



お知らせ

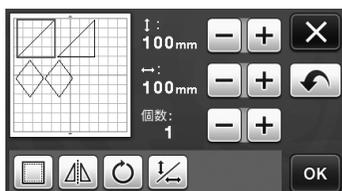
- 画面上で模様をドラッグして移動することもできます。
- 拡大モードで模様を移動するときは、模様をドラッグしてください。



⑤ 模様を個別に編集する

選択した模様を個別に編集します。

- このキーを押すと、模様編集画面が表示されます。表示された画面で、それぞれの模様を編集します。
- 詳しくは、P.41 「模様を編集する」を参照してください。



お願い

- 複数の模様を一度に選択しているとき、模様を個別に編集することはできません。

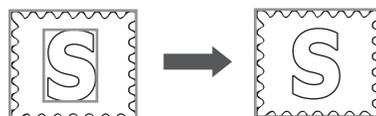
お知らせ

- ぬいしろの付加、模様反転などの編集の結果、模様のカット線がカット/ドロ範囲から出た場合は、カット線が灰色になります。その際は、模様がカット/ドロ範囲に収まるように、移動してください。

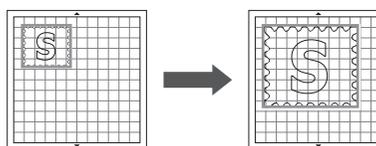
⑥ 統合 (複数の模様をグループ化する)

レイアウト編集画面で、選択した複数の模様を統合して、1つの模様として編集できます。複数の模様の大きさを一度に拡大・縮小したいときなどに便利です。レイアウト編集画面で  を押すと、複数の模様を選択できます。詳しくは、P.39 「複数の模様を選択する」を参照してください。

- ▶ 統合



- ▶ 複数の模様の大きさを一度に拡大する



⑦ 結合 (複数の模様のアウトラインを合体させる)

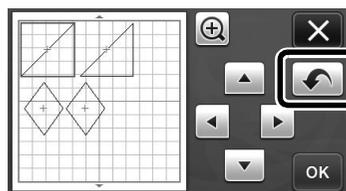
複数の模様のアウトラインを結合して、1つのアウトラインを作ります。詳しくは、P.45 「模様を結合する (複数の模様のアウトラインを合体させる)」を参照してください。

⑧ プレビュー

編集する模様のプレビューを表示します。

操作を元に戻す

模様をマットに配置した後の編集画面で、 を押すと、直前の操作を元に戻すことができます。

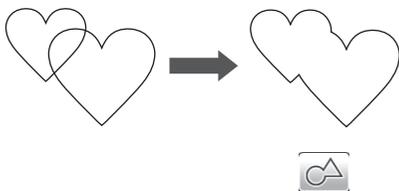


お知らせ

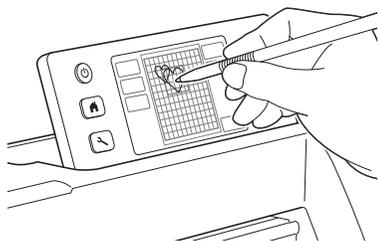
- 直前の10回分の操作までを元に戻すことができます。
- 一度元に戻すと、操作をやり直すことはできません。
- 模様の追加、削除、結合、統合により模様数を変更した場合は、模様数を変更後の操作のみに戻すことができます。
- 模様を自動レイアウトしたときは、元に戻すことができません。

模様を結合する（複数の模様のアウトラインを合体させる）

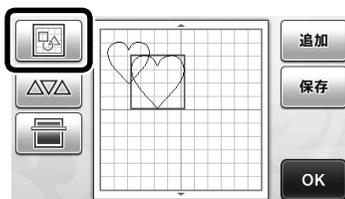
レイアウト編集画面で複数の模様を選択し、選択した模様のアウトラインを結合して1つのアウトラインにします。



- ① 2つの、サイズの異なるハート型模様を選択して、模様レイアウト画面に配置します。
- ② 模様レイアウト画面で、大きいハート型模様を選択して、小さいハート型模様を重ねるように、ドラッグして移動させます。

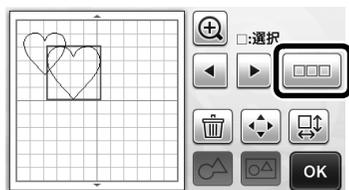


- ③ 模様レイアウト画面で  を押します。



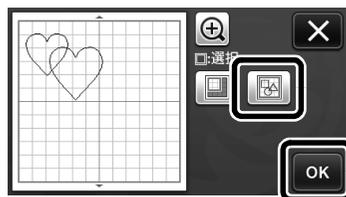
- ④ レイアウト編集画面で  を押します。

- レイアウト編集画面の詳細は、P.43 「レイアウトした模様を編集する」を参照してください。

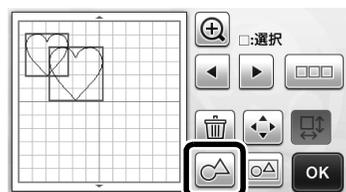


- ⑤  を選択して、「OK」キーを押します。

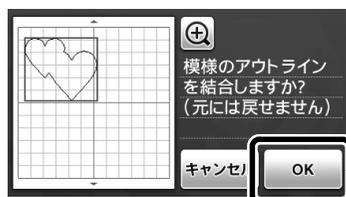
- 2種類の模様選択方法があります。複数の模様選択について詳しくは、P.39 「複数の模様を選択する」を参照してください。



- ⑥  を押します。



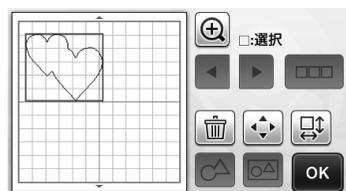
- ⑦ プレビューを確認して、「OK」キーを押します。



💡 お願い

- 模様のアウトラインを結合した後は、元に戻せません。元の模様が必要な場合は、もう一度模様を選択して、編集してください。

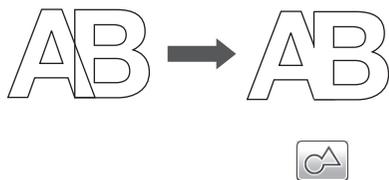
- ▶ 選択した模様のアウトラインは結合されました。



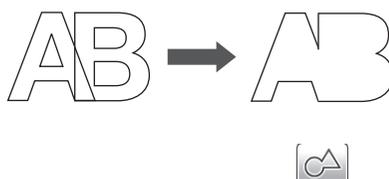
🌟 お願い

- 結合機能を使うと、模様の一番外側のアウトラインが結合されます。内側にカット線がある模様を結合すると、内側のカット線が穴として残る場合と残らない場合があります。結合した模様が、希望どおりになっているか、プレビュー画面で確認してから、操作を完了してください。

- 内蔵模様を結合した場合



- スキャン機能で作成した模様を結合した場合

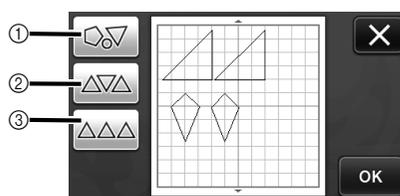


模様を自動でレイアウトする

自動レイアウトはマットに貼りつけた素材を無駄なく使いたいときに便利な機能です。🌟  を模様レイアウト画面 (→ P.43 参照) で押してください。

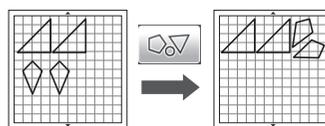
🌟 お願い

- 模様の間隔が狭すぎると、選択した模様やカットする素材によってはきれいにカットできない場合があります。その場合、模様の間隔を変更して、間隔を少し広げてください。
- 模様をレイアウトしたときの間隔は、設定画面で設定できます (P.31 「模様間隔」参照)。設定を変更した後は、変更した設定を適用させるために、再度自動レイアウトを行ってください。
- 布用粘着サポートシートを貼ったマットに布を貼り付けて模様をカットするときは、「模様間隔」を「3」以上に設定してください。



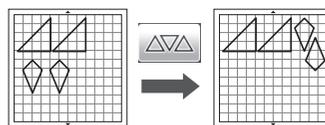
① 模様を自由に回転してレイアウト

たくさんの模様を限られたスペースに配置するとき便利です。



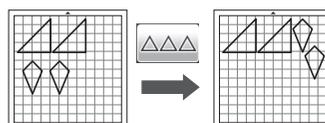
② 模様の回転なし / 180° 回転でレイアウト

カット / ドロー素材とする紙の縦模様や、縦方向の布目を活かして配置したい場合に便利です。



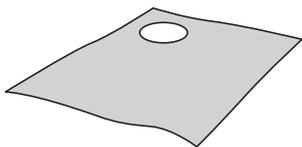
③ 模様の回転なしでレイアウト

カット / ドロー素材とする紙の模様や布目を活かして配置したい場合に便利です。



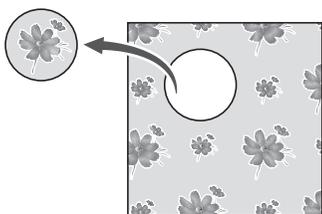
背景画像をスキャンする

例として、左上部分が切り取られたカット素材を背景にします。



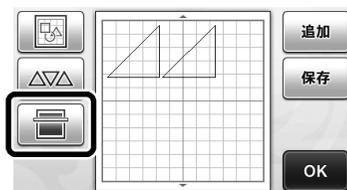
お知らせ

- 柄のついた素材から柄の部分を切り抜きたいときにも、背景スキャン機能は便利です。スキャンした背景画像を確認して、模様をレイアウトし、特定の柄を切り抜いてください。

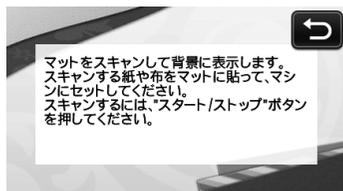


- この機能は、別売のスキャン用マットは使用できません。
- 使用できるマットの最大サイズについては、設定画面5ページ「マシンインフォメーション」の「最大スキャン範囲」を確認してください。

1 模様レイアウト画面で、を押して背景スキャン機能をスタートします。

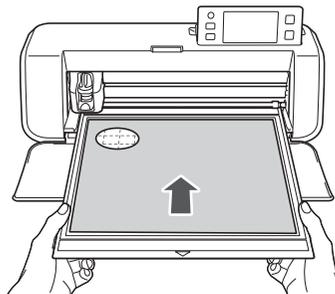


- ▶ 次のメッセージが表示されます。



2 背景に使用したい素材をマットに貼り、マットを差し込み、操作パネルのを押します。

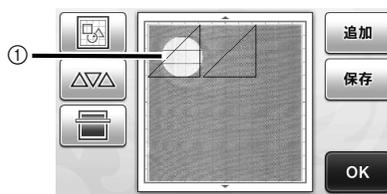
素材の準備とマットの挿入について詳しくは、P.28「マットを挿入する」を参照してください。



- ▶ マットが送られ、操作パネルのスタート/ストップボタンが点灯します。

3 スタート/ストップボタンを押して、スキャンを開始します。

- ▶ スキャンが完了すると、模様レイアウト画面にスキャンされた素材が背景として表示されます。



- ① 左上が切り取られた素材が背景として表示されます。

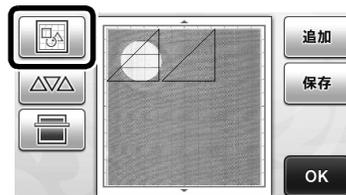
お知らせ

- 画面に表示される模様が、背景と重なって見づらい場合は、設定画面で背景表示のコントラストを調整することができます。操作パネルでを押して、設定画面を表示します。



- ▶  : 背景画像を濃くする
- ▶  : 背景画像を薄くする
- ▶  : 背景画像を表示しない

4 を押します。



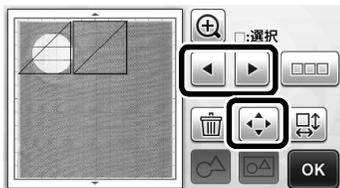
- ▶ レイアウト編集画面が表示されます。

お知らせ

- 画面上で模様をドラッグして移動することもできます。

5 レイアウト編集機能を使って、模様を移動します。

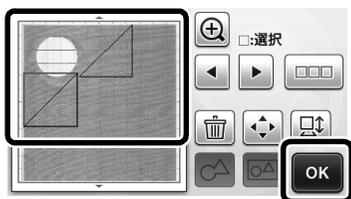
- 模様の移動については、P.43「レイアウトした模様を編集する」を参照してください。



お知らせ

- 画面上で模様をドラッグして移動することもできます。

6 画面上の模様が、背景素材の切り取られている部分と重なっていないことを確認して、「OK」キーを押してください。



お知らせ

- スキャンした素材が排出されると、背景は消去されます。

文字入力機能

文字を模様として選択、編集、カット、ドローできます。模様カテゴリー選択画面から、文字タイプを選択してください。



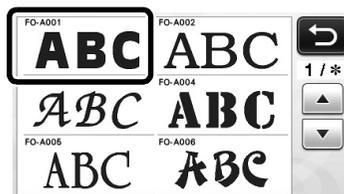
- ① ロゴを選択します。ロゴは模様として、編集、カット、ドローできます。編集について詳しくは、P.41「模様を編集する」を参照してください。
- ② お好みの文字の組み合わせを入力してください。

「RAINBOW」を入力する

- ① 模様カテゴリー選択画面でフォントカテゴリーを選択します。

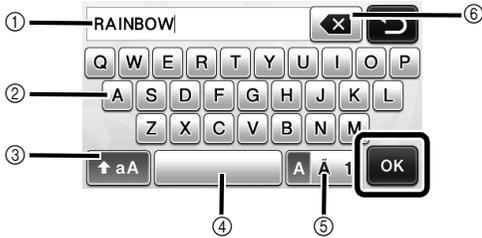


- ② お好みのフォントタイプを押します。



③ 文字を入力します。

入力キーボードは QWERTY 配列です。入力を終えたら「OK」キーを押してください。



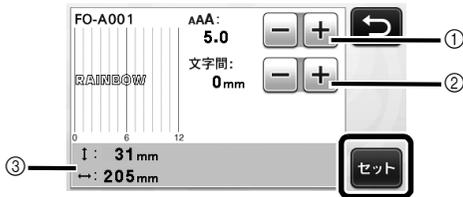
- ① 入力文字表示
- ② 文字入力キー
- ③ 大文字／小文字選択キー
- ④ スペースキー
- ⑤ アルファベット／アクセント文字／数字選択キー
- ⑥ バックスペースキー（入力表示された文字の後ろから一文字を消去します。）

お知らせ

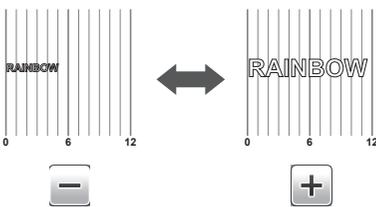
- 入力した文字列がカット／ドロー範囲に収まらない場合、文字のサイズが自動的に縮小されます。

④ 文字サイズと文字間設定を調整します。

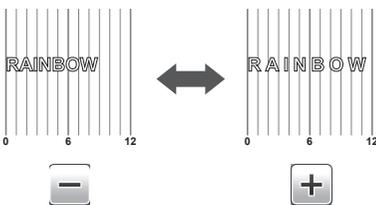
+ または **-** を押して、文字サイズと文字間を調整します。調整が完了したら、「セット」キーを押してください。



- ① 文字サイズ調整キー



- ② 文字間調整キー

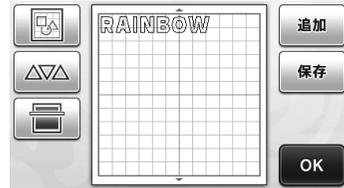


- ③ 文字列全体の長さ

⑤ 文字の配置を確認します。

カット、ドローをする場合は、「OK」キーを押してください。

データとして保存する場合は、「保存」キーを押してください。データ保存について詳細は、P.50「データを保存する」を参照してください。



お知らせ

- 入力した文字は、文字列全体として編集ができます。1文字ずつ個別に編集することはできません。

メモリー機能

カット/ドロエ範囲の中にレイアウトされた模様と文字は、保存して、後から呼び出すことができます。



お願い

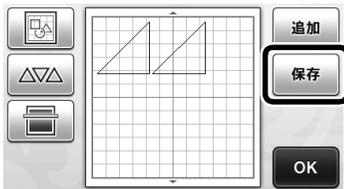
- USB メモリーによっては、本製品で使用できないことがあります。使用可能な USB メモリーについては、ブラザーソリューションセンター (<http://support.brother.co.jp/>) で確認してください。

データを保存する

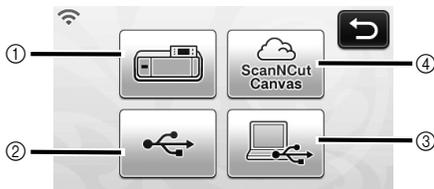
以下の画面を表示します

模様レイアウト画面	→ チュートリアル 1 : P.34 「2 つめの模様を選択/編集する」手順 5
-----------	--

- 1 「保存」キーを押して、保存先選択画面を表示します。



- 2 USB メモリーにデータを保存する場合は、本体の USB ポート (USB メモリー用) に USB メモリーを差し込みます。
- 3 お好みの保存先を押して、保存を開始します。



- 1 本体内蔵メモリーに保存する
 - ▶ 保存が完了すると、以下のメッセージと保存したデータの名前が表示されます。



- 2 USB メモリーに保存する
 - ▶ 保存が完了すると、以下のメッセージと保存したデータの名前が表示されます。



- 保存データのファイル名は、自動でつけられ、拡張子「.fcm」が末尾に追加されます。
- 3 パソコンに保存する
 - パソコンにデータを保存するには、本体の USB ポート (コンピュータ用) に USB ケーブルを差し込みます。詳しくは、P.51 「模様をパソコンに保存する」を参照してください。
 - 4 ScanNCutCanvas に保存する
 - ScanNCutCanvas に保存するには、本体を無線 LAN に接続する必要があります。ScanNCutCanvas (<http://ScanNCutCanvas.Brother.com/>) への接続が完了した場合のみ、この機能が利用できます。詳しい接続方法については、『無線 LAN 接続ガイド』を参照してください。
 - ▶ 保存が完了すると、以下のメッセージと保存したプロジェクトの名前が表示されます。ScanNCutCanvas に保存されたデータの確認方法については、『無線 LAN かんたん接続ガイド』を参照してください。



- これは ScanNCut オンラインの機能です。詳しくは、P.11 「無線 LAN ネットワークを使ったデータ転送「ScanNCut オンライン」とは」を参照してください。
- 本体が無線 LAN に接続されているとき、模様カテゴリ選択画面に青色の無線 LAN アイコンが表示されません。



お願い

- データを保存中は、USB メモリーまたは USB ケーブルを本体から抜かないでください。

- 4 「OK」キーを押して、データの保存を完了します。

模様をパソコンに保存する

■ 本製品に接続可能なパソコン

- 対応機種：
USB ポートコネクタ標準装備の IBM-PC またはその互換機
- 対応 OS：
Microsoft Windows Vista, Windows 7, Windows 8/Windows 8.1, Windows 10

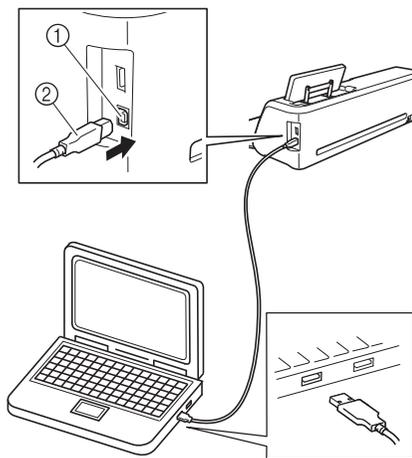
■ USB ケーブル (別売)

- 2.0m 以下の USB2.0 ケーブル (タイプ A/B) を推奨します。

■ 模様をパソコンに保存する

USB ケーブルを使用して本製品をパソコンに接続すると、模様をリムーバブルディスクに一時的に保存できます。リムーバブルディスクはパソコンに表示されます。なお、保存した模様はパソコン内に残らず、本製品の電源を切ったときに消去されます。

- 1 本製品とパソコンの USB ポートコネクタに USB ケーブルを差し込みます。
- 2 パソコンの電源を入れて、「コンピューター (マイコンピューター)」を選択してください。



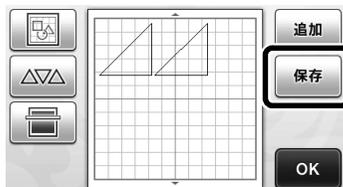
- 1 パソコン用 USB ポートコネクタ
 - 2 USB ケーブル
- ▶ パソコンの「コンピューター (マイコンピューター)」に「リムーバブルディスク」のアイコンが表示されます。



お願い

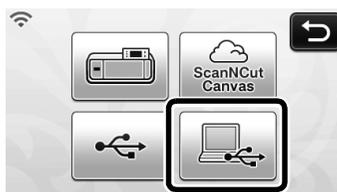
- USB ケーブルは、差し込む向きが決まっています。うまく差し込めない場合は、無理に差し込まず、向きを確認してください。

- 3 「保存」キーを押して、保存先選択画面を表示します。



- 4 を押して、保存を開始します。

- * を押すと、保存せずに元の画面に戻ります。

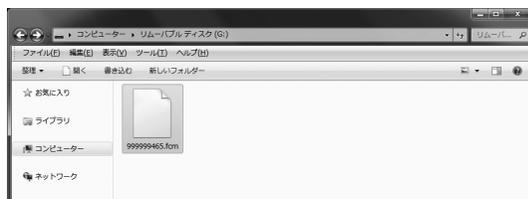


- ▶ 保存が完了すると、以下のメッセージと保存したデータの名前が表示されます。



- 保存データのファイル名は、自動でつけられ、拡張子「.fcm」が末尾に追加されます。
- ▶ 模様は、「コンピューター (マイコンピューター)」の「リムーバブルディスク」に保存されます。

- 5 「リムーバブルディスク」で模様の .fcm ファイルを選び、パソコンにコピーします。



ScanNCutCanvas から模様を呼び出す

無線 LAN を使って、模様を ScanNCutCanvas (ScanNCut 転送機能) から呼び出すことができます。これは ScanNCut オンラインの機能です。詳しくは、P.11 「無線 LAN ネットワークを使ったデータ転送「ScanNCut オンライン」とは」を参照してください。

① 無線 LAN に接続して、本体を ScanNCutCanvas (<http://ScanNCutCanvas.Brother.com/>) に登録します。

- 詳しくは、『無線 LAN 接続ガイド』を参照してください。

② ScanNCutCanvas から、模様を本体に転送します。

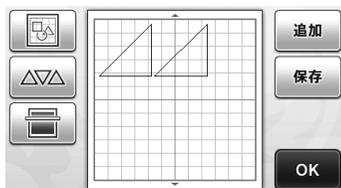
- 詳しくは、『無線 LAN かんたん接続ガイド』を参照してください。

③  を押して、模様を呼び出します。



- 本体が無線 LAN に接続されているとき、模様カテゴリ選択画面に青色の  が表示されます。

- ▶  を押すと、模様レイアウト画面に配置されます。



データを呼び出す

お知らせ

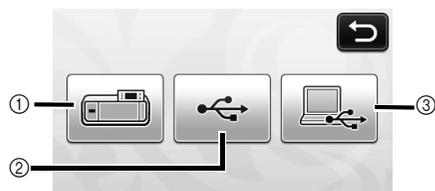
- USB メモリーまたはパソコンから本体に取り込めるファイル形式については、P.54 「デザインファイルをインポートする」を参照してください。

① 「データ呼び出し」キーを押して、保存先選択画面を表示します。

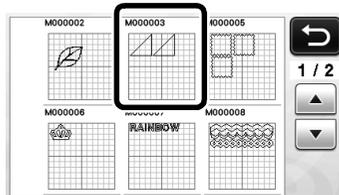


② USB メモリーからデータを呼び出す場合は、本体の USB ポート (USB メモリー用) に USB メモリーを差し込みます。

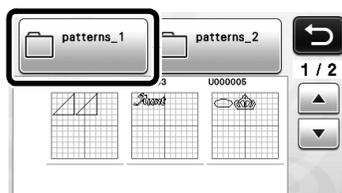
③ 呼び出したいデータの保存先を選択し、好みの模様を選択します。



- ① 本体内蔵メモリーから呼び出す
- ▶ 呼び出す模様を押して、模様レイアウトのプレビューを表示します。



- ② USB メモリーから呼び出す
- USB メモリーにフォルダーがある場合、フォルダーを押すと、フォルダー内の模様が表示されます。
- たくさんのフォルダーや模様がある場合、矢印キーを押して画面表示を上下にスクロールしてください。



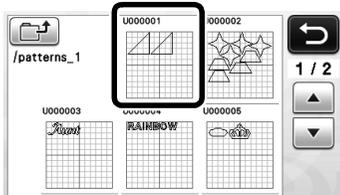
お知らせ

- USBメモリーの認識に時間がかかる場合があります。USBメモリー挿入後、5～6秒ほど待ってからキーを操作してください。(この時間はUSBメモリーによって異なります)
- アクセシビリティ機能付きのUSBメモリーを使用している場合は、アクセシビリティ機能の点滅が終了するまでお待ちください。
- もしエラーが表示された場合は、もう一度



を押してください。

- ▶ 呼び出す模様を押して、模様レイアウトのプレビューを表示します。



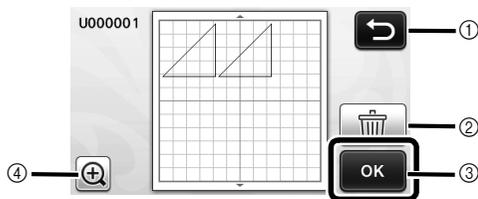
③ パソコンから呼び出す

- ▶ 呼び出す模様を押して、模様レイアウトのプレビューを表示します。詳しくは、P.53「パソコンから模様を呼び出す」を参照してください。

お願い

- データやフォルダーの名前に特殊な文字が使われているなどの理由で、本製品が名前を読み込めない場合、画面上にそのデータやフォルダーを表示することができません。このような場合は、ファイルやフォルダーの名前を変更してください。26文字のアルファベット(大文字/小文字)、0~9の数字、「- (ハイフン)」、「_ (アンダーバー)」の使用を推奨します。

④ 画面の模様レイアウトプレビューを確認して、「OK」キーを押します。



- ① 元の画面に戻ります。
- ② 表示された模様レイアウトを削除します。
- ③ 模様レイアウトデータを呼び出します。
- ④ 模様を拡大表示します。

お知らせ

- めいしろが付加された模様が含まれるデータ(P.57「ドロー線の周囲をカットする」参照)を呼び出したとき、データを保存したときのめいしろ幅の設定と現在設定されているめいしろ幅の設定が異なる場合は、現在設定されている値が優先されます。必要に応じて、設定画面で「めいしろ幅」設定を調節してください(P.31「めいしろ幅」参照)。

パソコンから模様を呼び出す

接続できるパソコンの種類とOSとUSBケーブルについては、P.51「本製品に接続可能なパソコン」を参照してください。

- ① 本製品とパソコンのUSBポートコネクタにUSBケーブルを差し込みます。
- ② パソコンで、「コンピューター (マイコンピューター)」を開いて、「リムーバブルディスク」を選択します。



③ 模様データを「リムーバブルディスク」に移動/コピーします。



- ▶ 「リムーバブルディスク」内の模様データが本製品に書き込まれます。

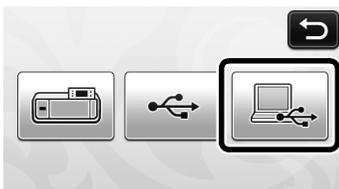
お願い

- データ書き込み中は USB ケーブルを外さないでください。
- 「リムーバブルディスク」にフォルダーを作成しないでください。フォルダーは表示されないため、フォルダー内の模様データを呼び出すことができません。

4 「データ呼び出し」キーを押して、保存先選択画面を表示します。



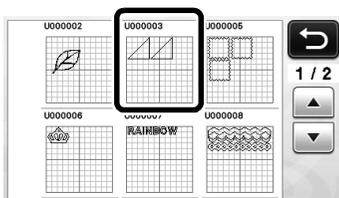
5 を押します。



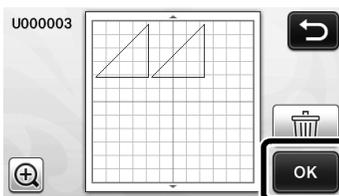
- ▶ パソコンに保存されている模様が選択画面に表示されます。

6 呼び出したい模様のキーを押します。

- * 戻るキーを押すと、元の画面に戻ります。



7 「OK」キーを押します。



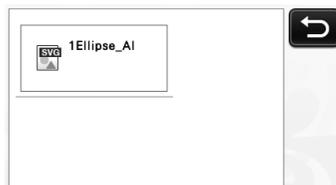
- ▶ 模様レイアウト画面が表示されます。

デザインファイルをインポートする

■ インポート可能なファイル形式

FCM 形式に加えて、以下のファイル形式がインポートできます。

- SVG 形式 (Scalable Vector Graphics : 二次元のグラフィックを表現するためのベクター画像形式)。「.svg」データは、ファイル名のみが模様一覧画面に表示されます。(実際の模様は表示されません)



お知らせ

- 読み込んだデータは変換された後、画面に表示されます。本機能ではベクターデータのみを読み込むことができます。埋め込み画像やテキスト、また線幅、グラデーション、透明効果などの属性やスタイルは読み込むことができません。
- PES/PHC 形式を含むアプリケーションデータ：詳しくは、P.55 を参照してください。

アップリケピースをカットする

アップリケピースの切り取り線を含むミシンの刺しゅうデータ（.phc ファイルまたは .pes ファイル）を本製品に呼び出して、アップリケピース用の布をカットすることができます。 .phc は、アップリケ刺しゅう機能が搭載されたミシン、 .pes は刺しゅうデータ作成ソフト「刺しゅう PRO」を使用して作られたミシンの刺しゅうデータです。



お願い

- .pes、.phc についてご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店にご相談ください。

.phc または .pes を準備する

■ .phc ファイル

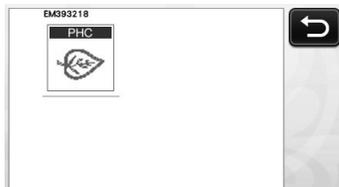
刺しゅう模様の外部への保存が可能なミシンを使用して、“アップリケピース ”を含む刺しゅう模様を USB メモリーまたはパソコンに保存します。刺しゅう模様を USB メモリーまたはパソコンに保存する方法は、ミシンによって異なります。お手持ちのミシンの取扱説明書をご覧ください。

■ .pes ファイル

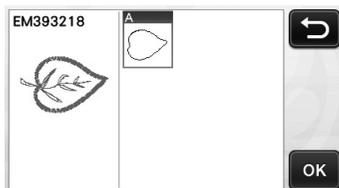
刺しゅうデータ作成ソフト「刺しゅう PRO」を使用して、“アップリケピース ”を含む刺しゅう模様を USB メモリーまたはパソコンに保存します。刺しゅう模様を USB メモリーまたはパソコンに保存する方法は、ソフトウェアのバージョンによって異なります。お手持ちのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

本製品に模様を呼び出して、カットする

- 1 刺しゅう模様（.phc ファイルまたは .pes ファイル）を呼び出します。（P.52 「データを呼び出す」参照）



▶ 「アップリケピース」が表示されます。



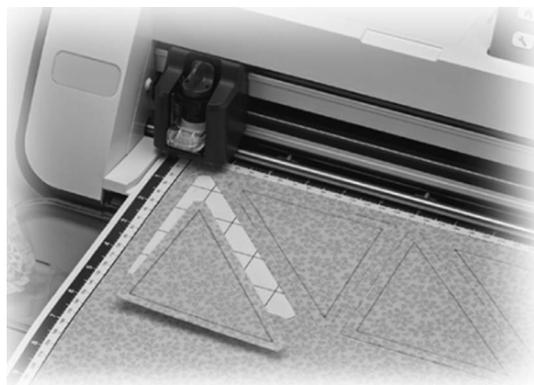
お知らせ

- .phc、.pes であっても、模様を読み込んだときに画面に模様が表示されないデータはカットすることができません。呼び出すファイルが「アップリケピース」を含んでいることを確認してください。

- 2 アップリケピース用の布をマットにセットして、模様をカットします。
- 3 ミシンの取扱説明書を参照して、アップリケを完成させます。

ドロ機能

ペンとペンホルダーを使って、素材に模様を描くこと（ドロ）ができます。ぬいしろ幅を設定して、素材にぬいしろを描いてからカットすることもできます。ドロ機能は、キルトピースの作成に便利です。



■ 準備

ドロ機能を使うためには、以下のアクセサリーが必要です。本製品に付属されていないアクセサリーは、別売品を購入してください。

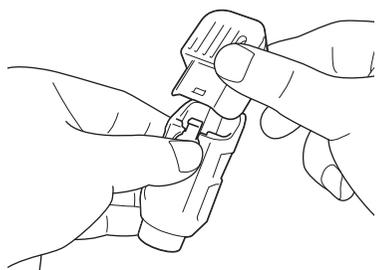
- ペンホルダー
- チャコペンセットまたはカラーペンセット
- ドロする素材に適したマット
- カットする素材に適した刃とホルダー
- カット／ドロする布に適したアイロン接着シートまたは布用粘着サポートシート

ドロする

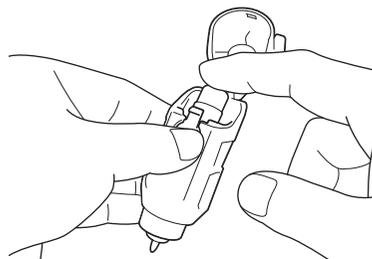
例として、内蔵模様を素材に描きます。

■ ペンホルダーを用意する

- ① ペンホルダーの中心のボタンを押してフタを開けます。



- ② ペンのキャップを外し、先端を下にしてペンホルダーに差し込みます。



- ③ ペンホルダーのフタをしめます。



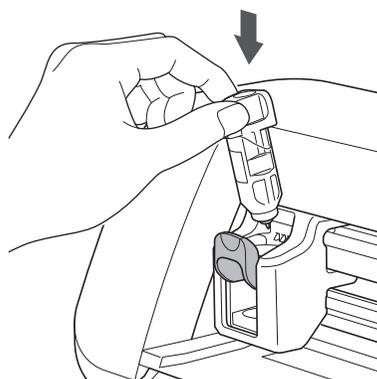
お願い

- 使用後は、ペンホルダーからペンを取り外し、ペンのキャップをしめてから保管してください。

■ ドロする

- ① ホルダーのつまみをつかんで、ペンホルダーを、ボタンを奥に向けた状態でキャリッジに取り付けます。

- 詳しくは、P.26 「ホルダーの取り付け／取り外し」を参照してください。

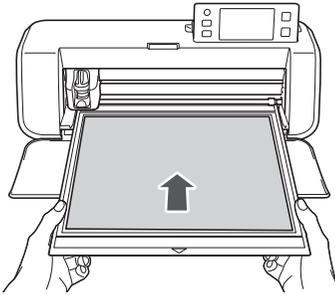


- ② 模様を選択、編集します。

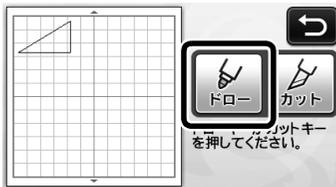
- 模様を選択、編集について詳しくは、P.33 「1つめの模様を選択／編集する」を参照してください。

③ ドロー（カット）素材を貼りつけたマットを挿入します。

- マットを軽くマット送りに差し込み、操作パネルの  を押します。
- マットの挿入について詳しくは、P.28 「マットを挿入する」を参照してください。



④ ドロー／カット選択画面で、「ドロー」を選択します。

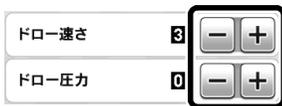


- ▶ ドロー線が青く表示されます。

⑤ ドロー速さとドロー圧力を調節します。

ドローを開始する前に、ドロー速さとドロー圧力を設定してください。設定は、設定画面からできます。操作パネルの  を押します。

- ▶  または  を押して、設定を変更します。



お願い

- ドロー圧力が強すぎると、ペン先が破損するおそれがあります。適切な設定に調節してください。



お知らせ

- ドロー圧力の調節によって、作品の仕上がりが変わります。実際にドローに使う素材と同じ素材で確認しながら設定してください。

⑥ 操作パネルのスタート／ストップボタンを押して、ドローを開始します。



お願い

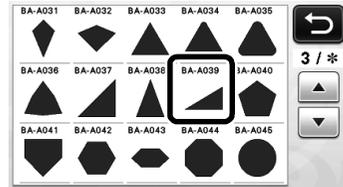
- 使用後は、ペンホルダーからペンを取り外し、ペンのキャップをしめてから保管してください。

ドロー線の周囲をカットする

例として、内蔵模様にくいしろを設定し、模様をドローしてから、そのまわりをカットします。

■ ぬいしろ幅を設定する

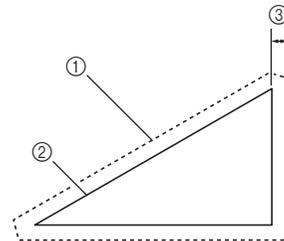
① ドローする模様を押します。



② ぬいしろ幅を設定します。

設定画面で、ぬいしろ幅（模様のアウトラインからカット線までの距離）を設定します。操作パネルの  を押して、設定画面を表示します。

- ▶  または  を押して、設定を変更します。

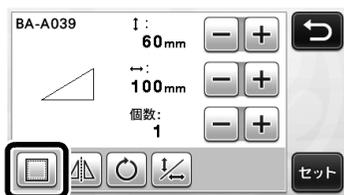


- ① ぬいしろ線
- ② 模様アウトライン（縫製位置）
- ③ ぬいしろ幅

- ▶ 設定が完了したら「OK」キーを押し、模様編集画面に戻ります。

③ めいしろを付加します。

を押すと、めいしろが付加されます。がグレー表示されている場合は、めいしろを付加できません。

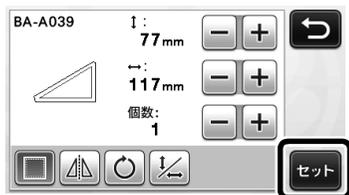


お知らせ

- 模様によっては、めいしろがあらかじめ付加されています。設定を確認してください。

▶ プレビューされた模様は、ドロー線（青）とカット線（黒）で表示されます。

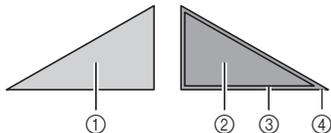
④ 「セット」キーを押して、模様の編集を完了します。



お知らせ

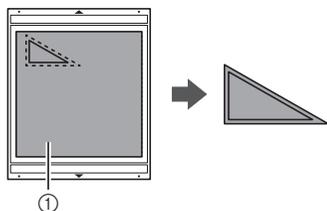
- 布の裏側にめいしろをドローするときは、模様を反転させてください。

作成する模様パーツのイメージ



- ① 布の表側
- ② 布の裏側
- ③ ドロー線（縫製位置）
- ④ めいしろ線

▶ 布の裏面を表にしてマットに貼りつけた後、マットを差し込み、模様を反転してからドロー／カットしてください。

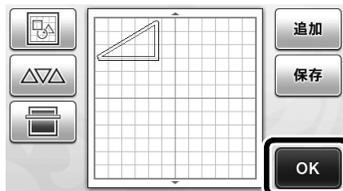


- ① 布の裏面

⑤ 模様の配置を確認してから、「OK」キーを押します。

布の端に模様を配置するときれいにカットされないことがあります。その場合、布の端（画面のカット／ドロー範囲の端）から 10mm 以上離して模様を配置してください。

- 模様の配置を再度編集する場合は、を押してください。詳しくは、P.43 「模様レイアウト画面」を参照してください。
- 使用するマットに適した「カット範囲」を設定してください。（→ P.30 参照）



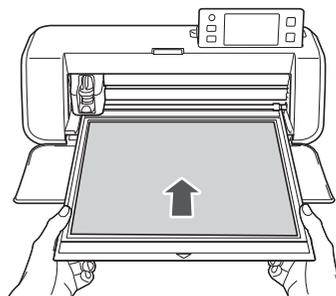
▶ ドロー／カット選択画面が表示されます。

■ マットを挿入する

カット（ドロー）する素材を貼ったマットを差し込みます。

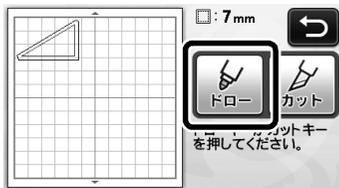
布の裏側にめいしろをドローするときは、布の裏面を上にしてマットに貼りつけてください。

- 素材のマットへの貼りつけ方について詳しくは、P.16 「素材とマットの組み合わせ」を参照してください。
- マットを軽くマット送りに差し込み、操作パネルのを押します。
- マットの挿入について詳しくは、P.28 「マットを挿入する」を参照してください。

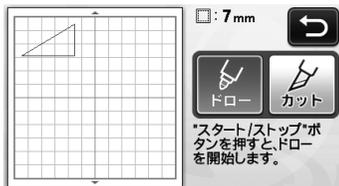


■ ドローする

① 「ドロー」 キーを押します。



▶ ドローする線のプレビューが表示されます。

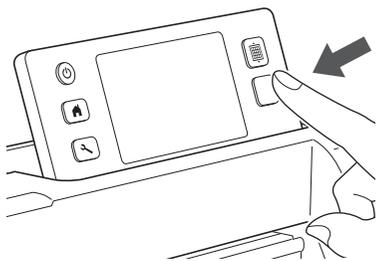


▶ 操作パネルのスタート/ストップボタンが点灯します。

② ペンの圧力を調節します。

ドロー圧力の調節について詳しくは、P.57 「ドローする」の手順⑤を参照してください。

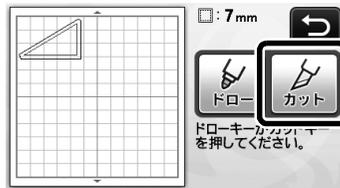
③ スタート/ストップボタンを押してドローを開始します。



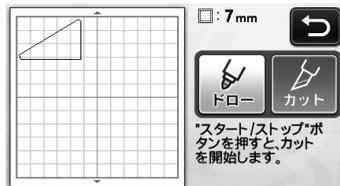
- ▶ ドローが完了したら、画面にメッセージが表示されます。「OK」キーを押すと、ドロー/カット選択画面が表示されます。
- ドロー圧力を調節するために、試し描きをする場合は、この操作の手順①から③を繰り返してください。
- ドローした模様をカットするときは、マットを差し込んだ状態で  を押さずに以下のカット操作に進んでください。

■ カットする

① 「カット」 キーを押します。

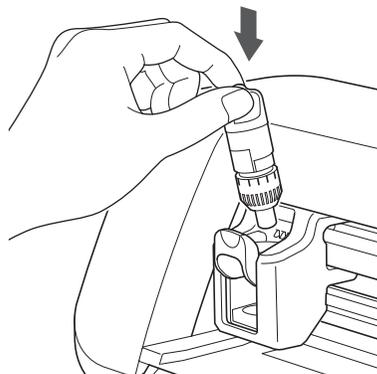


▶ カット線のプレビューが表示されます。



▶ 操作パネルのスタート/ストップボタンが点灯します。

② ペンホルダーを取り外し、刃用のホルダーを取り付けます。



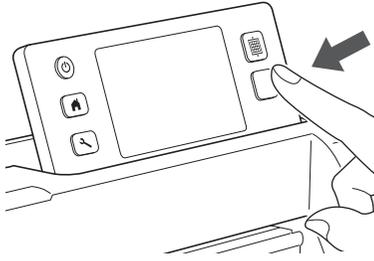
🔦 お願い

- 使用後は、ペンホルダーからペンを取り外し、ペンのキャップをしめてから保管してください。

⚠ 注意

- 本体にホルダーを取り付ける前に、保護キャップを取り外してください。
- 保護キャップは幼児が飲み込まないように注意してください。

- ③** スタート/ストップボタンを押して、カットを開始します。

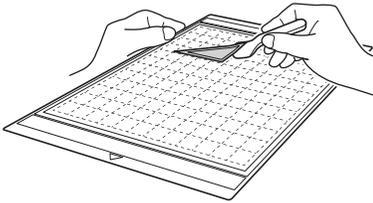


- ▶ カットが完了すると、ドロワー/カット選択画面が表示されます。

- ④** 操作パネルの  を押して、マットを排出します。

- ⑤** マットから模様をはがします。

- 詳しくは、P.29 「マットを排出する」を参照してください。



第4章 スキャン機能

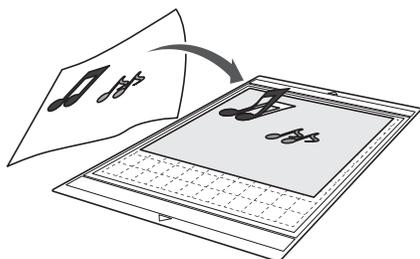
スキャンした素材をカットする（ダイレクトカット）

プリントされた画像（紙/ステッカー）やスタンプが押された紙、オリジナルの手描きイラストなどをスキャンして、そのアウトラインをカット/ドロースタンプします。ペーパークラフト用の画像を読み込んで、切り抜きなどする場合にも便利です。



チュートリアル3 スキャンした素材をカットする

このチュートリアルでは、紙に描いたイラストをスキャンし、そのまわりをカットします。



■ 準備

① 素材を準備します。



「ダイレクトカット」モードを使用する場合は、以下のようなスキャン素材を用意してください

- かすみ、ぼやけ、グラデーションがなく、はっきり描かれた模様
- 細かすぎる柄が使われていない模様



② 電源を押して、本体の電源を入れます。

- 詳しくは、P.15 「本体の電源を入/切する」を参照してください。

③ ホルダーを本体のキャリッジに取り付けます。

- 詳しくは、P.26 「ホルダーの取り付け/取り外し」を参照してください。

■ スキャンする

スキャンしたいイラストの色に合わせて、グレースケール認識モードまたはカラー認識モードからスキャン方法が選択できます。

① ホーム画面の「スキャン」キーを押して、スキャンモードを選択します。



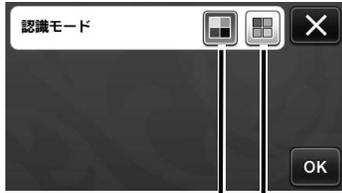
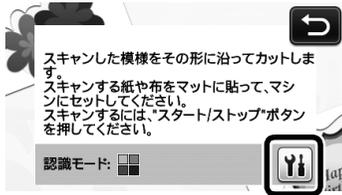
② スキャンモード選択画面で、「ダイレクトカット」を選択します。



- ▶ メッセージが表示されます。

③ スキャンしたい素材に合わせて、スキャン方法を選択します。

- はじめにグレースケール認識モードを試してください。カットデータが意図どおりに作成されなかった場合は、カラー認識モードを試してください。



① ②

① グレースケール認識モード

イラストをグレースケールに変換した後、カットデータを作成します。輪郭や明度のはっきりしたイラストは、グレースケール認識モードでのスキャンが適しています。また、カラー認識モードに比べて、処理が速く終わります。グレースケールに変換したときに同じ色になる図形が隣接する場合は、カラー認識モードを選択します。

グレースケール認識モードに適したイラストの例：

例	結果
輪郭線がはっきりしている	
背景とイラストの明度の差がはっきりしている	

お知らせ

- 以下のようなイラストの場合、背景とイラストの明るさが同じため、輪郭線を検出できません。この場合は、カラー認識モードを使用します。



① 背景とイラストの明度が同じ

② カラー認識モード

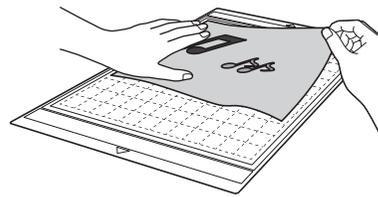
イラストをグレースケールに変換せずにカットデータを作成します。このモードでデータを作成すると、イラストによっては時間がかかることがあります。

* 出荷時はグレースケール認識モードに設定されています。

カラー認識モードに適したイラストの例：

例	結果
背景とイラストがどちらも薄い色	
背景とイラストがどちらも濃い色	

④ マットにスキャン素材を貼りつけます。



お知らせ

- 「ダイレクトカット」モードでは、スキャン用マットは使用できません。
- 使用できるマットの最大サイズについては、設定画面 5 ページ「マシンインフォメーション」の「最大スキャン範囲」を確認してください。
- マットにスキャン素材を貼りつける前に、素材の端をマットの接着面に試し貼りしてください。

5 マットを水平に持ちながらマット送りに軽く差し込み、操作パネルのを押します。

- 詳しくは、P.28 「マットを挿入する」を参照してください
- ▶ 操作パネルのスタート/ストップボタンが点灯します。

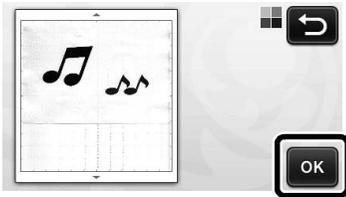
6 スタート/ストップボタンを押してスキャンを開始します。

■ カットデータを作る

カットデータを作る手順は、モードによって異なります。

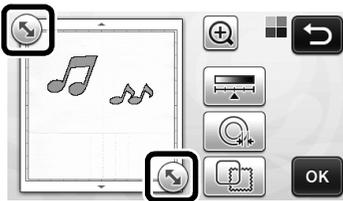
□ グレースケール認識モード

1 スキャンする画像を確認し、「OK」キーを押します。



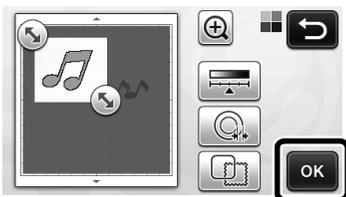
2 画像トリミング画面で、タッチペンでをドラッグして、取り込みたい画像のサイズにトリミングします。

- ▶ カット線が作成されている場合、スキャンしたイラストの輪郭が黒くなります。

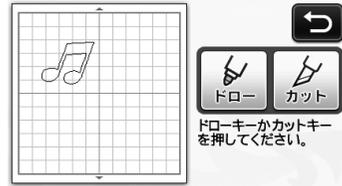


- ▶ を押すと、検出する最小の画像サイズと画像検出レベルを調整できます。詳しくは、P.72 「画像検出レベルを調整する」を参照してください。
- ▶ またはを押すと、取り込んだカット線を編集できます。詳しくは、P.64 「ダイレクトカット」の応用機能を参照してください。

3 「OK」キーを押して、トリミングした範囲を確定します。

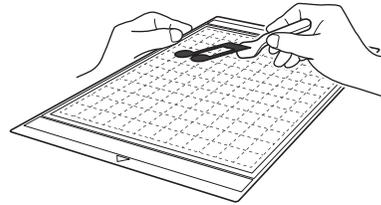


- ▶ カット線のみが表示されます。



4 スタート/ストップボタンを押してカットを開始します。

- ▶ カット後のマットの排出について詳しくは、P.29 「マットを排出する」を参照してください。



□ カラー認識モード

1 画像トリミング画面で、タッチペンでをドラッグして、取り込みたい画像のサイズにトリミングします。



お知らせ

- ▶ 画像を必要なサイズにトリミングすることで、カットデータに変換するときにかかる時間を短縮できます。

2 「OK」キーを押して、トリミングした範囲を確定します。



- ▶ カットデータに変換されます。

③ 画像編集画面で取り込んだ画像を確認します。

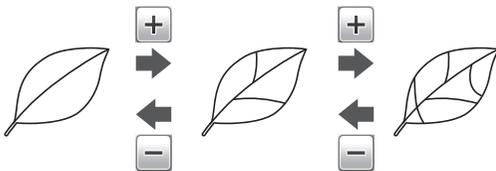
▶ 作成したカット線が黒い線で表示されます。



- ① カット線が正しく検出されなかったときは、検出する色数を変更します。単一の色が異なる色として検出されたときは、色数を減らします。また、隣接している似た明度の色が単一の色として検出されたときは、色数を増やします。



オリジナル

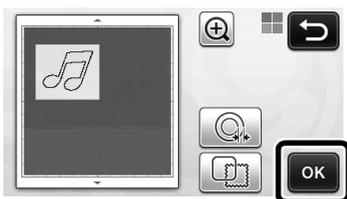


- ② 不要な模様（点線など）は、カットデータから取り除くことができます。詳しくは、P.72 「認識最小サイズ」を設定する」を参照してください。
- ③ 「OK」キーを押すと、設定が確定します。色数を変更すると、「OK」キーが「プレビュー」キーになります。色数を変更した後、「プレビュー」キーを押して結果を確認してください。

お知らせ

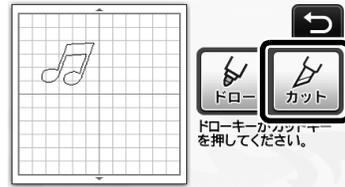
- スタンプを押したときなど、グラデーションが含まれていたり、塗りつぶしが完全でないエリアがある場合は、カットデータに変換できないことがあります。

④ 「OK」キーを押します。



- [認識最小サイズ] または [プレビュー] を押すと、取り込んだカット線を編集できます。詳しくは、P.64 「ダイレクトカット」の応用機能を参照してください。
▶ カット線のみが表示されます。

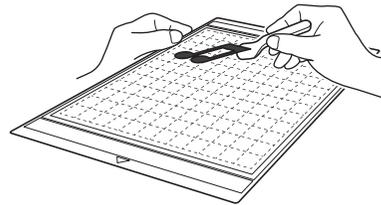
⑤ 「カット」キーを押します。



- ▶ 「カット」キーがハイライト表示され、操作パネルのスタート/ストップボタンが点灯します。

⑥ スタート/ストップボタンを押してカットを開始します。

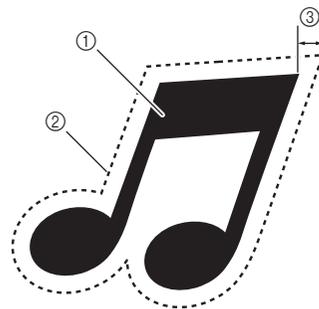
- カット後のマットの排出について詳しくは、P.29 「マットを排出する」を参照してください。



「ダイレクトカット」の応用機能

■ アウトライン距離を設定する

模様の周りに余白をつけてカットできます。カット線からスキャン画像のアウトラインまでの距離を指定します。



- ① 模様のアウトライン
- ② カット線
- ③ アウトライン距離

以下の画面を表示します

画像トリミング画面

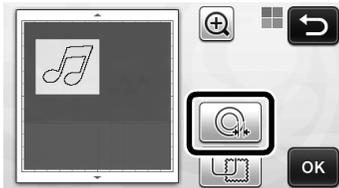
→ チュートリアル 3 ; P.63
「カットデータを作る」手順 ③
または P.64 手順 ④

① を押します。

- グレースケール認識モードのとき

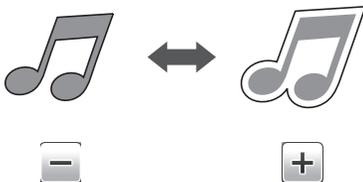


- カラー認識モードのとき



▶ 設定画面が表示されます。

② またはを押して、設定を変更します。



■ アウトライン／枠をつける

スキャンした画像のカット線をお好みの形状に設定することができます。

以下の画面を表示します。

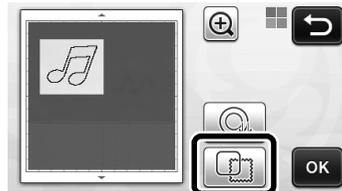
画像トリミング画面	→ チュートリアル 3 ; P.63 「カットデータを作る」手順 ③ または P.64 手順 ④
-----------	--

① を押します。

- グレースケール認識モードのとき

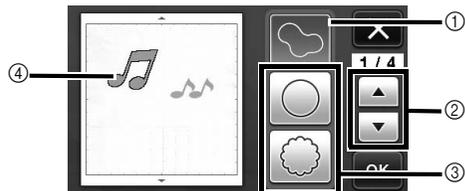


- カラー認識モードのとき



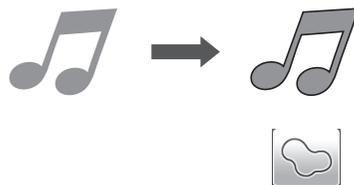
▶ 設定画面が表示されます。

② カット線の形状を選択します。



① アウトラインをつける

キーを押すと、スキャンしたイメージのアウトラインにそってカット線を作成します。



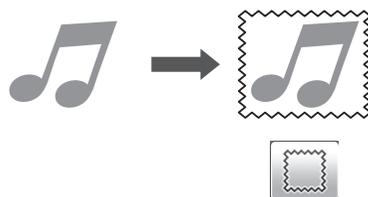
② 枠形状スクロール

またはを押して枠のリスト表示を上下にスクロールします。

③ 枠を付ける

お好みの枠キーを押すと、指定された枠形状のカット線を作成します。

- 複数の模様がある場合、枠はそれぞれの模様に設定されます。



④ プレビュー

選択した枠形状のカット線をスキャン画像と一緒に表示します。

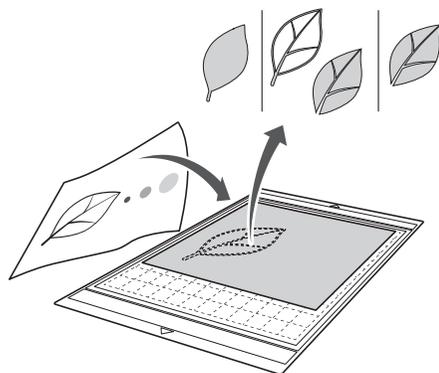
カットデータを作成する

プリントされた模様や画像、オリジナルの手描きイラストなどをスキャンして、本製品でカット/ドロウするためのカット線へ変換したのち、データとして保存することができます。



チュートリアル4 カットデータを作成する

このチュートリアルでは、カットデータとして紙に描かれたイラストを保存します。



■ 素材の準備

「カットデータ作成」モードを使用する場合は、以下のような素材を用意してください。

- かすみ、ぼやけ、グラデーションがなく、はっきり描かれた模様
- 細かすぎる柄が使われていない模様



■ スキャンする

- ① ホーム画面で「スキャン」を押して、スキャンモードを選択します。



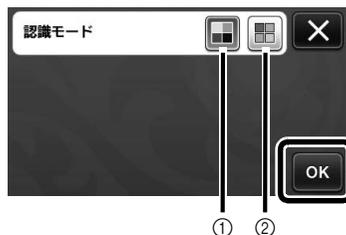
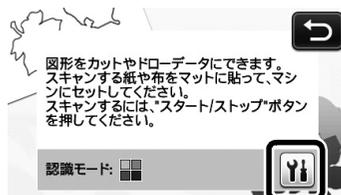
- ② スキャンモード選択画面で「カットデータ作成」を選択します。



▶ メッセージが表示されます。

- ③ を押してスキャンするモードを選択した後、「OK」キーを押します。

- はじめにグレースケール認識モードを試してください。カットデータが意図どおりに作成されなかった場合は、カラー認識モードを試してください。



- ① グレースケール認識モード

イラストをグレースケールに変換した後、カットデータを作成します。

輪郭や明度がはっきりしたイラストは、グレースケール認識モードでのスキャンが適しています。また、カラー認識モードに比べて、処理が速く終わります。グレースケールに変換したときに同じ色になる図形が隣接する場合は、カラー認識モードを選択します。

② カラー認識モード

イラストをグレースケールに変換せずにカットデータを作成します。このモードでデータを作成すると、イラストによっては時間がかかることがあります。

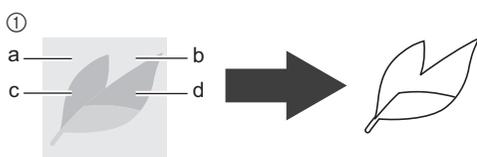
* 出荷時はグレースケール認識モードに設定されています。

各認識モードに適したイラストの例：

例	推奨する認識モード
<p>輪郭線がはっきりしている</p> 	グレースケール認識モード
	
<ul style="list-style-type: none"> 背景とイラストの明度の差がはっきりしている 隣接する色が異なる 	カラー認識モード
<ul style="list-style-type: none"> 隣接する色が似ている 	

お知らせ

- 以下のようなイラストの場合、背景とイラストの明るさが同じため、輪郭線を検出できません。この場合は、カラー認識モードを使用します。



- ① 「a」と「b」、「c」と「d」の明るさが同じ。

④ 素材を貼りつけたマットを、マット送りに差し込みます。

- マットを軽くマット送りに差し込み、操作パネルのを押します。
- マットの挿入について詳しくは、P.28 「マットを挿入する」を参照してください。

お知らせ

- 使用できるマットの最大サイズについては、設定画面 5 ページ「マシンインフォメーション」の「最大スキャン範囲」を確認してください。

⑤ スタート/ストップボタンを押してスキャンを開始します。

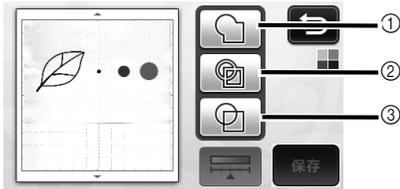
- ▶ スキャンが完了すると、画面にスキャン画像が表示されます。

■ カットデータを作る

カットデータ作成の手順は、画像の認識モードによって異なります。

□ グレースケール認識モード

- ① 画像編集画面で認識方法を選択します。
 イメージ形状が認識され、3種類の基準に従って
 カット線が作成されます。この例では、 を押
 して、面認識によるカット線を作成します。



- ① **アウトライン認識**
 イメージのアウトラインをカット線へ変換します。
 アプリケ用に描いた手描きイラストなどをデータ化
 して保存する場合に便利です。
- ② **面認識**
 イメージの中で色付けされている部分を面と認識し
 て、その周りをカット線に変換します。イメージの縁
 取り線や文字イラストなど、描いた線の太さを生かして
 切り抜くことができます。切り抜いた模様ばかりで
 なく、レースのように切り抜かれた素材自体も作品と
 して楽しむことができます。
- ③ **線認識 (グレースケール認識モードのみ)**
 線の中心を認識して、カット線へ変換します。複数の
 パーツから構成される模様を認識して、それぞれの
 パーツごとにカット線を作成したい場合などに便利
 です。

お知らせ

- 1.5 mm より太い線は、線として認識されませ
 せん。

認識方法によるカット線の違い

例 1

	① アウト ライン認識	② 面認識	③ 線認識
元イメージ			
カット線			
カット後の完成品			

例 2

	① アウト ライン認識	② 面認識	③ 線認識
元イメージ			
カット線			それぞれの色に 輪郭線が無いた め、適用されま せん。
カット後の完成品			

- ② タッチペンで をドラッグしてカット線をトリミングし、「保存」キーを押します。



-  を押すと、検出する最小の画像サイズと画像検出レベルを調整できます。詳しくは、P.72 「画像検出レベルを調整する」を参照してください。

□ カラー認識モード

- ① 画像トリミング画面で、タッチペンでをドラッグして、取り込みたい画像のサイズにトリミングします。



お知らせ

- 画像を必要なサイズにトリミングすることで、カットデータに変換するときにかかる時間を短縮できます。

- ② 「OK」キーを押して、トリミングした範囲を確定します。



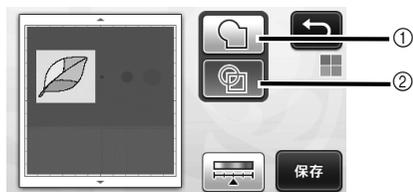
- ③ 画像編集画面で認識方法を選択します。

イメージ形状が認識され、2種類の基準に従って

カット線が作成されます。この例では、を押して、

面認識によるカット線を作成します。

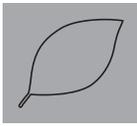
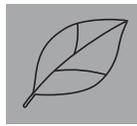
認識方法について、詳しくはP.68「グレースケール認識モード」の手順①を参照してください。



① アウトライン認識

② 面認識

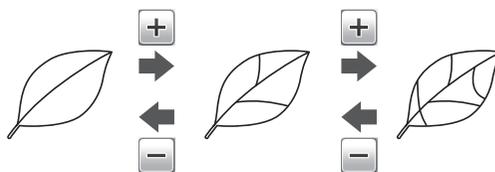
認識方法によるカット線の違い

	① アウトライン認識	② 面認識
元イメージ		
カット線		
カット後の完成品		

- を押すと、検出する色数と最小の画像サイズを調整できます。



- ① カット線が正しく検出されなかったときは、検出する色数を変更します。単一の色が異なる色として検出されたときは、色数を減らします。また、隣接している似た明度の色が単一の色として検出されたときは、色数を増やします。



- ② 不要な模様（点線など）は、カットデータから取り除くことができます。詳しくは、P.72「認識最小サイズ」を設定するを参照してください。
- ③ 「OK」キーを押すと、設定が確定します。色数を変更すると、「OK」キーが「プレビュー」キーに変わります。色数を変更した後、「プレビュー」キーを押して結果を確認してください。

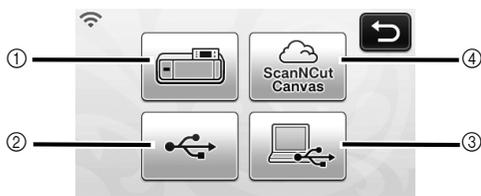
お知らせ

- スタンプを押したときなど、グラデーションが含まれていたり、塗りつぶしが完全でないエリアがある場合は、カットデータに変換できないことがあります。

■ データを保存する

① データの保存先を選択します。

この例では、本体の内蔵メモリーを選択します。



- ① 本体
 - ② USB メモリー
 - ③ パソコン
 - ④ ScanNCutCanvas (ScanNCutCanvas への接続が完了したときのみ使用できます。詳しくは、『無線 LAN 接続ガイド』を参照してください。)
- ▶ キーを押すと保存を開始します。保存が完了すると、以下のメッセージが表示されます。



② 「OK」キーを押して、データの保存を完了します。

③ 操作パネルの [] を押してマットを排出し、マットから素材をはがします。

■ カットデータを呼び出す

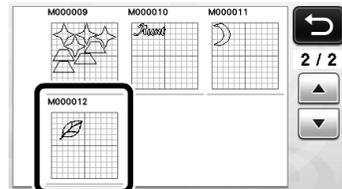
保存したカットデータを呼び出して、カットします。

① マットにカットする素材を貼りつけて、マットを本体に挿入します。

- 素材のマットへの貼りつけ方について詳しくは、P.16 「素材とマットの組み合わせ」を参照してください。
- マットの挿入について詳しくは、P.28 「マットを挿入する」を参照してください。

② 保存したカットデータを呼び出します。

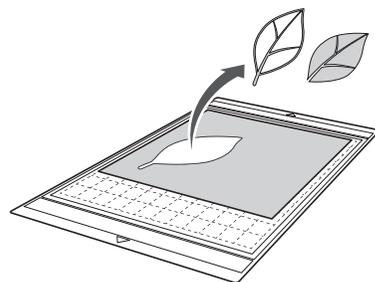
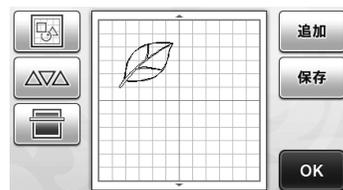
- データの呼び出し方について詳しくは、P.52 「データを呼び出す」を参照してください。



▶ 模様レイアウトのプレビューが表示されます。

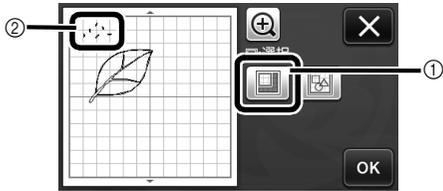
③ 必要に応じてカットデータを編集して、カットまたはドロウします。

カットの手順については、P.28 「マットを挿入する」と P.28 「カットする」を参照してください。

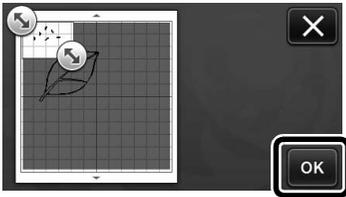


お知らせ

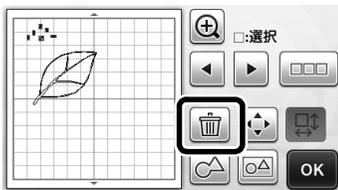
- スキャン時にできた小さな点や不要な線は、スキャン画像をカットデータに変換した後で削除できます。
- ▶ カットデータを模様レイアウト画面に呼び出した後、不要な点や線を選択して削除します。模様の選択について詳しくは、P.40「選択範囲内の模様を選択する」を参照してください。



- ① 複数の模様を選択できます。
 - ② 不要な点や線
- ▶ 不要な点の範囲を指定してから、「OK」キーを押します。



- ▶  を押して、選択したすべての点を削除します。



画像検出レベルを調整する

スキャンした画像データの出力レベルを調整することができます。

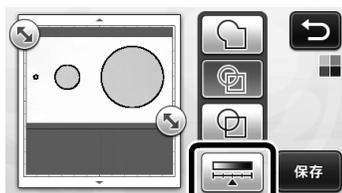
以下の画面を表示します

画像編集画面	→ チュートリアル 4 : P.68 「カットデータを作る」手順 ① または P.69 手順 ③
--------	--

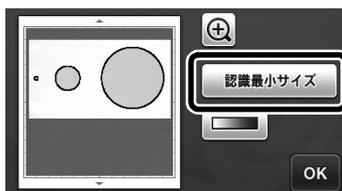
■「認識最小サイズ」を設定する

カットデータに変換する模様の大さを設定して、不要な小さな模様（点線など）をカットデータから取り除くことができます。この例では、3種類の異なるサイズ（4 mm、40 mm、100 mm）のイメージをスキャンします。この例では「カットデータ作成」モードの、グレースケール認識モードを使った手順を説明します。

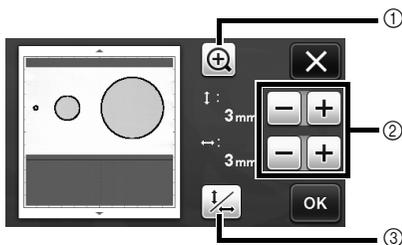
- ① 認識オプションから1つ選択し、 を押して機能選択画面を表示します。



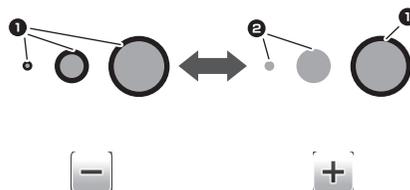
- ② 「認識最小サイズ」を押して設定画面を表示します。



- ③ カット線に変換される、最小の画像のサイズを設定します。設定したサイズより小さい画像は、カット線に変換されません。



- ① 拡大
- ② サイズ調整キー
- ③ 縦横比の固定/固定解除



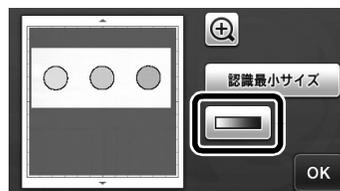
- ① カット線を作成する
- ② カット線を作成しない

▶ 「OK」キーを押して設定を適用します。 を押すと、設定を適用せずに元の画面に戻ります。

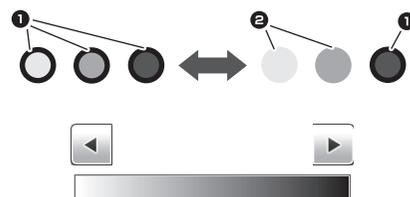
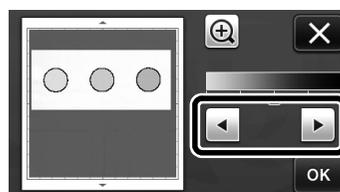
■ 画像検出レベルを設定する（グレースケール認識モードのみ）

画像を2階調（白黒）の画像に変換して、その画像をもとにカット線を作成します。このとき、画像検出レベル（濃度）を設定できます。この例では、3種類の異なる濃度（薄い、普通、濃い）の画像をスキャンします。

- ① 機能選択画面で を押して、画像検出レベルを設定する画面を表示します。



- ②  または  を押して、画像を2階調に変換するためのしきい値を設定します。



- ① カット線を作成する
- ② カット線を作成しない

▶ 「OK」キーを押して設定を適用します。

 を押すと、設定を適用せずに元の画面に戻ります。

画像をスキャンする (USB に保存)

紙や布にプリントされた模様、画像、型紙、手描きイラストなどをスキャンして、画像データとして USB メモリーへ保存することができます。カットする前のバックアップのために元イメージをデータ化して保存しておく場合などに便利です。

スキャンする際の注意

■ スキャン仕様

- スキャン形式：カラー
- 保存形式：jpg

■ スキャンできる素材

厚み	最大 1.5 mm
タイプ	紙／布
マット	素材に適したマット (→ P.16 参照)

📖 お知らせ

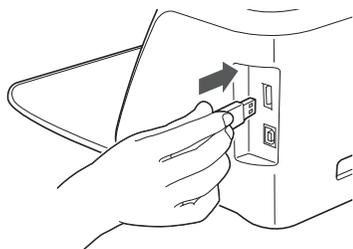
- 使用できるマットの最大サイズについては、設定画面 5 ページ「マシンインフォメーション」の「最大スキャン範囲」を確認してください。
- 別売のスキャン用マットを使用すると、透明シートとマットの間に素材を挟んで固定するため、素材にマットを粘着させずにスキャンすることができます。

チュートリアル 5 USB メモリーにスキャンデータを保存する

このチュートリアルでは、紙に描かれたイラストを JPEG データとして USB メモリーに保存します。

■ スキャン設定

- 1 USB メモリーを本体の USB ポート (USB メモリー用) に接続します。



- 2 ホーム画面で「スキャン」キーを押してスキャンモードを選択します。

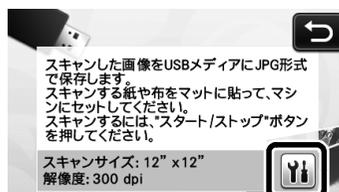


- 3 スキャンモード選択画面で「USB に保存」を選択します。



▶ メッセージが表示されます。

- 4  を押してスキャン設定画面を表示します。スキャンサイズと解像度を設定します。



- 5 「スキャンサイズ」の  を押して、スキャンサイズ設定画面を表示します。



6 スキャン範囲のサイズを選択します。

リストからスキャンする素材のサイズを押します。
この例では、A4 サイズを選択します。



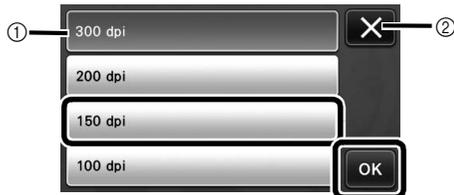
- ① サイズ選択キー
 - ② 設定を適用しないで元の画面に戻ります。
 - ③ リストがスクロールします。
 - ▶ 選択したキーがハイライト表示された後、「OK」キーを選択して設定を完了してください
- 「カスタム」を選択後「OK」キーを押すと、スキャン範囲を指定できます。詳しくは、P.75 「範囲を選択して保存する」を参照してください。

7 「解像度」の を押して、スキャン解像度設定画面を表示します。



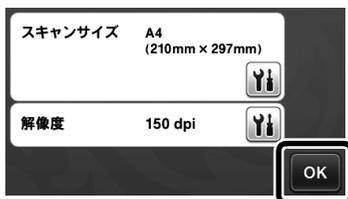
8 解像度を選択します。

リストから、スキャンする解像度のキーを押します。
この例では、150dpi を選択します。



- ① 解像度選択キー
- ② 設定を適用しないで元の画面に戻ります。
 - ▶ 選択したキーがハイライト表示された後、「OK」キーを選択して設定を完了してください。

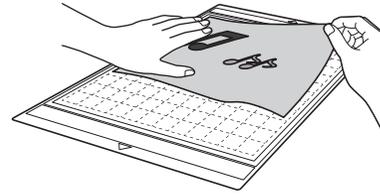
9 設定を確認して、「OK」キーを押します。



- ▶ メッセージが表示されます。

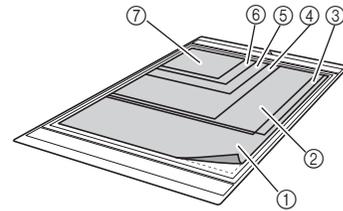
■ スキャンして保存する

1 スキャン素材をマットに貼ります。



🌟 お願い

- スキャン素材は、横方向においてください。



- ① 12" × 12" (305 mm × 305 mm)
- ② Letter (216 mm × 279 mm)
- ③ A4 (210 mm × 297 mm)
- ④ 8" × 8" (203 mm × 203 mm)
- ⑤ 5" × 7" (127 mm × 178 mm)
- ⑥ 4" × 6" (102 mm × 152 mm)
- ⑦ 3.5" × 5" (89 mm × 127 mm)

2 マットをマット送りに差し込みます。

マットの挿入について詳しくは、P.28 「マットを挿入する」を参照してください。

3 スタート/ストップボタンを押して、スキャンを開始します。

- ▶ スキャン素材がスキャンされると同時にデータが保存されます。
- ▶ スキャンと保存が完了すると、完了メッセージが表示されます。

4 「OK」キーを押して、「USB に保存」モードを終了します。



5 操作パネルの を押して、マットを排出します。

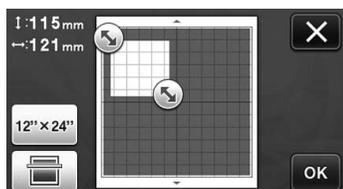
6 本体の USB ポートから、USB メモリーを取り外します。

7 パソコンで、保存データを確認します。

範囲を選択して保存する

スキャンした画像を USB メモリーに保存するとき、あらかじめスキャン範囲を指定できます。

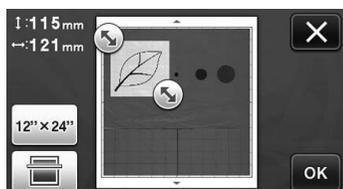
- ① P.73 「チュートリアル5 USB メモリーにスキャンデータを保存する」の「スキャン設定」の、手順①～⑤に従ってください。
- ② 「カスタム」を選択して、「OK」キーを押します。
- ③ タッチペンでをドラッグしてスキャン範囲を選択したあと、「OK」キーを押します。



- スキャン範囲（白い部分）は、ドラッグして移動させることができます。

お知らせ

- スキャンする素材を貼りつけたマットを挿入してからを押すと、画面内にマットが表示されます。画面に表示される画像を見ながら、スキャン範囲を選択できます。



- マットサイズキー（）を押すたびにマットサイズ設定が12"×12"（305 mm×305 mm）と12"×24"（305 mm×610 mm）で切り替わります。

- ④ 「チュートリアル5 USB メモリーにスキャンデータを保存する」の「スキャン設定」の、手順⑦から続けてください。

第5章 付録

消耗品

交換の目安

本製品を安全にご使用いただくため、以下の交換時期を目安にして、消耗品を新しいものに交換してください。ご購入は、お買い上げの販売店またはお客様相談室までお問い合わせください。別売品について詳しくは、P.91「別売品」を参照してください。

マット

- 粘着力が落ちたとき
- カット跡が多くなったとき

刃

- 切り口が粗くなり、作品の仕上がりの質が劣化したとき
- 切れ味が悪くなったとき
- 刃が欠けたとき（刃の出し量とカット圧力の目安より大きく設定しても切れない場合は、刃が欠けているおそれがあります。）

布用粘着サポートシート

- 粘着力が落ちたとき
- カット中に貼りつけた布がねじれるようになったとき

スキャン用マット

- マットやカバーシートが汚れて、スキャン画像の質が劣化したとき

チャコペン

- インクが乾き、布に印がつかないとき
- インクを使い切ったとき

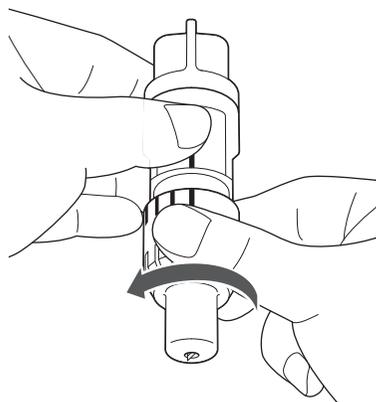
カラーペン

- インクが乾き、紙などの素材に描けないとき
- インクを使い切ったとき

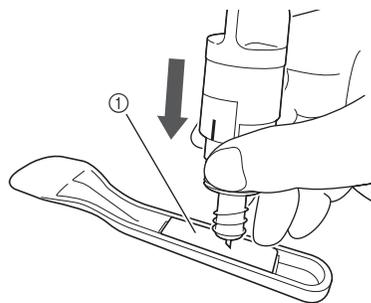
刃を交換する

■ 取り外す

- ① ホルダーのキャップを左に回して外します。

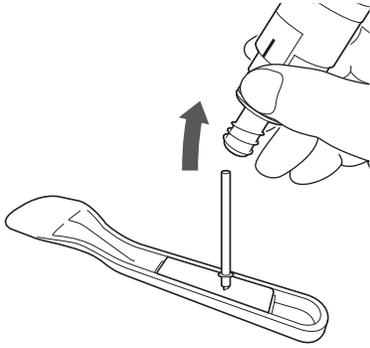


- ② 付属のスパチュラの裏面のゴム部分に、刃をまっすぐに差し込みます。



① ゴム部分

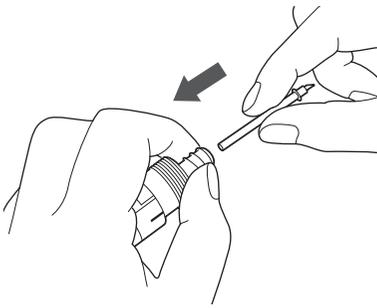
- ③ホルダーを引き上げて、刃をゴム部分に残します。



■ 取り付ける

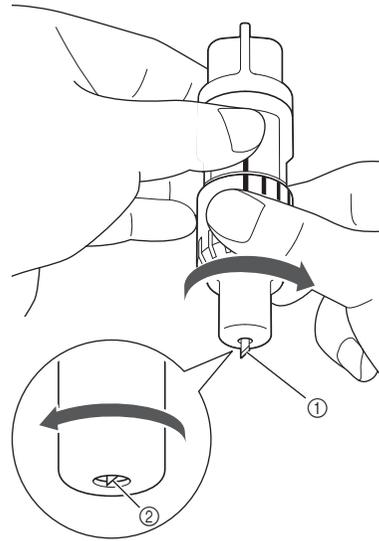
- ①新しい刃の軸の部分を持って、ホルダーの差込口へ差し込みます。

刃の軸はホルダーの中に磁石で固定されます。軸をゆっくりと差し込み、軸が磁石にカチッと収まったら、ゆっくりと手を放してください。



- ②ホルダーのキャップを右に回してしめます。

刃の出し量が最大になるまでキャップを完全にしめ込み、そのあと刃が見えなくなるまでキャップをゆるめます。



- ① キャップをしめて刃の出し量を最大にします。
② 刃が見えなくなるまでキャップをゆるめます。

☀️ お願い

- 刃の交換後は、試し切りをして刃の出し量を調整してください。詳細はP.27「試し切りをする」を参照してください。

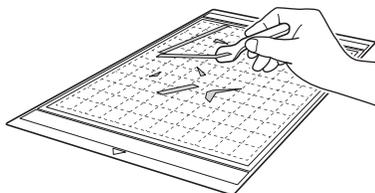
⚠️ 注意

- 本体から取り外したホルダーは、必ず刃をホルダーの中に収め、保護キャップを装着してください。
- 刃が出た状態でホルダーを放置しないでください、けがをするおそれがあります。
- 本体にホルダーを取り付ける前に、保護キャップを取り外してください。
- 保護キャップは幼児が飲み込まないように注意してください。

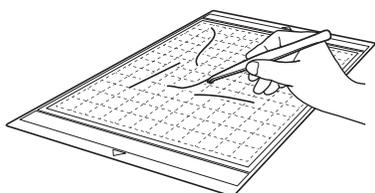
掃除する

■ マットの掃除

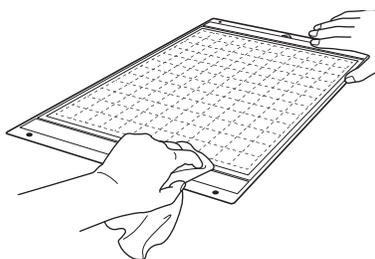
マットに付着した模様様の切れ端や切りくず、ホコリなどは、マットの粘着力低下や本製品の動作の妨げとなる場合があります。定期的にマットを掃除してください。付属のスパチュラを使用して、マットに付着した切れ端などを軽くこすり落としてください。



マットに付着した繊維クズは、市販のピンセットなどを使用して取り除いてください。



マットの表面やまわりの部分にあるマット読み取りマーク（点）が汚れている場合は、乾いた布でふき取ってください。



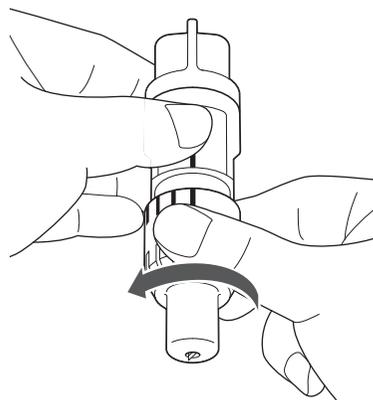
お願い

- マットの掃除の際、アルコールや水を使用しないでください。
- マットを使用しないときは、クリーニング後に保護シートを貼って保管してください。保護シートを貼らないと、マットの粘着力が落ちる場合があります。また、保管の際は湿ったマットに保護シートを貼らないでください。マットの粘着力が落ちる場合があります。
- 折り曲げないで保管してください。
- マットは、高温多湿や直射日光を避けて、室温で保管してください。
- マットの粘着力がなくなってきたら、新しいマットに交換してください。別売のマットについては P.91 「別売品」を参照してください。

■ ホルダーを掃除する

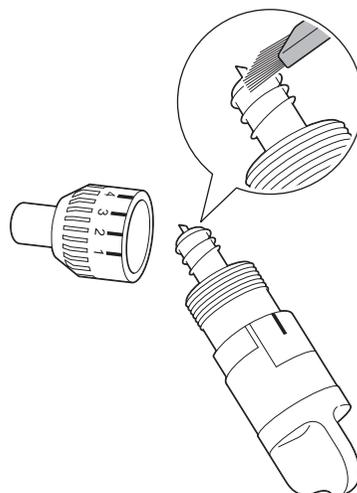
ホルダー内部に素材の切れ端や切りくずがたまると、正常に動作しなくなります。定期的にホルダーを掃除してください。

① ホルダーのキャップを左に回して外します。



② 市販のブラシを使って、切れ端や切りくずを掃除します。

特に、刃のまわりの切れ端や切りくずをよく掃除してください。刃とホルダーの間にゴミがたまると、刃が動かなくなったり、カットの仕上がりが悪くなる場合があります。



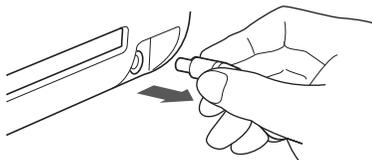
③ ホルダーのキャップを右に回してしめます。

ホルダーのキャップの取り付け方について詳しくは、P.77 「取り付ける」を参照してください。

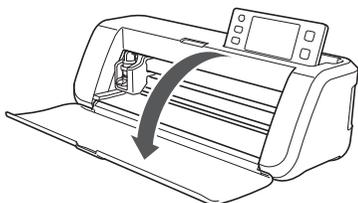
■ 本体内部を掃除する

スキャンした画像に縦線が入ったり空白領域ができる場合は、本体内部にクズやホコリがたまっていることがあります。また、ホコリがローラーに巻き込まれると、マットの挿入や排出が正しく動作しなくなります。やわらかいブラシなどを使用して掃除してください。

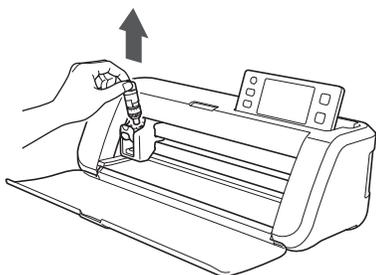
- 1 本体の電源を切り、コンセントを抜き、背面の電源ジャックから AC アダプターのプラグを抜きます。



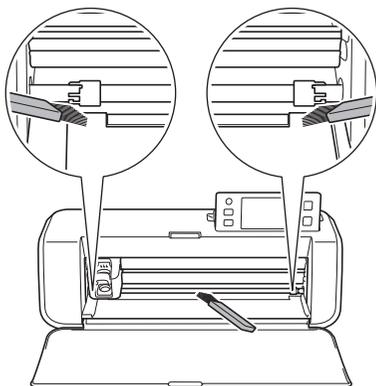
- 2 フロントトレイカバーを開けます。



- 3 キャリッジからホルダーを取り外します。



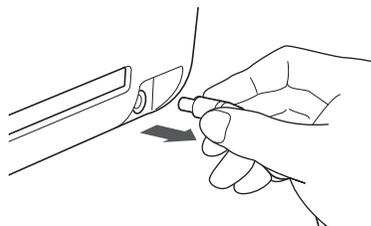
- 4 市販のブラシを使用して、マット送りとキャリッジの周囲を掃除します。



スキャナーガラスを掃除する

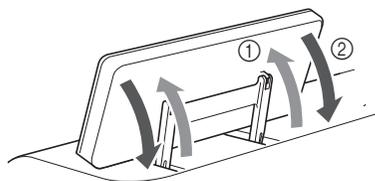
スキャンした画像に縦線が入ったり、空白領域ができる場合やスキャンがきれいにできない場合は、スキャナー部分のスキャン装置が汚れている場合があります。本体の底面にあるスキャナーガラスを掃除してください。

- 1 本体の電源を切り、コンセントを抜き、背面の電源ジャックから AC アダプターのプラグを抜きます。

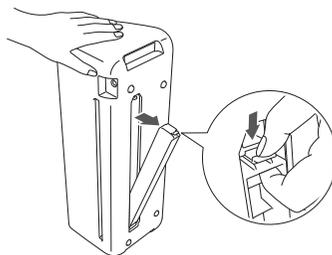


- 2 操作パネルを収納します。

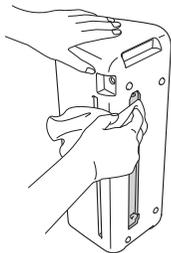
パネルがまっすぐになるまで起こしてから、後ろに倒して収納します。



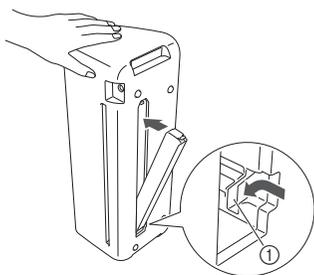
- 3 本体の底部にあるつまみを押しながら、カバーを引き上げます。



- ④ やわらかく繊維がでない布を水で濡らして固く絞り、底面の内部奥にあるスキャナーガラスを拭きます。



- ⑤ 取り付け口のミゾにカバーの突起部分をはめ込んだあと、カバーを本体へ取り付けます。



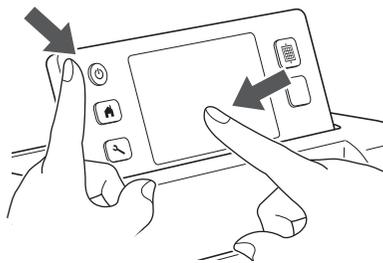
① ミゾ

- ⑥ 掃除の後は、テストスキャンをしてください。

画面を調整する

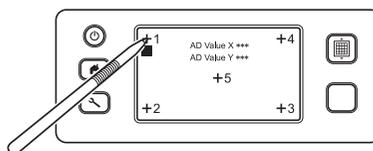
画面上のキーを押しても正しく反応しない（操作に反応しない、あるいは操作と異なる反応をする）ときは、以下の手順に従って画面を調整してください。

- ① 指を液晶画面上に置いた状態で、本体の電源を切り、再度電源を入れます。



▶ タッチパネル調整画面が表示されます。

- ② 付属のタッチペンを使用して、画面に表示された「+」印の中央を1から5の順番に押します。



▶ タッチパネルの調整が終わると、「SUCCESS」のメッセージが表示されます。

- ③ 電源を切り、再度電源を入れます。

 **お願い**

- 画面を調整しても正しく反応しない場合や、画面を調整できない場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室にご相談ください。

スキャンとカットの位置を調整する

「ダイレクトカット」を選択したときにカット位置がずれている場合、手動で調整できます。「ダイレクトカット」について詳しくは、P.61 「スキャンした素材をカットする（ダイレクトカット）」を参照してください。

■ 材料

紙	厚紙 色：白 サイズ：A4 (210mm × 297mm) またはレターサイズ (216mm × 279mm) 厚み：0.1 ~ 0.3mm (推奨)
マット	素材に適したマット (→ P.16 参照)
刃	ホルダー (青緑色)

お知らせ

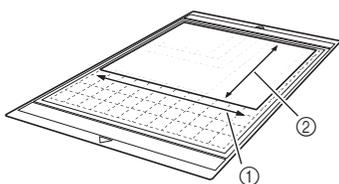
- 上記の紙が無い場合は、コピー用紙でも代用できます。必ず、素材に適したマットで、試し貼りをしてください。

① 刃の出し量を調整し、ホルダーをキャリッジに差し込みます。

- 詳しくは、P.24 「刃の出し量を調整する」と P.26 「ホルダーの取り付け/取り外し」の手順を参照してください。

② 紙をマットに貼ります。

- 紙の左上の角をマットの枠の左上の角に合わせてください。
- 紙の貼り方については、P.18 「素材をマットに貼る（紙の場合）」の手順を参照してください。



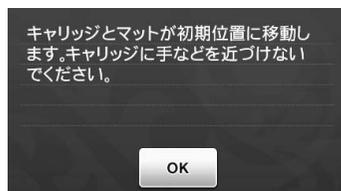
- ① 長辺
- ② 短辺

③ 設定画面で「スキャンとカット位置調整」の横の を押します。

- スキャン中は、この機能は使用できません。一度、スキャン機能を終了してください。



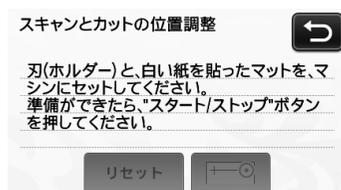
- 以下のメッセージが表示されます



- 「OK」を押します。

④ を押して、マットを挿入します。

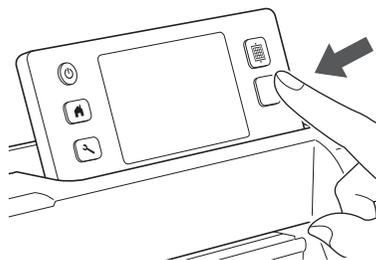
- 詳しくは、P.28 「マットを挿入する」を参照してください。



⑤ スタート/ストップボタンを押して、カットを開始します。

P.28 「カットする」を参照してください。

-  を押すと、設定画面に戻ります。

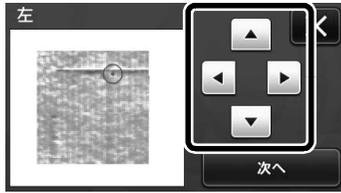


- 位置調整用の切れ込みをカットした後、カット結果がスキャンされます。

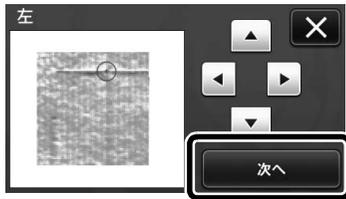


- 左右の切れ込みの交わり部分を使って、スキャン位置を調整します。

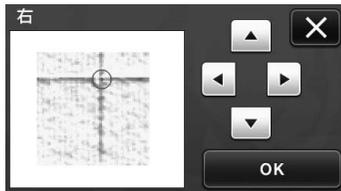
- ⑥ 切れ込み（左）のスキャン画像が表示されたら、切れ込みの中心と赤い丸の中心点を矢印キーで合わせます。



- ⑦ 「次へ」キーを押します。



- ⑧ 同様に右の切れ込みも調整し、「OK」キーを押します。



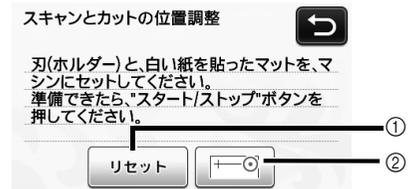
- ⑨ 以下のメッセージが表示されたら、「OK」キーを押します。



▶ 調整が完了しました。

🔦 お願い

- 再調整したいとき、または工場出荷時の設定に戻りたいときは、以下のいずれかのキーを押してください。



- リセット
工場出荷時の設定に戻します。
- 手動調整表示
手動調整が有効です。電源を入れてから一度もスキャンしていない場合は、キーがグレーに表示されます。
このキーが有効なときは、スキャンした画像を記憶しているため、キーを押すと調整ができます。本体の電源を切ると、スキャンした画像は消去されます。

- ⑩ 「ダイレクトカット」をして、調整結果を確認します。

- 「ダイレクトカット」モードの詳細については、P.61 「スキャンした素材をカットする (ダイレクトカット)」を参照してください。

困ったとき

本製品が思いどおりに動かないときは、修理を依頼する前に次の項目およびブラザーソリューションセンター（<http://support.brother.co.jp/>）のQ&Aを確認してください。それでも改善されない場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室にご相談ください。無線LANに関するトラブルについては『無線LAN接続ガイド』を参照してください。

電源

症状	原因（結果）	対処	参照ページ
本製品の電源が入らない。	電源プラグが正しく本体に接続されていない。	電源プラグが本体に接続されていること、および電源コードがACアダプターとコンセントに接続されていることを確認します。	→ P.15

マット

症状	原因（結果）	対処	参照ページ
マットを挿入できない。	マットをセットしたとき、送りローラーの下にマットが当たっていない。	マットが左右の送りローラーの下に当たるようにセットします。	→ P.28
	マットを挿入するとき、送りボタンを使用していない。	マットをマット送りに軽く当てて、送りボタンを押します。	→ P.28
マットが認識されない。	マット挿入部にある、マット読み取りマーク（点）が汚れている。	マット読み取りマーク（点）および、そのまわりを掃除します。	→ P.78
	マット挿入部にある、マット読み取りマーク（点）が、マットに貼りつけた素材で隠れている。	素材がマットの粘着面に収まるように貼り付けます。	→ P.18
	素材を貼った面を下に向けてマットを差し込んでいます。	素材を貼った面を上に向けてマットを差し込みます。	→ P.28
マットがまっすぐに送られない。	マット送りに対して、マットを斜めに差し込んでいる。	送りボタンを押して、マットを取り出したあと、まっすぐ差し込みなおします。	→ P.28 → P.29
	マットの端が変形して（曲がって）いる。	新しいマットに交換します。	→ P.76
カット/スキャン素材がマットに貼りつかない。	素材がマットの粘着面からはみ出している。	素材がマットの粘着面に収まるように貼り付けます。	→ P.18
	マットの粘着力が弱くなっている。	新しいマットに交換します。	→ P.76
マットを排出できない。	本体の送り機構にカット/ドロー/スキャン素材が詰まっている。	マット挿入中、送りボタンを押して、マットを取り出します。マットを取り出せない場合は、電源を切り、ゆっくりとマットを引き抜きます。	→ P.29
マットを挿入するとき、貼りつけた素材がはがれる。	素材の重みでマットが水平になっていない。	手でマットを水平に保ちながら差し込みます。	→ P.28
	マットの粘着力が弱くなっている。	新しいマットに交換します。	→ P.78

紙/布詰まり

症状	原因（結果）	対処	参照ページ
マットを送ることができない。	本体のスロット周辺に障害物がある。	本体のスロット周辺にマットを排出できるスペースを確保します。	→ P.12
	本体を置いている場所が水平でない。	本体を水平で段差のない場所に置きます。	—
マット挿入中に、マットあるいは素材が送りローラーに引っかかった。	マットの粘着力が弱くなって、素材が固定されない。	送りボタンを押してマットを取り出したあと、新しいマットに交換します。	→ P.29 → P.76
	素材がマットの粘着面からはみ出している。	送りボタンを押してマットを取り出したあと、素材をマットの粘着面に収まるように貼ります。	→ P.18 → P.29

症状	原因 (結果)	対処	参照ページ
カット/ドロウ中に、マットあるいは素材が送りローラーに引っかかった。	<ul style="list-style-type: none"> - マットの粘着力が弱くなって、素材が固定されない。 - 素材がマットの粘着面からはみ出している。 	スタート/ストップボタンを押して、操作をストップします。画面の表示にしたがって、送りボタンを押してマットを排出します。マットが排出されない場合は、本体の電源を切り、ホルダーを取り外してから、マットを手で取り出します。マットを排出したあと、新しいマットに交換するか、素材をマットの粘着面に収まるように貼り直します。	→ P.18 → P.29 → P.76
カット/ドロウ中に、マットが斜めに送られて、そのまま送られなくなった。			
カット/ドロウ/スキャン中に、素材がマットからはがれた。			

カット

症状	原因 (結果)	対処	参照ページ
刃の先にカット素材がひっかかる。	ホルダーにクズやほこりがたまっている。	ホルダーを掃除します。	→ P.78
	刃が消耗している。	新しい刃に交換します。	→ P.76
	本製品に対応していないカット素材を使用している。	本製品に対応しているカット素材に交換します。	→ P.16
操作の途中で本体が停止した。	安全のため、カット/ドロウ中にパネルを押すと本製品は動作を停止します。	画面に表示されるメッセージに従って操作します。「OK」キーを押してキャリッジを元の位置に戻します。マットを差し込んで、操作をやり直します。	—
カット素材がすべて切り取られておらず、切り残しがある。	素材に適している刃を使用していない。	素材に適した刃に交換します。	→ P.24
	ホルダーの刃の出し量が少なすぎる。	ホルダーをキャリッジから取り外して、刃の出し量を調整します。	→ P.24
	刃の出し量とカット圧力を目安より大きく設定しても切れない場合は、刃が欠けているおそれがあります。	新しい刃に交換します。	→ P.76
	マットの粘着力が弱くなって、素材が固定されていない。	新しいマットに交換します。	→ P.76
	刃が消耗している。	新しい刃に交換します。	→ P.76
	本製品に対応していない素材を使用している。	本製品に対応しているカット素材に交換します。	→ P.16
	「カット圧力」が適当でない。	設定画面で「カット圧力」を調節します。	→ P.24 → P.30
	ホルダーにクズやほこりがたまっている。	ホルダーを掃除します。	→ P.78
	レイアウトした模様の間隔が狭すぎる。	模様を少し離してレイアウトし直します。「模様間隔」を「3」以上に設定して、模様をレイアウトし直すか、自動レイアウトを行います。	→ P.31 → P.46
	布をカットするときに、布用粘着サポートシートもアイロン接着シートも使用していない。	カットの前に、布用粘着サポートシートをマットに貼るか、アイロン接着シートを布に貼ります。	→ P.19 → P.21
マットに貼った布用粘着サポートシートに、布がしっかりと貼りつけられていない。	付属のスパチュラの持ち手で布を押しつけて、布をマットにしっかりと固定します。	→ P.22	
アイロン接着シートがしっかりと布に貼りつけられていない。	布の裏側からアイロン接着シートにアイロンをかけてしっかりと布に貼りつけます。	→ P.20	
マットの裏面まで切りキズがついている。	刃の出し量が多すぎる。	ホルダーをキャリッジから取り外して、刃の出し量を調整します。	→ P.24
	「カット圧力」が適当でない。	設定画面で「カット圧力」を調節します。	→ P.24 → P.30

ドロー

症状	原因 (結果)	対処	参照ページ
ドロー線が思ったよりも太かった (細かった)。	「ドロー速さ」あるいは「ドロー圧力」が適当でない。	設定画面で「ドロー速さ」と「ドロー圧力」を調節します。太い線をドローするときは、ドロー圧力を強くします。細い線をドローするときは、ドロー圧力を弱くします。太い線をドローするときは、ドロー速度を遅くします。細い線をドローするときは、ドロー速度を早くします。設定を調節した後は、試し描きをしてください。	→ P.30

スキャン

症状	原因 (結果)	対処	参照ページ
意図しない画像がスキャンされた。	スキャン範囲が誤って設定されている。	「USB に保存」モードでは、紙のサイズを「スキャンサイズ」で設定します。	→ P.73
		「ダイレクトカット」モード、または「カットデータ作成」モードでは、スキャンの後に画像を編集画面でトリミングします。	→ P.63 → P.68
きれいにスキャンできない (スキャン画像に線が入っている)。	スキャナーガラスが汚れている。	本体の底面にあるスキャナーガラスを掃除します。	→ P.79
	スキャン素材が汚れているか、キズがついている。	「ダイレクトカット」または「カットデータ作成」モードでは、画像編集画面で細い線やゴミを消去します。	→ P.72
マットに印字されている線がスキャンされた。	スキャン素材がすけて、マットに印字された線がスキャンされた。	「ダイレクトカット」または「カットデータ作成」モードでは、画像編集画面で線を消去します。	→ P.72
スキャン画像が赤い。	別売のスキャン用マットを使用するとき、青い固定テープをはがさずにスキャンした。	スキャンの前に、別売のスキャン用マットの青い固定テープをはがします。	—

エラーメッセージ

操作中表示されるエラーメッセージの一部と、対処方法の一覧です。
メッセージの指示に従うか、この表に記載される対処方法を確認して、必要な操作を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室にご相談ください。

エラーメッセージ	原因/対処
不具合が生じました。電源をいったん OFF してから再度 ON してください。	本体の電源をいったん切ってから、再度電源を入れてください。
内蔵メモリーが壊れています。 メモリーを初期化します。	内蔵メモリーのデータが壊れています。本製品の電源を切って、再起動してください。
模様数が多すぎるため、この操作はできません。	このメッセージが表示される場合は、以下のいずれかが原因です。 <ul style="list-style-type: none"> - 「ダイレクトカット」モードで、601 模様以上の模様がカット模様として認識された。 - 「カットデータ作成」モードで、601 模様以上の模様をカット模様として保存しようとした。 使用する模様の数を減らしてください。 * 最大模様数は、設定画面 5 ページ「マシンインフォメーション」の「最大模様数」を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> - 小さな模様をたくさんスキャンした後、大量のカット線を作成しようとしている。 - 画像検出レベルを薄い色を検出する設定にして、大量の薄い色の模様からカット線を作成しようとしている。 (→ P.72) スキャン素材の模様の数を減らしてから、もう一度スキャンしてください。
模様が存在しないため、この操作はできません。	スキャンングによって、読み取られたイメージまたは線がありません。 スキャンしようとするイメージを再確認して、スキャン範囲や画像検出レベル、認識最小サイズを調整してください。またはスキャン素材に描かれたイメージを読み取りやすいものに変更してください。
データを読み込めませんでした。 PIN コードを再取得し、本体に登録して下さい。	<ul style="list-style-type: none"> - ScanNCutCanvas に登録していないカuttingマシンから転送しようとしているとき、このメッセージが表示されます。 - お使いのマシンの登録が ScanNCutCanvas からキャンセルされました。マシンを再登録してください。
データを保存できませんでした。 PIN コードを再取得し、本体に登録して下さい。	
文字列が長すぎて、マットに配置できません。	入力文字の長さが 12 インチマットの幅 (最大有効幅 297 mm) に収まるまで、文字数を少なくしてください。
特別な模様が含まれているため、外部メモリーには保存できません。 本体メモリーに保存してください。	模様によっては外部メモリー (USB メモリー、パソコンまたは ScanNCutCanvas) に保存できない場合があります。
刃の位置の初期化に失敗しました。 電源を OFF してください。	本体の電源をいったん切ってから、再度電源を入れてください。
ヘッドの初期化に失敗しました。 電源を OFF してください。	
これ以上模様を組み合わせることができません。	601 模様以上の模様は組み合わせられません。模様の数を減らしてください。 * 最大模様数は、設定画面 5 ページ「マシンインフォメーション」の「最大模様数」を確認してください。
有効範囲内に模様がありません。	カット/ドロー範囲内にカットまたはドローする模様がありません。 範囲外の模様をカットまたはドローする場合は、「カット範囲」の設定値を大きくするか、「カット範囲」の設定範囲の中に模様を移動させてください (P.30)。
容量不足のため、データを保存できません。	本体内蔵メモリーか、USB メモリー内のデータを消去してください。

エラーメッセージ	原因/対処
<p>マットに余白がありません。 模様の大きさ、マットの余白、または設定画面のカット範囲、模様間隔を確認してください。</p>	<p>模様を配置するために次のいずれかを行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 模様レイアウト画面上にすでに配置してある模様を消す。 - 配置した模様のサイズを小さくする。 - 「カット範囲」の設定値を大きくする (P.30)。 - 「模様間隔」設定で模様レイアウトの間隔設定を狭くする。
<p>マットに余白がありません。 最大個数：10 (例。模様のサイズにより異なります)</p>	<p>模様が多いため配置できません。表示された個数まで模様の数を減らしてください。</p>
<p>レジューム記憶を呼び出しますが、よろしいですか？</p>	<p>直前の操作で使用していたデータを引き続き使用したい場合は、「OK」キーを押してください (P.32)。</p>
<p>模様を1つに統合できませんでした。 組み合わせが無効です。</p>	<p>模様を統合中に表示されるメッセージです。 ぬいしろが付加された模様と、ぬいしろが付加されていない模様を統合しようとしています。ぬいしろの付加された模様のみ、またはぬいしろが付加されていない模様のみを選択して操作してください。</p>
<p>模様を結合できませんでした。 許可されていない模様が含まれているか、または重なりがありません。</p>	<p>模様を結合するときに表示されるメッセージです。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 模様が重なっていません。選択した模様が重なるように配置を変更してください。作品によっては、模様を一体化させて編集する方法も有効です。 - ぬいしろのある模様が選択されています。ぬいしろ設定を解除してから、結合してください。 - 閉じていない線が含まれていると、模様は結合できません。模様を一体化させたい場合は、統合機能(グループ化)を使用してください。
<p>本体のぬいしろ幅設定が大きいため、呼び出すデータの模様どうしが重なる可能性があります。</p>	<p>模様を設定されたぬいしろ幅が、前回操作時より大きくなった場合、隣接する模様の端が重なる場合があります。ぬいしろ幅の設定値を調整してください。または模様の配置間隔を広げてください。</p>
<p>12 × 24 インチマットに交換してください。</p>	<p>12" × 12" (305 mm × 305 mm) のマットに収まらない模様を作成し、12" × 12" マットを挿入しています。12" × 24" (305 mm × 610 mm) のマットを挿入してください。</p>
<p>読み取りエラーが発生しました。 電源をOFFしてください。</p>	<p>本体の電源をいったん切ってから、再度電源を入れ、操作をやり直してください。</p>
<p>データがマットより大きいので縮小してインポートされました。</p>	<p>SVG ファイルをインポートしたときに、インポートした模様がマットより大きい場合は、マットの大きさに収まるように縮小されます。必要に応じて、SVG ファイルを作成したソフトで、マットの大きさに収まるように、模様を修正してください。</p>
<p>一部の図形を変換できませんでした。</p>	<p>インポートされた SVG データは、画像やテキストなどの変換できないデータを含んでいます。他のすべてのデータは、カットラインデータとして読み取りました。</p>
<p>データを削除できませんでした。</p>	<p>本製品で使用できない USB メモリーを使用している可能性があります。USB メモリーを取り外して、再度操作しても</p>
<p>データを読み込めませんでした。</p>	<p>メッセージが表示される場合は、USB メモリーを交換してください。本製品に対応している USB メモリーについては、</p>
<p>データを保存できませんでした。</p>	<p>ブラザーソリューションセンター (http://support.brother.co.jp/) で確認してください。</p>
<p>データを読み込めませんでした。 模様数が多すぎます。</p>	<p>SVG ファイルが 601 以上の模様を含んでいるときに表示されます。SVG ファイルを作成したソフトで模様の数を減らしてください。 * 最大模様数は、設定画面 5 ページ「マシンインフォメーション」の「最大模様数」を確認してください。</p>
<p>データが複雑なため、読み込めませんでした。</p>	<p>複雑な模様を含む SVG ファイルはインポートできません。SVG ファイルを作成したソフトで模様をシンプルな形に変更してください。</p>

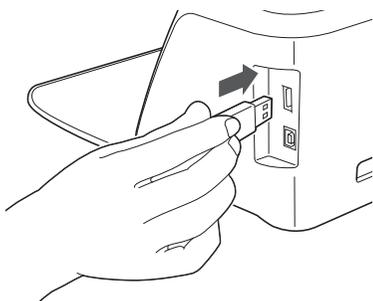
エラーメッセージ	原因/対処
<p>マットのマークが識別できません。 マットを排出します。</p>	<p>認識できないマットが挿入されています。本製品専用のマットを使用していない場合は、専用のマットを使用してください。</p> <p>マットの端にあるマット読み取りマーク（点）およびその周りを掃除してください。それでも認識されない場合は、新しいマットに交換してください。</p> <p>スキャナーガラスが汚れていて、マークを正しく識別できていない可能性があります。 本体の底面にあるスキャナーガラスを掃除してください。</p>
<p>認識できる模様が存在しませんでした。</p>	<p>インポートされた SVG データは、画像やテキストなどの変換できないデータを含んでいます。</p>
<p>ぬいしろをつけられない模様が含まれています。</p>	<p>ぬいしろ設定は複雑な形状の模様には使用できません。シンプルな形の模様を選択してください。 ぬいしろ幅を 2 mm 以上にすると、ぬいしろを付加できることがあります。</p>
<p>アウトラインに幅をつけてカットできない模様が含まれています。</p>	<p>アウトラインに幅をつける設定は、複雑な形状の模様には使用できません。シンプルな形の模様を選択してください。</p>
<p>有効範囲内に収まっていない模様があります。 その模様はカットやドローができませんが、続行しますか？</p>	<p>模様がカット/ドロー範囲の外にあります。 カット/ドロー範囲外の模様をカットまたはドローしない場合は、そのまま続けてください。 範囲外の模様をカットまたはドローする場合は、「カット範囲」の設定値を大きくするか、「カット範囲」の設定範囲の中に模様を移動させてください (P.30)。</p>
<p>データが複雑なため、変換できませんでした。</p>	<p>模様を統合するとき、または結合するとき： レイアウトした模様数を減らすか、模様をシンプルな形に変更してください。</p>
<p>このマットは使用できません。</p>	<p>操作中の機能に使用できないマットです。マットを交換してください。(例：カットしようとしたときにスキャン用マットが挿入されている。)</p>

ソフトウェアのアップデートについて

USB メモリーまたは USB ケーブルを使って本製品のソフトウェアをアップデートすることができます。アップデート情報については、ブラザーソリューションセンター（<http://support.brother.co.jp/>）を参照してください。アップグレードファイルが掲載されている場合は、ファイルをダウンロードして、以下の手順で本製品をアップデートしてください。

USB メモリーを使用してアップデートする

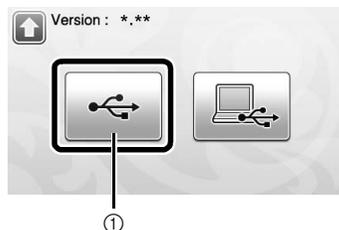
- ① 操作パネルの  を押しなが、 を押して本体の電源を入れます。
- ② アップグレードファイルを保存した USB メモリーを本体の USB ポートに差し込みます。
USB メモリーには、アップグレードファイル以外のデータを入れないでください。本製品が誤動作を起こし、停止するおそれがあります。



お願い

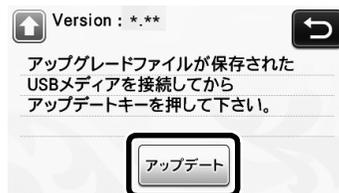
- 本製品は USB ハブに対応していません。USB ポートには USB メモリーを直接差し込んでください。

- ③  を押します。



- ① USB メモリーを使ってアップデートする

- ④ 「アップデート」キーを押してアップデートを開始します。



- ▶ アップデートが完了すると、終了メッセージが表示されます。

- ⑤ USBメモリーをUSBポートから取り外します。
- ⑥ 本体の電源をいったん切ってから、再度電源を入れます。

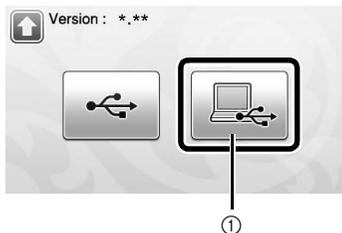
パソコンを使用してアップデートする

接続できるパソコンの種類と OS については、P.51 「本製品に接続可能なパソコン」を参照してください。

- ① 操作パネルの  を押しなが、 を押して本体の電源を入れます。

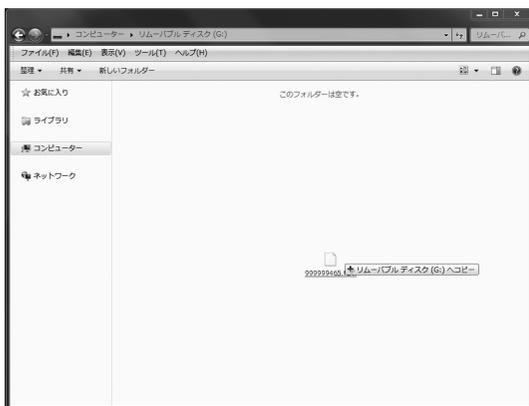
▶ 次の画面が表示されます。

- ②  を押します。

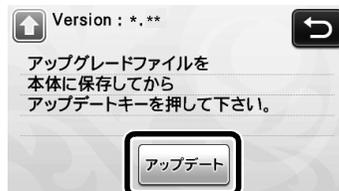


① パソコンを使ってアップデートする

- ③ 本製品とパソコンの USB ポートコネクタに USB ケーブルを差し込みます。
 - ▶ パソコンで、「コンピューター (マイコンピューター)」を開いて、「リムーバブルディスク」を選択します。
- ④ アップグレードファイルを「リムーバブルディスク」にコピーします。



- ⑤ 「アップデート」キーを押してアップデートを開始します。

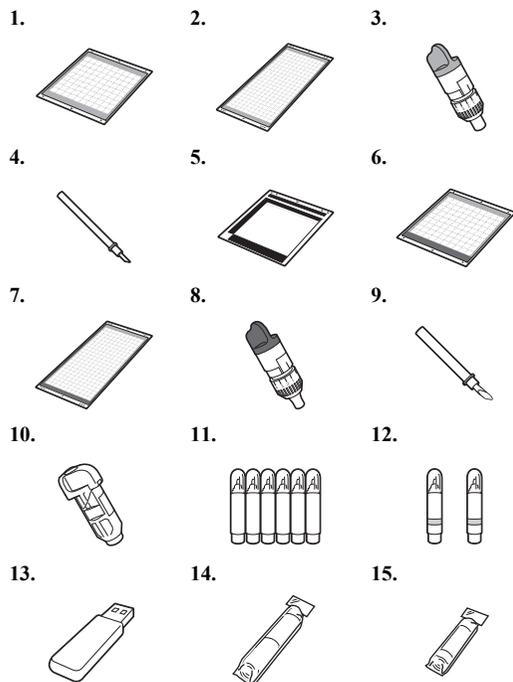


▶ アップデートが完了すると、終了メッセージが表示されます。

- ⑥ USB ケーブルを取り外して本体の電源をいったん切ってから、再度電源を入れます。

別売品

別売品として、以下のアクセサリを用意しています。



No.	名称	モデル名
1	弱粘着カッティングマット 12" × 12" (305 mm × 305 mm)	CAMATLOW12
2	弱粘着ロングカッティングマット 12" × 24" (305 mm × 610 mm)	CAMATLOW24
3	替え刃ホルダー (青緑色) (刃は含まれません)	CAHLP1
4	替え刃	CABLDP1
5	スキャン用マット 12" × 12" (305 mm × 305 mm)	CAMATS12
6	強粘着カッティングマット 12" × 12" (305 mm × 305 mm)	CAMATSTD12
7	強粘着ロングカッティングマット 12" × 24" (305 mm × 610 mm)	CAMATSTD24
8	厚物用替え刃ホルダー (紫色) (刃は含まれません)	CAHLF1
9	厚物用替え刃	CABLDF1
10	ペンホルダー	CAPENHL1
11	カラーペンセット	CAPEN1
12	チャコペンセット	CAPEN2
13	カッティング模様 USB メモリー	*
14	アイロン接着シート (白色剥離紙)	CASTBL1
15	布用粘着サポートシート	CASTBL2

* 詳しくは、お買い上げの販売店またはお客様相談室にお問い合わせください。

仕様表

項目	仕様
本体寸法	幅 497mm × 奥行き 185mm × 高さ 168mm
製品質量	3.9 kg
電源	AC100V 50/60Hz (AC アダプター)
最大消費電力	30W (カット時)

S		ソフトウェアアップデート	89
ScanNCutCanvas	11, 50, 52	た	
U		ダイレクトカット (スキャン機能)	
USB に保存 (スキャン機能)	73	カラー認識モード	62
USB ポート	12, 50, 89	グレースケール認識モード	62
あ		試し切り	27
アイロン接着シート	17, 19	単位	30
アウトライン距離	64	て	
アウトライン/枠 (ダイレクトカット)	65	電源入/切	15
い		電源ジャック	12, 79
位置調整 (スキャン/カット)	81	電源ボタン	13, 15, 33
え		データ呼び出し	52
エラーメッセージ	86	と	
お		統合 (模様編集)	44
お手入れ	78	ドロー圧力	30, 57
オートシャットダウン	30, 32	ドロー機能	56
オープニング画面	15, 31	ドロー速さ	30, 57
か		ドロー/カット選択画面	35
各部の名称とはたらき	12	ぬ	
画像トリミング画面	63, 64, 69	ぬいしろ幅	31, 42, 57
画像編集	72	布用粘着サポートシート	17, 21
画像編集画面	64, 68, 69, 72	は	
カット	33	刃	24
カット圧力	24, 30, 35	背景画像スキャン	47
カットデータ作成 (スキャン機能)	66	背景濃淡	30
カラー認識モード	67	刃の交換	76
グレースケール認識モード	66	刃の出し量	24, 29
カット速さ	30, 35	刃 (厚物用)	24
カット範囲	30, 43	ひ	
カット (多色模様)	35	標準メモリ設定	24
カット (ぬいしろ幅)	57	ふ	
画面調整	80	複数選択 (模様編集)	39
き		ブザー音	30
キャリッジ	12, 26	へ	
け		別売品	91
結合 (模様編集)	45	編集 (模様)	41
言語	30	編集 (レイアウトした模様)	43
こ		ほ	
交換の目安	76	保存 (カットデータ作成 (スキャン機能))	70
困ったとき	83	保存 (スキャン画像)	73
し		保存 (レイアウトしたデータ)	50
使用素材の条件 (スキャン)	61, 73	ホルダー固定レバー	12, 26
す		ホルダーの取り付け	26
「スキャン」モード	10, 61	ホーム画面	15, 33
スロット	12, 28	ま	
せ		マット挿入	28
設定画面	30	マット排出	29
そ		マット (強粘着カッティングマット)	17
操作パネル	13, 14	マット (弱粘着カッティングマット)	17
素材とマットの組み合わせ	16	む	
		無線 LAN	11, 31, 50, 52

も

文字入力機能	48
模様カテゴリ選択画面	33
模様間隔	31
模様サイズ画面	36
模様サブカテゴリ選択画面	36
模様選択画面	33, 36
模様パーツ編集画面	37, 42
模様パーツリスト画面	36
模様編集画面	33, 41
「模様」モード	10
模様レイアウト画面	34, 43

アフターサービス

修理を依頼するときや部品を購入するときは、お買い上げの販売店、または「お客様相談室」にお問い合わせください。

■ 保証書について

- ご購入の際、保証書にお買い上げ日、販売店名などが記入してあるかご確認の上、販売店で受け取ってください。保証書の内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 当社は本製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低5年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理については、お買い上げの販売店、または下記の「お客様相談室」にご相談ください。

■ お客様相談室 0570-088-310

本製品の使い方やアフターサービスについてご不明の場合は
お買い上げの販売店または「お客様相談室」までお問い合わせください。

〒467-8577 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1

お客様相談室

Tel: 0570-088-310

0570(ゼロ ゴー ナナ ゼロ)で始まる電話番号です。

受付時間: 月曜日～金曜日 9:00～17:30

休業日: 土曜日、日曜日、祝日およびブラザー販売株式会社の休日

- お客様相談室は、ブラザー販売株式会社が運営しています。
- 機能および操作方法が機種によって異なるため、お問い合わせの際に「機種名」と「機械番号」をご連絡いただきますと、スムーズにお答えすることができます。
- 製品背面の定格ハリマーク(銀色シール)の下記部分をご確認ください。



- ブラザー製品についてのご意見、ご要望は、お買い上げの販売店、または上記「お客様相談室」にご連絡ください。
- 上記の電話番号、住所および受付時間は、都合により変更する場合がありますので、ご了承ください。

■ ホームページ

ブラザーのホームページでは、製品に関する様々な情報を掲載しております。

<http://www.brother.co.jp/>

ブラザーソリューションセンターでは、製品に関するサポート情報を掲載しております。

<http://support.brother.co.jp/>

本製品は日本国内のみでの使用となりますので、海外での使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切でないおそれがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また保証の対象となりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas it may violate the Telecommunications Regulations that country and the power requirements of your machine may not be compatible with the Power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk will void your warranty.

ブラザー工業株式会社

愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467-8561

891-Z04
Printed in China



XG4574-101①